

BJ F870
リファレンスガイド

このたびは、キヤノン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
このガイドでは、本機でのさまざまな印刷のしかた、ソフトウェアの使いかた、トラブル時の対処のしかたについて、詳しく説明します。
このガイドは、Adobe Acrobat Reader 4.0J **以降でご覧になることをお勧めします。**
バージョン 4.0 **以前の** Acrobat Reader **をお使いの方は、次のページをご覧ください。**

はじめて、このガイドをご覧になる方は、
このボタンをクリックしてください。

次のページ ▶
目次 ▶

V01

はじめに

この『リファレンスガイド』では、プリンタ本体とプリンタの基本操作および応用操作、いろいろな用紙に印刷する方法、困ったときの対処のしかた、メンテナンスの方法などについて詳しく説明しています。
プリンタの機能をフルに使うために、このガイドをご活用ください。

また『基本操作ガイド』では、基本的な印刷手順、用紙がつまったときの対処のしかたなど、通常プリンタをお使いになる際に必要となる基本的な項目について説明しています。

●このガイドに掲載のイラストおよび画面例について

このガイドに掲載されている製品イラストおよびプリンタドライバの画面例には、BJ F870 のものを使用しています。他の機種をお使いの場合にも、ほぼ同様の画面が表示され、操作方法も変わりません。

●バージョン 4.0 以前の Acrobat Reader をお使いの方へ

バージョン 4.0 以前の Acrobat Reader でこのガイドをご覧になると、掲載画面の例がはっきり表示されないことがあります。お使いの Acrobat Reader を削除してから、もう一度、このガイドを開いてください。Acrobat Reader 4.05J を自動的にインストールします。

➡『プリンタドライバ / リファレンスガイド（CD-ROM）』に付属の説明書

● Windows NT4.0/Windows 2000 をお使いの方へ

本書に記載されているプリンタドライバの説明は Windows 95 、Windows 98 、Windows Millennium Edition 用です。Windows NT4.0、Windows 2000 をお使いの場合は、プリンタドライバの操作方法が異なります。プリンタドライバの操作方法については、別途 Word 文書形式で取扱説明書を用意していますので、そちらをご覧ください。
インストール完了後、次の手順で「Windows NT 4.0/Windows 2000 プリンタドライバガイド」を開いて説明をお読みください。

1 ［スタート］ボタンをクリックします。
2 ［プログラム］、［BJ Fxxx（xxx は機種名）］、［操作説明］をクリックします。

ここでは、このガイドのボタン操作の方法などについて説明します。

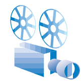
●このガイドのボタンについて

このガイドの各ページの下のほうには、ボタンが並んでいます。このボタンを活用しながら、上手にガイドをご利用ください。
リファレンスガイド上のボタンだけではなく、Acrobat Reader のツールバーを使うこともできます。詳しい使いかたについては、Acrobat Reader のヘルプをご覧ください。

●リンクについて

青い文字で書かれている項目をクリックすると、参照先にジャンプできます。

●アニメーションアイコンについて



animation

このアイコンをクリックすると、アニメーションによる操作説明を見ることができます。

これらのボタンをクリックすると、選んだ項目のページが表示されます。

ここには、表示中のページのページ番号が表示されます。

「前の画面」をクリックすると、表示した画面をさかのぼって表示します。参照先から戻るときなどにクリックします。
さかのぼった画面をまた戻るには「次の画面」をクリックします。

「前のページ」ボタンをクリックすると、前のページが、「次のページ」ボタンをクリックすると、次のページが表示されます。

●使用しているマークについて

本書では、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警告　：取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意　：取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

禁止　：取り扱いを誤った場合に、製品の故障や損傷、品質の低下が発生する恐れのある禁止事項が書かれています。快適に使用していただくために、必ずこの禁止事項をお守りください。

note　：操作の参考になることや補足説明が書かれています。お読みになることをお勧めします。

● 商標について

Canon は、キヤノン株式会社の登録商標です。BJ は、キヤノン株式会社の商標です。

Microsoft®、Windows®、WindowsNT® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated の商標（地域によっては登録商標）です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

●表記について

本書では Microsoft® Windows® 95、Microsoft® Windows® 98、Microsoft® Windows® Millennium Edition、Microsoft® WindowsNT ® 4.0 、Microsoft® Windows® 2000 を、それぞれ Windows 95 、Windows 98 、Windows Me、Windows NT4.0、Windows2000 または Windows と略して記載しています。

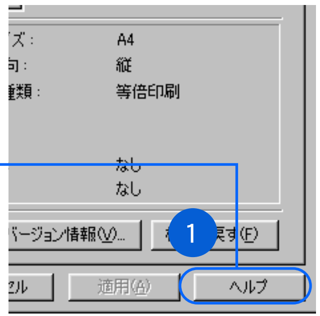
悩んだときはヘルプを見る

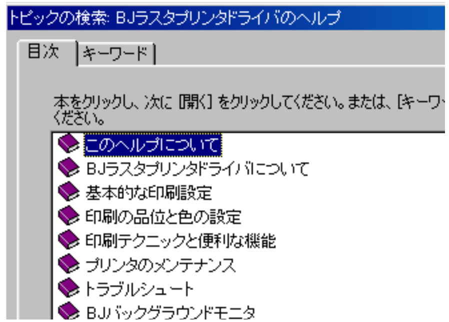
プリンタドライバには、充実したヘルプ機能が搭載されています。
操作中に悩んだり、困ったりしたとき、あるいはもっと詳しいことを知りたいと思ったときは、次のような方法でヘルプをご覧ください。

●操作説明を見るためのヘルプ

「プリンタドライバの設定を変えたいが、どこを操作すればよいのかわからない」という場合に役立つヘルプです。目次やキーワードから説明を探すことができます。

1 **［ヘルプ］をクリックします。**



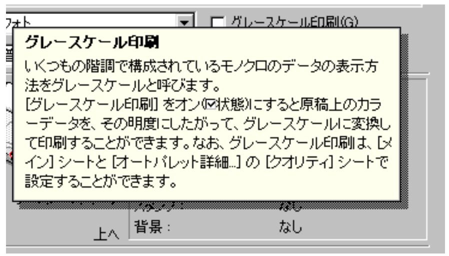


●設定項目の説明を見るためのヘルプ

「この項目は、どのようなときに設定するのか知りたい」という場合に役立つヘルプです。

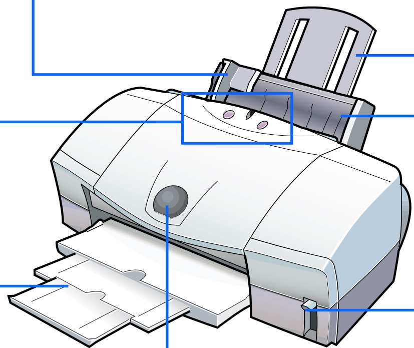
1 **?をクリックし、マウスカーソルの形が に変わったら、見たい項目をクリックします。**





各部の名称と役割　*1/4*

●前面



・用紙サポート
オートシートフィーダにセットされた用紙を支えます。用紙をセットするときに、引き出してください。

・用紙ガイド
用紙をセットしたとき、用紙の端に軽く当てます。

・オートシートフィーダ
ここに用紙をセットします（厚紙は除く）。複数枚の用紙をセットした場合は、自動的に 1 枚ずつ給紙されます。

・操作パネル
➡ 操作パネル

・紙間選択レバー
プリントヘッドと用紙の間隔を調整するためのレバーです。用紙の種類によって、レバーの位置を切り替えます。

・排紙トレイ
印刷された用紙がここに排出されます。印刷するときに引き出してください。印刷しないときは、閉じておくことができます。

・フロントカバー
プリントヘッドやインクタンクを交換するときに開けます。

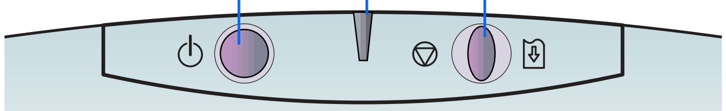
●操作パネル

・ランプ
電源を入れると、緑色に点灯します。ランプは緑色やオレンジ色に点滅・点灯し、プリンタの状態を知らせます。

消灯	電源が切れている状態です
緑色に点灯	印刷ができる状態です
緑色に点滅	プリンタの準備動作中、または印刷中です
緑色とオレンジ色の点滅	エラーが発生し、印刷ができない状態です

・電源ボタン
電源を入れたり切ったりするためのボタンです。

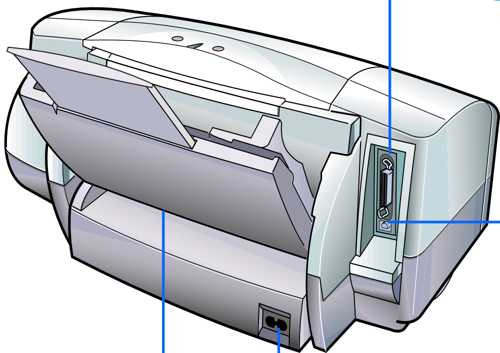
・リセットボタン
プリンタのトラブルが解決したら、このボタンを押して印刷できる状態に戻します。また、印刷中に押すと、印刷を中止することができます。



●背面

・プリンタケーブル接続部
プリンタケーブル（パラレルケーブル）を使って
コンピュータと接続するためのコネクタです。

・USB ケーブル接続部
USB ケーブルを使ってコンピュータと
接続するためのコネクタです。



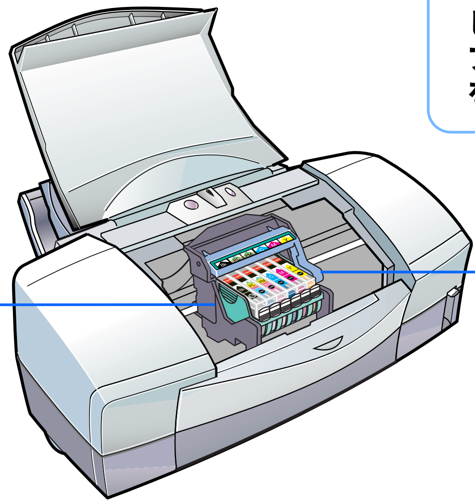
・手差し給紙口
手差しで印刷するときは、ここに用紙を
セットします。
用紙は 1 枚ずつセットしてください。

・電源コード接続部
電源コードを接続するためのコネクタ
です。

各部の名称と役割　4/4

●プリンタ内部

・プリントヘッドホルダ
プリントヘッドまたはスキャナカートリッジを取り付ける場所です。



・プリントヘッド固定レバー
プリントヘッドホルダにセットされたプリントヘッドまたはスキャナカートリッジを固定します。
プリントヘッドまたはスキャナカートリッジを交換するときにレバーを引き上げます。

印刷の前に

印刷をはじめる前に、次の準備が終わっているか、確認しましょう。

●プリントヘッドとインクタンクの取り付けは終わっていますか？

印刷をするには、プリントヘッドとインクタンクの取り付けが必要です。

『かんたんスタートガイド』

●プリンタとコンピュータの接続は終わっていますか？

『かんたんスタートガイド』

●プリンタドライバのインストールは終わっていますか？

「プリンタドライバ」とは、コンピュータで作成した写真や書類などをプリンタが理解できるデータに変換するソフトウェアです。「プリンタドライバ」がないと、コンピュータで作成した写真や書類を印刷できません。必ずインストールしてください。

『かんたんスタートガイド』

●プリントヘッドの位置調整は終わっていますか？

印刷のときに正確な位置に印刷できるよう、プリントヘッドの位置調整を行ってください。位置調整を行わないと、罫線がずれたり、印刷にむらがでたりする原因になります。

『かんたんスタートガイド』

●プリンタの電源が入っていますか？

プリンタのランプが緑色に点灯しているか、確認してください。

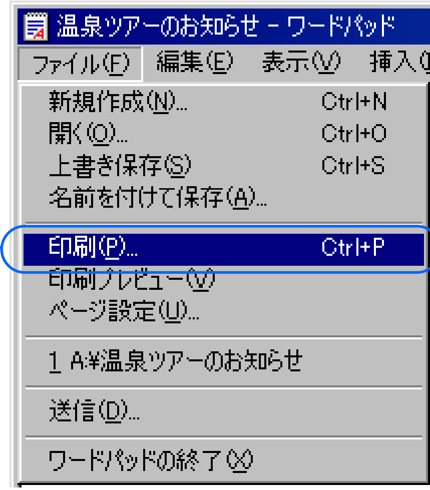
印刷の手順　1 / 2

アプリケーションソフトにより、多少、手順やクリックするボタン名などは異なりますが、印刷の操作は大まかに次のような流れになります。

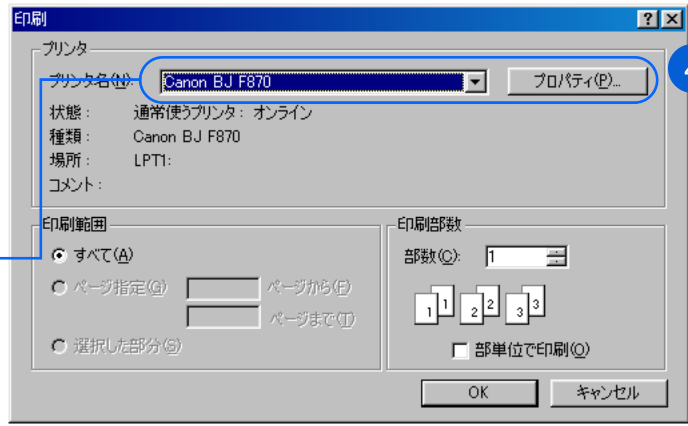
1. **アプリケーションソフトで、印刷する文書を作成する。**

2. **プリンタに用紙をセットする。**

3. **［ファイル］メニューで［印刷］や［プリント］などをクリックする。**
   アプリケーションソフトによっては、印刷画面を開くまでの操作方法が異なります。
   ➡ **アプリケーションソフトの取扱説明書**



4. **ご使用のプリンタ名が表示されていることを確認して、［プロパティ］をクリックする。**
   ・ プリンタドライバの画面が表示されます。

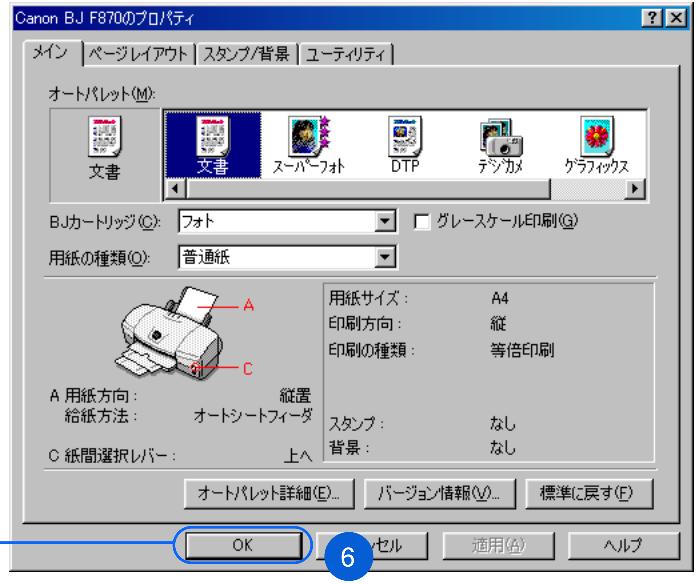


5 プリンタドライバの各項目を設定する。

6 [OK] をクリックする。

7 4 の画面に戻ったら、[OK] をクリックする。

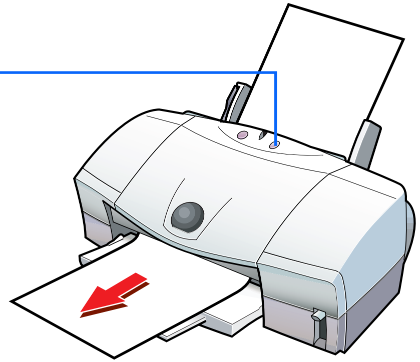
- 印刷が始まります。



印刷を中止したいときには

プリンタのリセットボタンを押すと、印刷を中止することができます。

1 **プリンタのリセットボタンを押します。**
- **印刷が中止され、印刷途中の用紙が排出されます。**



note

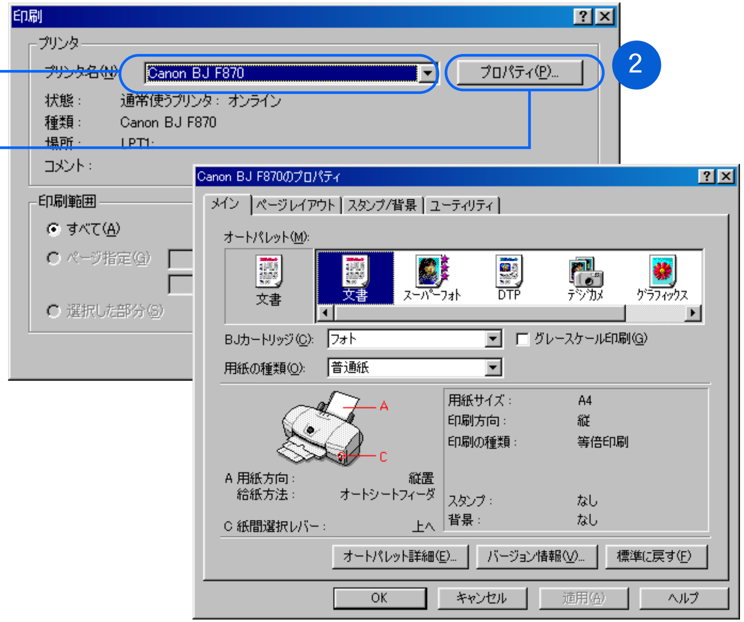
BJ ステータスモニタ、BJ バックグラウンダ、BJ バックグラウンドモニタを開いてプリンタドライバから印刷を中止することもできます。

BJ ステータスモニタ
BJ バックグラウンダ
BJ バックグラウンドモニタ

プリンタドライバをアプリケーションから開く

**プリンタドライバの設定画面を開く操作には、アプリケーションソフトから開く方法と、単独で開く方法の2とおりあります。
ここでは、プリンタドライバの設定画面をアプリケーションソフトから開く操作を説明します。**

➡ プリンタドライバを単独で開く



1

アプリケーションソフトで、［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。
- 印刷画面が表示されます。
- ご使用のアプリケーションソフトによっては、操作方法が異なります。

➡ アプリケーションソフトの取扱説明書

2

ご使用のプリンタ名が表示されていることを確認して、［プロパティ］をクリックします。
- プリンタドライバの設定画面が表示されます。
- ［プリンタ名］に他機種のプリンタが表示されているときは、▼をクリックして ご使用のプリンタを選びます。

note

- 印刷をするためのメニュー名や印刷の画面は、アプリケーションソフトにより異なります。
- プリンタドライバで設定できるさまざまな機能については「第 3 章　いろいろな印刷テクニック」をご覧ください。

プリンタドライバを単独で開く

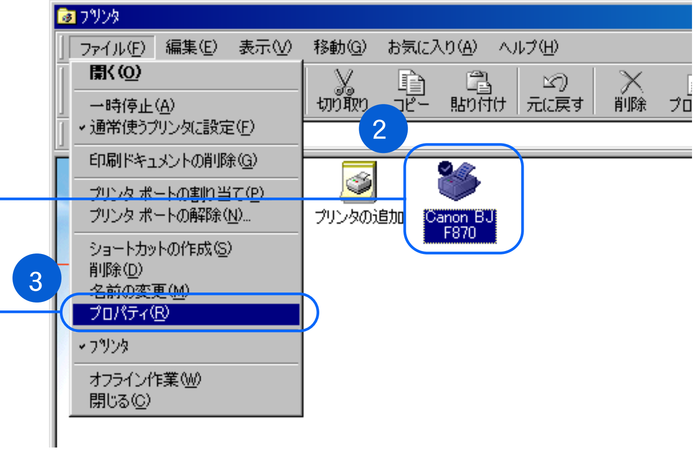
プリンタドライバの設定画面を開く操作には、アプリケーションソフトから開く方法と、単独で開く方法の２とおりあります。
ここでは、プリンタドライバの設定画面を単独で開く操作を説明します。

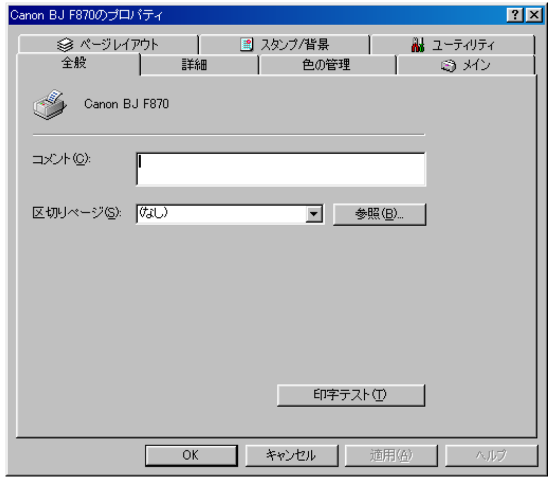
➡ プリンタドライバをアプリケーションから開く

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］、［プリンタ］の順にクリックします。
   ・ プリンタ画面が表示されます。

2. ご使用のプリンタのアイコンをクリックして反転表示させます。

3. ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。
   ・ プリンタドライバの設定画面が表示されます。





note

単独でプリンタドライバの設定画面を開いた場合、Windows に関するタブと、印刷設定に関するタブの両方が表示されます。
印刷設定に関するタブは［メイン］［ページレイアウト］［スタンプ／背景］［ユーティリティ］の４つです。それ以外の Windows に関するタブについては、Windows の説明書をご覧ください。

基本的な印刷設定をする

オートパレットを使うと、印刷する原稿の種類を選ぶだけで、印刷の品位や用紙の種類などを自動的にお勧めの設定に変更します。ここでは、オートパレットを使った基本的な印刷の設定方法について説明します。

1
プリンタドライバの設定画面を表示します。
➡ プリンタドライバをアプリケーションから開く

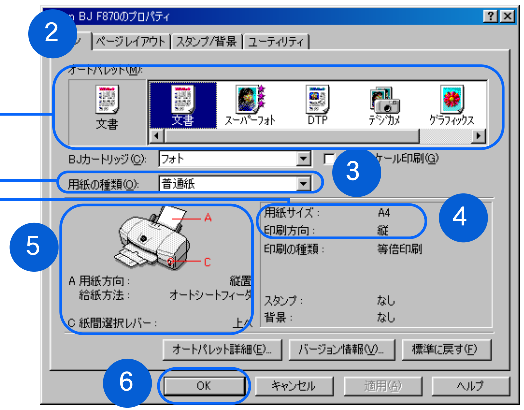
2
［メイン］シートの［オートパレット］から印刷する原稿や用途にあったアイコンを選びます。
➡ あらかじめ用意されているオートパレット

3
使用する用紙を選びます。
➡ いろいろな用紙に印刷する

4
［用紙サイズ］［印刷方向］を確認します。
- アプリケーションソフトで設定したサイズと異なる場合は、画面上部の［ページレイアウト］タブをクリックして変更してください。

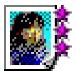
5
イラストを参考にして用紙をセットし、プリンタの紙間選択レバーを適切な位置にあわせます。
➡『基本操作ガイド』

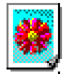
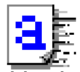
6
[OK] をクリックしてプリンタドライバの画面を閉じます。
- ［適用］（または［更新］）をクリックすると、画面を開いたまま設定が変更されます。
- ［キャンセル］をクリックすると、設定内容を変更せずに画面を閉じます。



あらかじめ用意されているオートパレット

**あらかじめ用意されているオートパレットの用途は次の表を参照してください。
アイコンを選択すると、[用紙の種類] や [印刷品位] などの設定がお勧めの設定に変わります。**

アイコン	用途
 文書	普通紙に印刷するときの標準の設定です。 文章中心の原稿に適しています。
 スーパーフォト	写真を印刷するときにお勧めの設定です。 グラデーションを多用したグラフィックス原稿にも適しています。
 DTP	さまざまな要素(写真、絵、表など)が混在している文書を印刷するときにお勧めの設定です。 写真やグラフィックスを自動認識して最適な設定に切り替えながら印刷します。
 デジカメ	デジタルカメラで撮影した画像データを印刷するときにお勧めの設定です。[オートフォトパーフェクト]が有効になり、自動的に写真の色合いを適正な色に補正して印刷します。

アイコン	用途
 グラフィックス	グラフや色の境界がはっきりしたコンピュータグラフィックスなどを印刷するときにお勧めの設定です。
 ドラフト	印刷品位よりも印刷スピードを重視する設定です。 試し刷り等に適しています。

note

オートパレットに登録されている設定項目は、[用紙の種類] だけではありません。用途にあわせた印字品位になるようにさまざまな設定がされています。それらの設定を変えて、新しい独自のオートパレットとして登録できます。

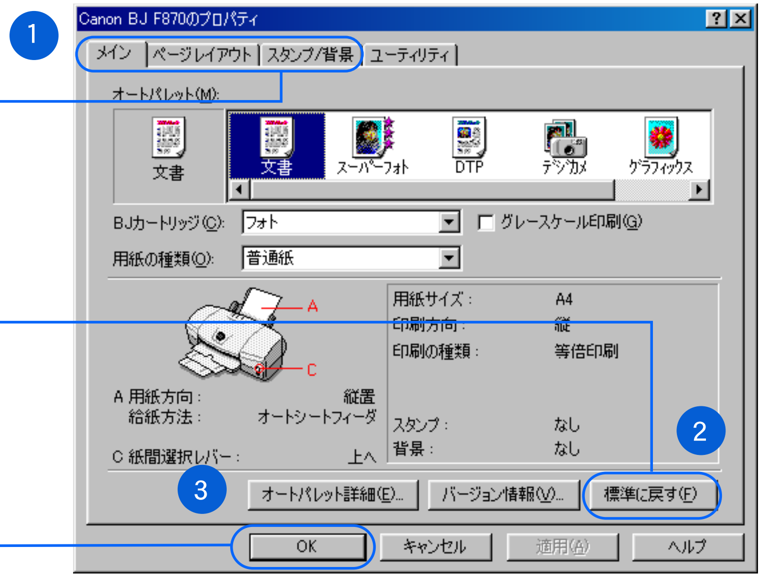
設定内容を標準に戻すには

[標準に戻す］をクリックすると、設定内容をプリンタドライバがインストールされたときの状態に戻すことができます。この操作はシート単位で行うことができます。

1 標準に戻したいシートのタブをクリックし、シートを表示します。

2 [標準に戻す］をクリックします。
・プリンタドライバがインストールされたときの状態に戻ります。

3 [OK］をクリックし、プリンタドライバの設定画面を閉じます。



使用できる用紙のサイズ

●重さ

本機で使用できるのは、64 ～ 500g/m^2（用紙の厚さが 0.6mm 以下）の用紙です。
この重さを超える用紙は、紙づまりなどの原因になりますので使用しないでください。
用紙の重さによって、用紙をセットできる場所が異なります。

・オートシートフィーダ
64 ～ 105g/m^2 の用紙をセットできます。105g/m^2 を超える用紙は手差し給紙口にセットしてください。

・手差し給紙口
64 ～ 500g/m^2 の用紙をセットできます。

●大きさ

使用できる定型紙の大きさは、右の表のとおりです。

●縦置きと横置き

用紙の長いほうを縦にしてセットすることを縦置き、短いほうを縦にしてセットすることを横置きといいます。
本機では、A5 は、縦置き / 横置きのどちらの向きにもセットすることができます。封筒（洋形 4 号、洋形 6 号）は、横置きでのみセットすることができます。その他のサイズの用紙は、縦置きでのみセットすることができます。
右の表で、用紙名に「横」と付いているものは、横置きの場合を示します。

用紙	幅×長さ（単位:mm ）
A5	148.0 × 210.0
A5 横	210.0 × 148.0
A4	210.0 × 297.0
B5	182.0 × 257.0
Letter	215.9 × 279.4（8.5 × 11.0 インチ）
Legal	215.9 × 355.6（8.5 × 14.0 インチ）
はがき	100.0 × 148.0
封筒（洋形 4 号）	235.0 × 105.0
封筒（洋形 6 号）	190.0 × 98.0
プロフェッショナルフォトカード（L 判）＊1	101.6 × 190.5（ミシン目付きサイズ） 89.0 × 127.0（仕上がりサイズ）
プロフェッショナルフォトカード（2L 判）＊1	210.0 × 183.0（ミシン目付きサイズ） 178.0 × 127.0（仕上がりサイズ）
プロフェッショナルフォトカード（DSC 判 4 面取り）＊1	210.0 × 310.0（ミシン目付きサイズ） 89.0 × 119.0（仕上がりサイズ）
プロフェッショナルフォトカード（デジカメ六切り判）＊1	210.0 × 310.0（ミシン目付きサイズ） 190.0 × 254.0（仕上がりサイズ）
フォト光沢カード＊2	118 × 214（ミシン目付きサイズ） 102 × 152（仕上がりサイズ）

定型外の用紙を使用する場合は、以下の範囲内で使用できます。

- **最小サイズ** 100.0 × 100.0mm
- **最大サイズ** 241.3 × 584.2mm

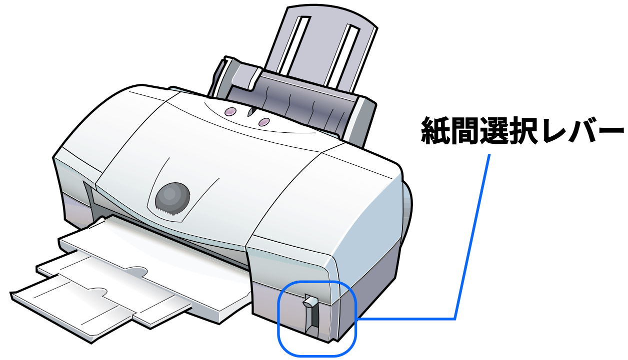
＊1　印刷は、付属のアプリケーションソフト「PhotoRecord」を使用してください。
＊2　プリンタドライバでの設定は、「フォトカード」です。

印刷するときのポイント　1/2

印刷するときは、用紙の種類によって操作が必要なものがあります。
また、用紙の特長を生かすために、次のポイントを押さえると、よりきれいに印刷することができます。
用紙別の詳しい操作については、次ページにある参照項目をご覧ください。

●注意しておきたい操作

■用紙の種類にあわせて、紙間選択レバーをセットする



お使いの用紙にあわせて、紙間選択レバーを上（ ）か下（ ）にセットしてください。

■用紙のセットのしかたに注意する

用紙によっては、普通紙と違う方法でセットするものがあります。

印刷するときのポイント　2/2

●よりきれいに印刷するためのポイント

■プリンタドライバの設定画面を開き、原稿の内容にあわせて［オートパレット］を選択する

印刷の品質や色についての設定が［オートパレット］の各アイコンに登録されています。
原稿の種類や目的に最も近いものを選ぶと、お勧めの用紙の種類や印刷品位などが設定されます。

■原稿の内容に適した用紙を使う

キヤノン製専用紙には、用途や印刷する内容に応じて、さまざまな種類があります。きれいな印刷をめざすには、キヤノン製専用紙のご使用をお勧めします。

プリンタドライバの［用紙の種類］の設定を、お使いの用紙にあわせてください。

➡ 基本的な印刷設定をする

●用紙別の詳しい操作について

➡ 普通紙に印刷する
➡ はがきに印刷する
➡ 封筒に印刷する
➡ プロフェッショナルフォトペーパーに印刷する
➡ フォト光沢紙に印刷する
➡ 高品位専用紙に印刷する
➡ プロフェッショナルフォトはがきに印刷する
➡ フォト光沢ハガキに印刷する
➡ プロフェッショナルフォトカードに印刷する
➡ フォト光沢カードに印刷する
➡ フォト光沢フィルムに印刷する
➡ OHP フィルムに印刷する
➡ T シャツ転写紙に印刷する
➡ バナー紙に印刷する
➡ 厚紙に印刷する

用紙についてのご注意

●取扱いについてのご注意

・用紙はできるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。印刷面が傷ついたり汚れたりすると、印刷の品質が低下することがあります。

・印刷後、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。また、印刷済みの用紙を水で濡らしてしまった場合は、乾くまで印刷面に触らないでください。

・用紙を保管するときは、用紙が入っていた袋に入れ、直射日光の当たる場所や高温多湿な場所をさけてください。また、曲がったりしわがついたりしないように水平に置いてください。

・用紙によっては、インクを大量に使う印刷をすると用紙がカールして印刷面がこすれることがあります。この場合は、紙間選択レバーを下にセットしてみてください。また、このような用紙は写真やグラフィックスを含む原稿の印刷にはお勧めできません。文字中心の原稿の印刷にご使用になることをお勧めします。

●用紙をセットするときのご注意

・用紙をさばいて、端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙をさばかなかったり、端をそろえずにセットしたりすると、紙づまりの原因となることがあります。

・用紙がカールしているときは、逆向きに曲げてカールを直してからセットしてください。このとき、用紙の表面が波状にならないようにしてください。

普通紙に印刷する

●普通紙の種類

一般的な複写機に使われるコピー用紙（64 ～ 105g/m^2）や、キヤノン製のカラーバブルジェット専用普通紙（LC-301）に印刷できます。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・印刷面を上にしてセットしてください。
・一度にセットできる枚数は、100 枚（75g/m^2）、10mm までです。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［普通紙］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

50 枚程度まで
（排出された用紙がカールするとき、インクが乾きにくい場合は、印刷が１枚終わるごとに用紙を取り除いてください）

はがきに印刷する

●はがきの種類

写真やステッカーを貼ったはがき、往復はがき、折り目のついたはがきは、使用できません。

●原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを［はがき］に設定してください。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

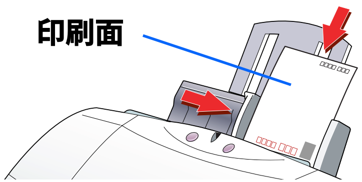
➡ 印刷するときのポイント

●はがきの扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

●はがきをセットするとき

・印刷面を上にして必ず縦置きにセットしてください。



・一度にセットできる枚数は、40 枚までです。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

・官製はがき：
［はがき］に設定します。
・インクジェット用官製はがき：
宛名面は［はがき］に、通信面は［インクジェット官製葉書］に設定します。

➡ 基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

40 枚程度まで
(写真などを印刷した場合は、印刷が 1 枚終わるごとに用紙を取り除いてください)

封筒に印刷する　*1 / 2*

●封筒の種類

・型押しやコーティングなどの表面加工してある封筒は使用しないでください。きれいに印刷できません。
・ふたの部分が二重になっているものや、シールになっているものは使用しないでください。正しく紙送りできません。

●原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを［洋形 4 号］または［洋形 6 号］に設定してください。

●紙間選択レバーの位置

下（ ✉ ）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

●封筒の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

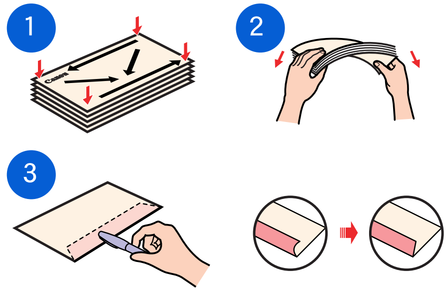
●封筒をセットする前に

封筒の準備をします。

1 四隅を押してから、封筒の周りを押して反りや曲がりを取り、封筒の中の空気を抜きます。

2 1 の操作を行っても反っている場合は、封筒の端を対角線に持って、軽く逆方向に曲げます。封筒のふたの部分がまっすぐになったか確認します。

3 ペンの先などを使って封筒のふたの部分をしっかりとつぶしておくと、うまく給紙できます。



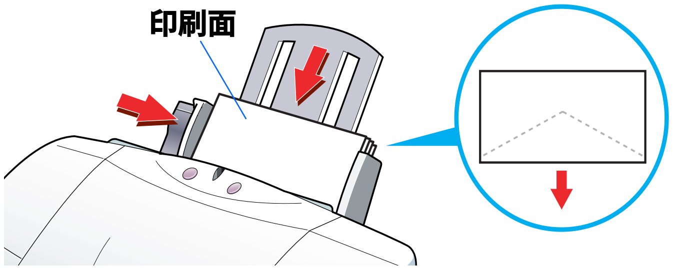
note

・ 封筒の反りを直さなかったり、端をそろえずにセットしたりすると、紙づまりの原因になることがあります。
・ 反りやふくらみは、3mm 以内になるようにしてください。

封筒に印刷する 2/2

●封筒をセットするとき

・宛名面を上にして（封筒のふたが下になるように）セットしてください。



・一度にセットできる枚数は、10 枚までです。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［封筒］に設定します。

➡ 基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

10 枚まで

プロフェッショナルフォトペーパーに印刷する 1/2

●プロフェッショナルフォトペーパー（型番：PR-101）とは

光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙で、カラーの発色に特に優れています。
印刷面に光沢があるため、高画質な写真の印刷に最適です。
本機では、この用紙に印刷したときに最も高い画質を得ることができます。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

印刷するときのポイント

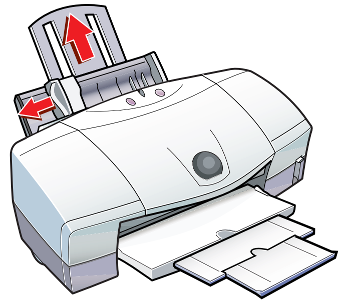
●用紙の扱いかた

用紙についてのご注意

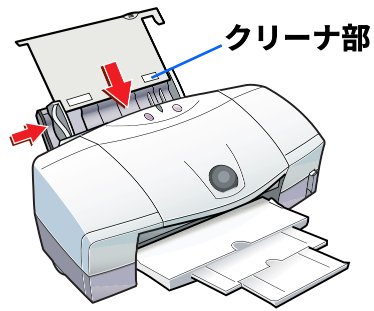
●用紙をセットするとき

・印刷面（より光沢がある面）を上にしてセットしてください。
・クリーニングプレートをセットした上に用紙をセットしてください。
・クリーニングプレートのセット方法は右のとおりです。
・用紙は 1 枚ずつセットしてください。

1. 用紙サポートを引き出し、用紙ガイドを広げます。



2. クリーナ部のある面を手前に向け、クリーナ部の位置が下になるようにして、右側の切り欠きをオートシートフィーダに引っかけて取り付けます。



プロフェッショナルフォトペーパーに印刷する　2/2

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［プロフォトペーパー］に設定します。

➡ 基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

1 枚ずつ取り除いてください。

フォト光沢紙に印刷する *1/2*

●フォト光沢紙（型番：GP-301）とは

高品位専用紙より厚手で、印刷面に光沢があるため、本格的な写真に近い仕上がりが表現できます。ペーパークラフトなどの制作にも適しています。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

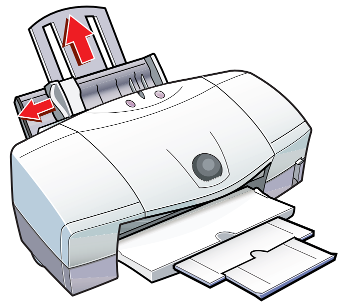
●用紙をセットするとき

・印刷面（より光沢がある面）を上にしてセットしてください。
・クリーニングプレートをセットした上に用紙をセットしてください。

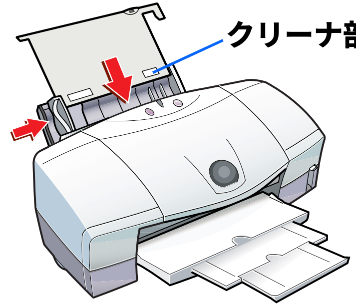
禁止 フォト光沢紙のパッケージに付属している、給紙補助シートは使用しないでください。

・クリーニングプレートのセット方法は右のとおりです。
・一度にセットできる枚数は、10 枚までです。

1 用紙サポートを引き出し、用紙ガイドを広げます。



2 クリーナ部のある面を手前に向け、クリーナ部の位置が下になるようにして、右側の切り欠きをオートシートフィーダに引っかけて取り付けます。



フォト光沢紙に印刷する　2/2

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［光沢紙］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

10 枚まで
（写真などを印刷した場合は、印刷が 1 枚終わるごとに用紙を取り除いてください）

高品位専用紙に印刷する

●高品位専用紙（型番：HR-101S）とは

普通紙よりもカラーの発色性に優れています。
カラーの図版やグラフなどを多用したビジネス文書、写真の印刷に適しています。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・印刷面（より白い面）を上にしてセットしてください。
・一度にセットできる枚数は、80 枚までです。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［高品位専用紙］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

50 枚程度まで
(排出された用紙がカールするとき、インクが乾きにくい場合は、印刷が 1 枚終わるごとに用紙を取り除いてください)

プロフェッショナルフォトはがきに印刷する

●プロフェッショナルフォトはがき（型番：PH-101）とは

通信面がプロフェッショナルフォトペーパーと同じ材質のはがきサイズの専用紙です。
プロフェッショナルフォトペーパーと同様、本機では、この用紙に印刷したときに最も高い画質を得ることができます。

●原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを［はがき］に設定してください。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

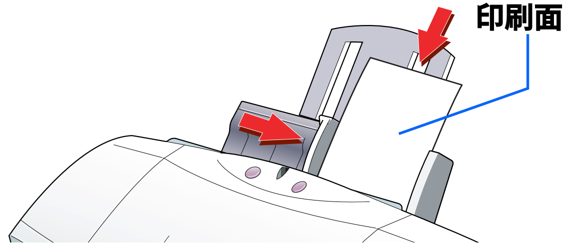
印刷するときのポイント

●はがきの扱いかた

用紙についてのご注意

●はがきをセットするとき

・印刷面を上にして必ず縦置きにセットしてください。



・一度にセットできる枚数は、20 枚までです。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

宛名面は［はがき］に、通信面は［プロフォトペーパー］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

20 枚まで
（写真などの印刷をした場合は、印刷が 1 枚終わるごとに用紙を取り除いてください）

フォト光沢ハガキに印刷する

●フォト光沢ハガキ（型番：KH-201N）とは

カラーの発色性に優れたはがきです。
写真やイラストの印刷に適しています。

●原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを［はがき］に設定してください。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

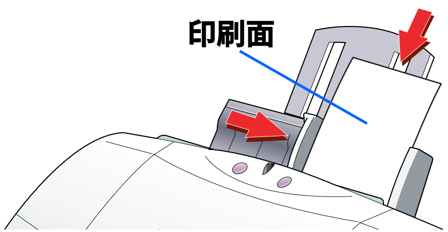
➡ 印刷するときのポイント

●はがきの扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

●はがきをセットするとき

・印刷面を上にして、必ず縦置きにセットしてください。



・一度に印刷できる枚数は 40 枚までです。

note

最後の 1 ～ 2 枚がスムーズに給紙されないときは、フォト光沢ハガキの袋に入っている厚紙をフォト光沢ハガキの下にセットしてください。
詳細はフォト光沢ハガキの袋に記載の「使用上の注意」をお読みください。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

宛名面は［はがき］に、通信面は［光沢はがき］に設定します。

➡ 基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

40 枚程度まで
（写真などを印刷した場合は、印刷が 1 枚終わるごとに用紙を取り除いてください）

プロフェッショナルフォトカードに印刷する

●プロフェッショナルフォトカード（型番：L判 PC-101 L、2L判 PC-101 2L、DSC判 4 面取り PC-101 D、デジカメ六切り判 PC-101 W）とは

プロフェッショナルフォトペーパーと同じ材質のカード専用紙で、サイズが 4 種類あります。ミシン目よりも大きめに印刷範囲を設定すれば、無用な白枠をカットすることが可能です。カードの全面に高画質な写真を印刷したいときにお勧めします。

●原稿を作るとき

付属のアプリケーションソフト「PhotoRecord」を使用して印刷をしてください。
「PhotoRecord」の使いかたについては、「PhotoRecord」の取扱説明書をご覧ください。

➡ 『BJ Solution Disk 操作ガイド』

●紙間選択レバーの位置

上（□）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

印刷前に、ミシン目を切り離さないでください。

➡ 用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・カットされた角が左上になるようにセットしてください。
・L判（PC-101L）のプロフェッショナルフォトカードの場合、給紙補助シートを敷いてからセットしてください。給紙補助シートの詳しい使いかたについては、シート上に記載された説明をご覧ください。
その他のサイズの場合は、クリーニングプレートをセットしてください。
・用紙は１枚ずつセットしてください。L判（PC-101L）のみ 20 枚までセットできます。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

[プロフォトペーパー］に設定します。（付属のアプリケーションソフト「PhotoRecord」では自動的に設定して印刷を行うので、この設定の必要はありません。）

➡ 基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

●印刷が終わったら

外側の枠を切り離します。切り離しかたは、プロフェッショナルフォトカードの取扱説明書をご覧ください。

フォト光沢カードに印刷する

●フォト光沢カード（型番：FM-101）とは

フォト光沢紙と同じ材質のカード専用紙です。ミシン目よりも大きめに印刷範囲を設定すれば、無用な白枠をカットすることが可能です。カードの全面に写真を印刷したいときにお勧めします。

●原稿を作る前に

あらかじめ、アプリケーションソフトで用紙のサイズを［フォトカード］に設定してください。
付属のアプリケーションソフト「PhotoRecord」を使って印刷することもできます。
「PhotoRecord」の使いかたについては、「PhotoRecord」の取扱説明書をご覧ください。

➡『BJ Solution Disk 操作ガイド』

●紙間選択レバーの位置

上（□）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

印刷前に、ミシン目を切り離さないでください。

➡ 用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・印刷面（Canon ロゴが入っていない面）を上にしてセットしてください。
・フォト光沢カードの下に給紙補助シート（A）を敷いてからセットしてください。給紙補助シート（A）の詳しい使いかたについては、シート上に記載された説明をご覧ください。

禁止 フォト光沢カードのパッケージに付属している給紙補助シート（B）は使用しないでください。

・用紙は１枚ずつセットしてください。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［フォトカード］に設定します。

➡ 基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

●印刷が終わったら

外側の枠を切り離します。切り離しかたは、フォト光沢カードの取扱説明書をご覧ください。

フォト光沢フィルムに印刷する

●フォト光沢フィルム（型番：HG-201）とは

フォト光沢紙よりさらにつやのあるフィルム材質のシートです。
写真を高品質で表現します。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・カットされた角が右上になるようセットしてください。
・用紙は 1 枚ずつセットしてください。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［光沢フィルム］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

1 枚ずつ取り除いてください。

note

- 印刷後、すぐに光沢フィルムを重ねると色合いが変わります。重ねないでください。
- 長期間保管する場合は、印刷面がすれたりフィルムどうしがくっついたりしないように、普通紙（コート紙は不可）をかぶせて印刷面を保護してください。

OHP フィルムに印刷する *1/2*

● OHP フィルム（型番：CF-102）とは

オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）で使用する資料を作成するための専用フィルムです。
他機種用の OHP フィルム（CF-101）や、複写機用の OHP フィルムは、紙づまりなどの原因になりますので使用しないでください。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

印刷するときのポイント

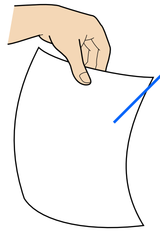
●用紙の扱いかた

高湿度下では、袋から出したままにしないでください。袋から出したらすぐに印刷するようにしてください。

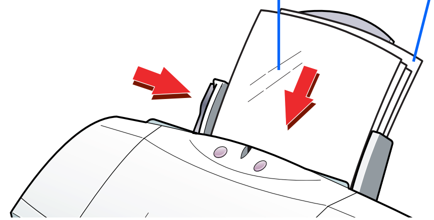
用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・どちらの面にも印刷できますが、OHP フィルムの端を手で持ったとき、反りがある面が印刷面になるようにします。



・印刷面を上にしてセットしてください。
・OHP フィルムの下に同じ大きさの普通紙を１枚敷いてから、セットしてください。



・一度にセットできる枚数は、10 枚までです。

OHP フィルムに印刷する 2/2

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［OHP フィルム］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

note

乾燥させた OHP フィルムをしまうときは、印刷面がすれたりフィルムどうしがくっついたりしないように普通紙（コート紙は不可）をかぶせて印刷面を保護してください。クリアファイルなどに 1 枚ずつ保管する場合でも、クリアファイルに貼り付かないよう、印字した面に普通紙を重ねてください。

T シャツ転写紙に印刷する

● T シャツ転写紙（型番：TR-201）とは

T シャツ用のアイロンプリントを作成できる用紙です。好みの写真やイラストを印刷して転写すれば、オリジナル T シャツが簡単に作れます。
原稿は左右反転されて印刷されます。

●紙間選択レバーの位置

上（ ）にセットします。

➡ 印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・印刷面(緑の線がない面)を上にしてセットしてください。
・用紙は 1 枚ずつセットしてください。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

[T シャツ転写紙］に設定します。

➡ 基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

●印刷が終わったら

すみやかに転写してください。転写のしかたは、T シャツ転写紙の取扱説明書をご覧ください。

バナー紙に印刷する　1/2

●バナー紙（長尺紙）とは

A4 サイズの用紙がつながった長い用紙です。ロングサイズのポスターや垂れ幕（最大 6 ページ分）などの印刷ができます。

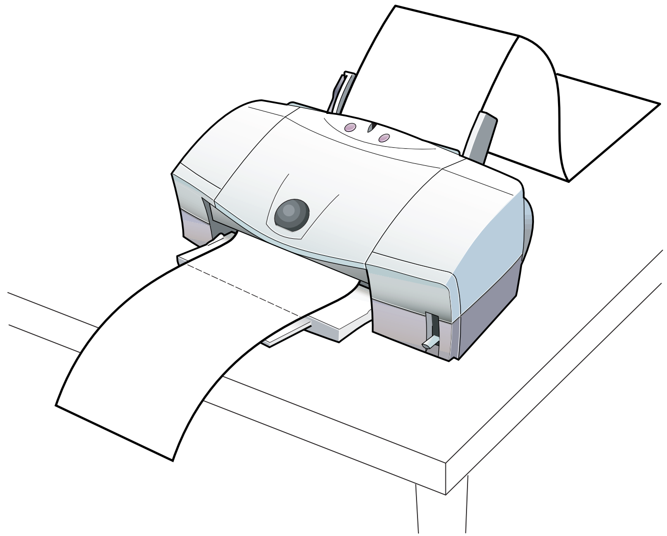
●バナー紙をセットする前に

1. プリンタドライバの設定画面を開き、[ページレイアウト] シートの [バナー紙（長尺紙）印刷] をクリックして選択します。
   ➡ プリンタドライバをアプリケーションから開く

2. バナー紙印刷が設定されたことを確認するためのメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
   ・[ヘルプ] をクリックすると、詳しい手順と注意事項が表示されます。

・印刷されたバナー紙が垂れ下がるような位置にプリンタを置いてください。

・インクが乾きにくい場合は、印刷面で机や床を汚すことがありますので、ご注意ください。



バナー紙に印刷する　2/2

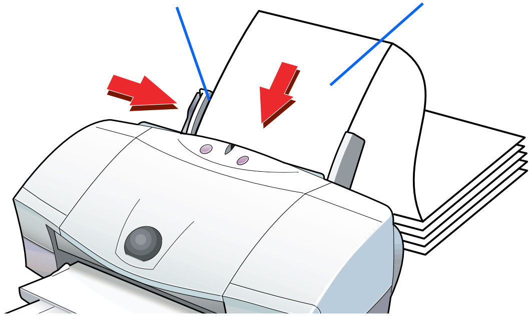
●紙間選択レバーの位置

下（✉）にセットします。

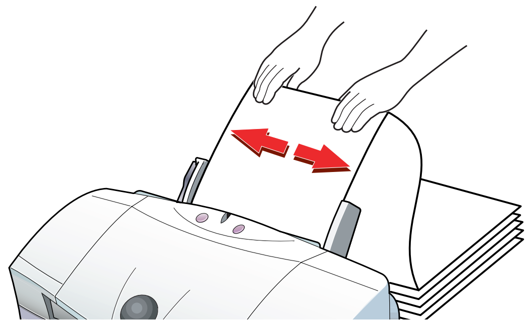
印刷するときのポイント

●用紙をセットするとき

・バナー紙を、実際に使用する枚数に 1 枚加えた分だけ切り離します。
　一度に使用できるバナー紙の長さは最大 6 枚までです。6 枚分の長さに印刷する場合は、7 枚切り離してください。
・プリンタの用紙サポートは下げてください。
・用紙ガイドを用紙にあわせるときに、用紙ガイドと用紙の端の間に 1mm のすき間が空くようにしてください。



・1 枚目と 2 枚目の間の折り目を軽く山折りにします。



・セットしたバナー紙の後端は、垂らさずたたんだ状態で置いてください。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［普通紙］に設定します。

基本的な印刷設定をする

●印刷できる範囲

印刷できる範囲

●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

印刷が終わるたびに取り除いてください。

厚紙に印刷する

●厚紙の種類

0.6mm を超える厚さの用紙は使用しないでください。
紙づまりの原因になります。

●紙間選択レバーの位置

下（✉）にセットします。

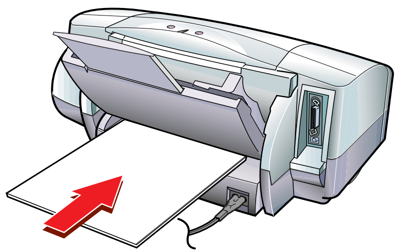
➡ 印刷するときのポイント

●用紙の扱いかた

➡ 用紙についてのご注意

●用紙をセットするとき

・オートシートフィーダではなく、背面部にある手差し給紙口にセットします。
・印刷面を上にして、手差し給紙口の左側に用紙を沿わせ、用紙が突き当たるまでまっすぐに差し込んでください。１秒ほどで自動的に用紙が引き込まれます。



・用紙は１枚ずつセットしてください。

●プリンタドライバの［用紙の種類］の設定

［厚紙］に設定します。
給紙方法を変更するメッセージが出たら［OK］をクリックします。

●印刷できる範囲

➡ 印刷できる範囲

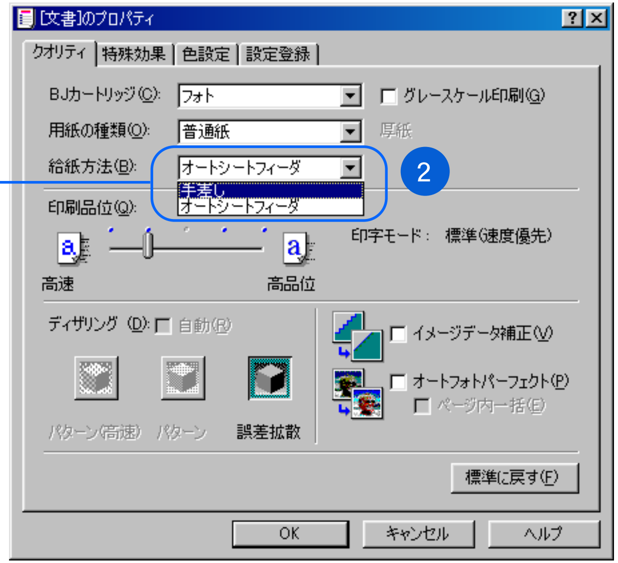
●排紙トレイに積載できる、印刷後の用紙枚数

１枚ずつ取り除いてください。

給紙方法を変更する

給紙方法には、オートシートフィーダから給紙する方法と手差しで給紙する方法があります。
通常は、オートシートフィーダから給紙しますが、手差しで給紙する場合、次の手順で設定を変更し、印刷してください。

1. プリンタドライバの［メイン］シートで［オートパレット詳細］ボタンをクリックします。
2. ［クオリティ］シートの［給紙方法］で［手差し］を選択し、［OK］をクリックします。
3. ［メイン］シートで、［OK］をクリックします。
4. 手差し給紙口に用紙をセットします。
   『基本操作ガイド』
5. 印刷画面で［OK］をクリックします。
   ・用紙をセットするメッセージが表示されたら［OK］をクリックしてください。印刷が始まります。



note

プリンタドライバの［メイン］シートで、［用紙の種類］を［厚紙］に設定すると、自動的に［給紙方法］が［手差し］に変更されます。
厚紙に印刷する場合は、必ず手差しで給紙してください。

厚紙に印刷する

印刷方向を変更する

原稿を 90 ° 回転して印刷するときに設定します。
アプリケーションソフトの中には、印刷方向を設定できるものがあります。この場合は、アプリケーションソフトで印刷方向を設定してください。アプリケーションソフトで、設定した印刷方向とプリンタドライバの設定が異なる場合は次の手順で設定を変更してください。

● [縦] のとき



● [横] のとき



1 プリンタドライバの ［ページレイアウト ］シートで、［印刷方向 ］ を選びます。



用紙サイズを変更する

用紙サイズはあらかじめアプリケーションソフトで設定しておきます。アプリケーションソフトの設定と異なっているときは、次の手順で設定してください。

1 ［ページレイアウト］タブをクリックし、［用紙サイズ］の ▼ をクリックして、一覧から目的のサイズを選択します。



note

使用しているアプリケーションソフトによっては［用紙サイズ］がグレーの表示になっていて、設定できないことがあります。
この場合は［キャンセル］ボタンをクリックして、いったん設定画面を閉じます。単独で開く方法で設定画面を開き直して、［用紙サイズ］を選択してください。

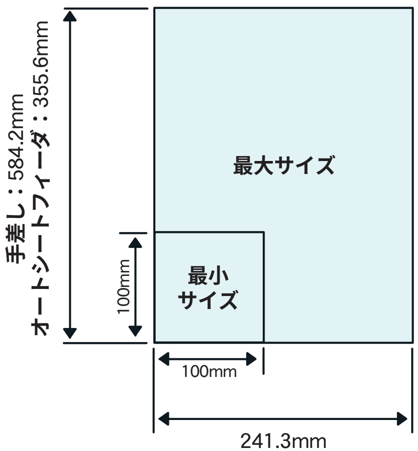
➡ プリンタドライバを単独で開く

定型外の用紙に印刷する

定型サイズの用紙だけでなく、用紙の幅と長さを指定して定型外サイズの用紙を設定することもできます。使用できる定型外のサイズは、次のとおりです。

・用紙をオートシートフィーダにセットする場合
幅 100mm ×長さ 100mm
〜幅 241.3mm ×長さ 355.6mm

・用紙を手差し給紙口にセットする場合
幅 100mm ×長さ 100mm
〜幅 241.3mm ×長さ 584.2mm



1 アプリケーションソフトで、用紙サイズを設定します。

2 プリンタドライバの ［ページレイアウト ］シートで、［用紙サイズ ］を ［ユーザ定義サイズ ］に設定します。

3 ユーザ定義サイズ画面の ［用紙の幅 ］と ［用紙の長さ ］に、アプリケーションソフトで設定した値を入力します。

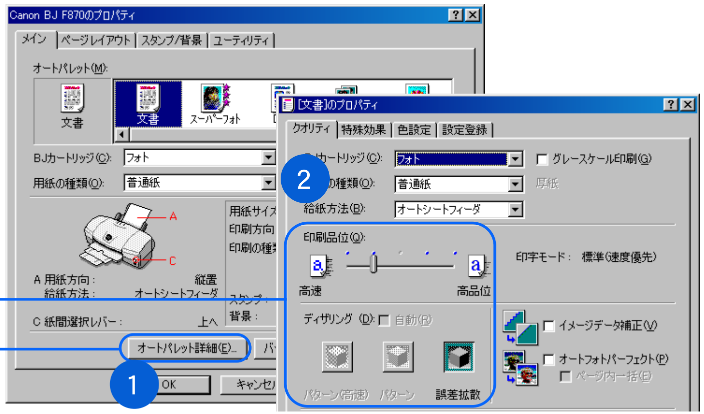


印刷の品質やディザリング方法を変更する

印刷結果の品質に満足できなかった場合は、印刷品位やディザリングの方式を変えて微調整することができます。ただし、印刷するデータ自体に問題がある場合は印刷品位を上げても、効果がわからない場合があります。

1. プリンタドライバの［メイン］シートで［オートパレット詳細］ボタンをクリックします。

2. ［クオリティ］シートで［印刷品位］と［ディザリング］を必要に応じて設定します。
選択している用紙の種類などによって、選択できない設定があります。その場合は、選択可能な範囲で調整することをお勧めします。



[印刷品位]

スライドバーを右（高品位）にするほど、印刷の品質は上がり、印刷に時間がかかります。
なお、1 番右側（最高品位）に設定すると、用紙の種類によって、印刷に時間がかかる旨のメッセージが表示されます。通常は右から 2 番目（高品位）で十分な印字結果が得られます。

[ディザリング]

印刷は、吹き付けたインクの点（ドット）の集まりで表現します。この点の配置方法のことをディザリングと呼び、配置方法によってハーフトーン（中間調）の表現方法が変わります。
［印刷品位］の設定によっては、選択できない［ディザリング］があります。

[自動]

オン ☑ にすると、画像データのタイプを自動的に判別して、適切なディザリング方法に切り替えながら印刷します。オフ ☐ にしたときは、次の３つのディザリング方法から選択します。

[パターン（高速）]

ディザリング処理を簡易的に行って高速に印刷します。
文字や表などの印刷に適しています。

[パターン]

異なる色のドットを一定の法則に従って並べます。
広い範囲を同色で塗りつぶす場合に適しています。

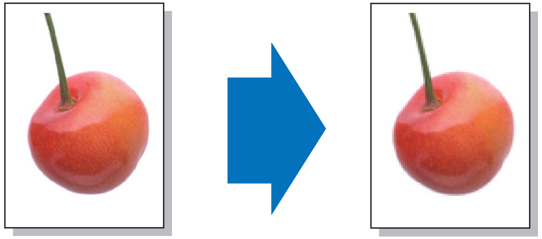
[誤差拡散]

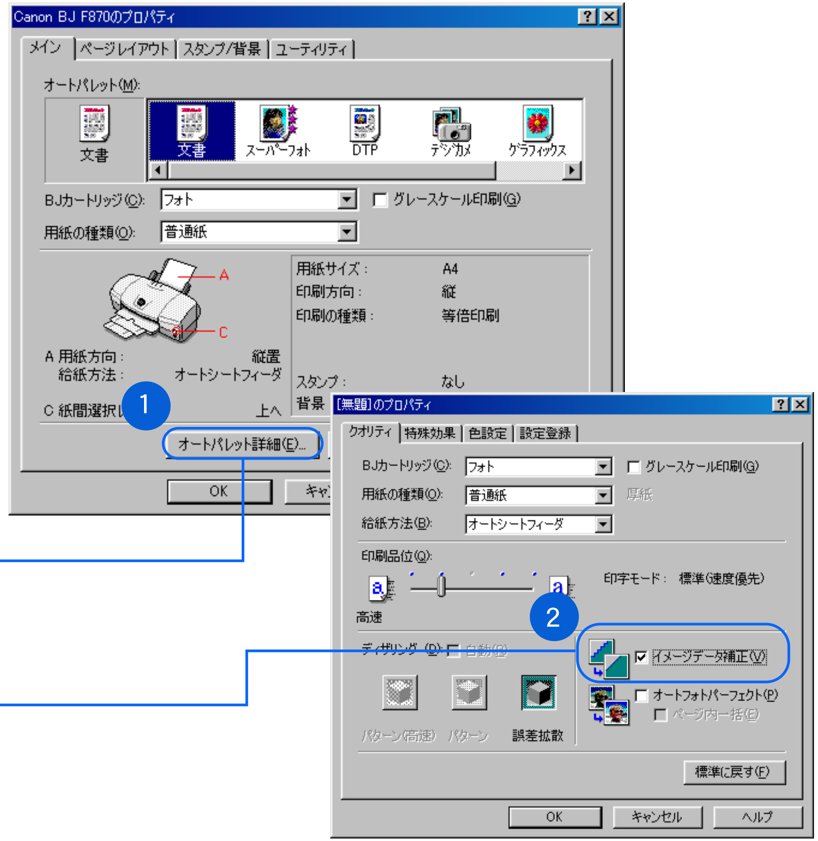
異なる色のドットをランダムに配置します。
微妙なグラデーションが作り出せるため、写真などの画像の印刷にも適しています。

輪郭をなめらかにして印刷する（イメージデータ補正）

インターネットのホームページから取り込んだ低解像度の写真やグラフィックスなどを印刷した時に発生するギザギザ（ジャギーといいます）を、なめらかに補正します。

●イメージデータ補正





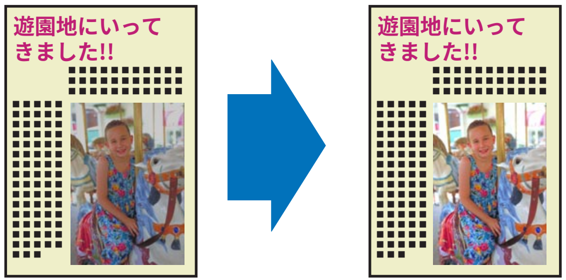
1. **プリンタドライバの［メイン］シートで、［オートパレット詳細］をクリックします。**

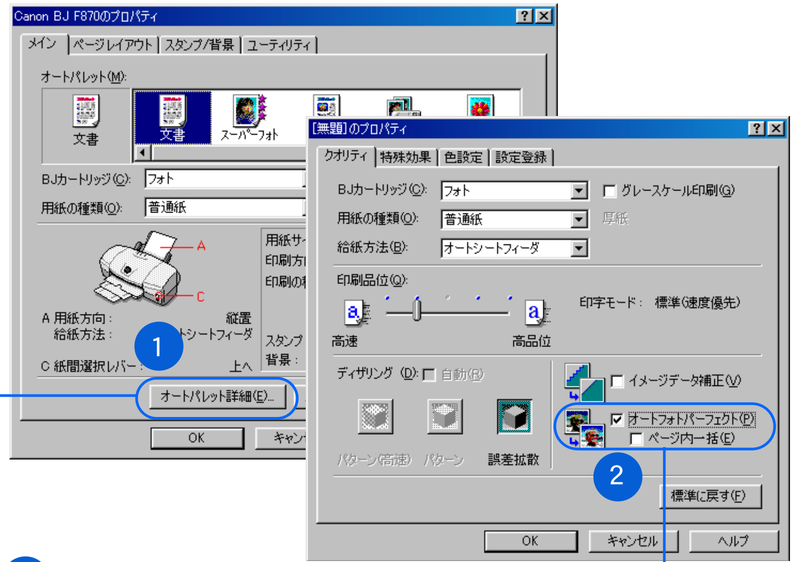
2. **プロパティ画面の［クオリティ］シートで、［イメージデータ補正］にチェックマークをつけます。**

写真の色合いを補正して印刷する（オートフォトパーフェクト）

デジタルカメラなどのフォトデータは、撮影状況によって自然な色にプリントできないこともあります。
オートフォトパーフェクトを使うとフォトデータの状態にあわせて適正に補正します。
蛍光灯や白熱灯の影響で色味が違ったり（色かぶり）、適正な明るさ（露出）が得られなかった画像に効果があります。画像の明るさも自動的に補正するので、色の濃い部分もつぶれることなくきれいに印刷できます。

●オートフォトパーフェクト





1 プリンタドライバの ［メイン］シートで、［オートパレット詳細］をクリックします。

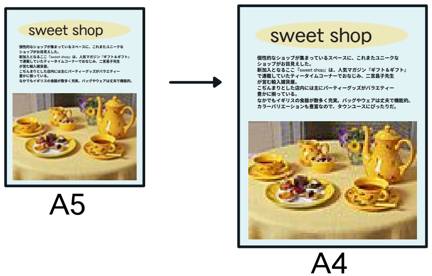
2 プロパティ画面の ［クオリティ］シートで、［オートフォトパーフェクト］を ☑（オン）にします。

・画像ごとに補正する場合、[ページ内一括] は □（オフ）にします。通常は □（オフ）のほうが適切な補正が行えます。切り抜きや回転など加工した画像データを補正する場合は、[ページ内一括] を ☑（オン）に設定してください。

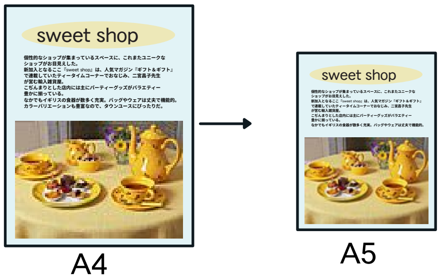
拡大／縮小して印刷する

原稿のサイズと、実際にプリンタにセットする用紙サイズを指定すると、自動的に拡大／縮小率が設定されて印刷されます。また、拡大／縮小率をパーセントで指定して、拡大／縮小印刷を行うこともできます。

●拡大印刷



●縮小印刷



1 プリンタドライバの［ページレイアウト］シートで、［拡大／縮小印刷］を選択します。

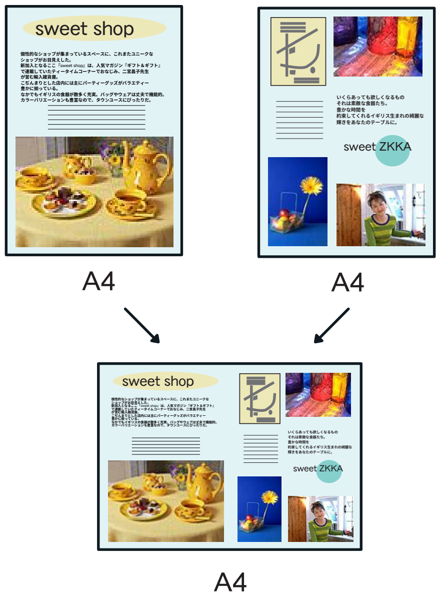
2 ［プリンタの用紙サイズ］で実際にプリンタにセットする用紙サイズを選択するか、［拡大縮小率］をパーセントで入力します。



数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する（割り付け印刷）

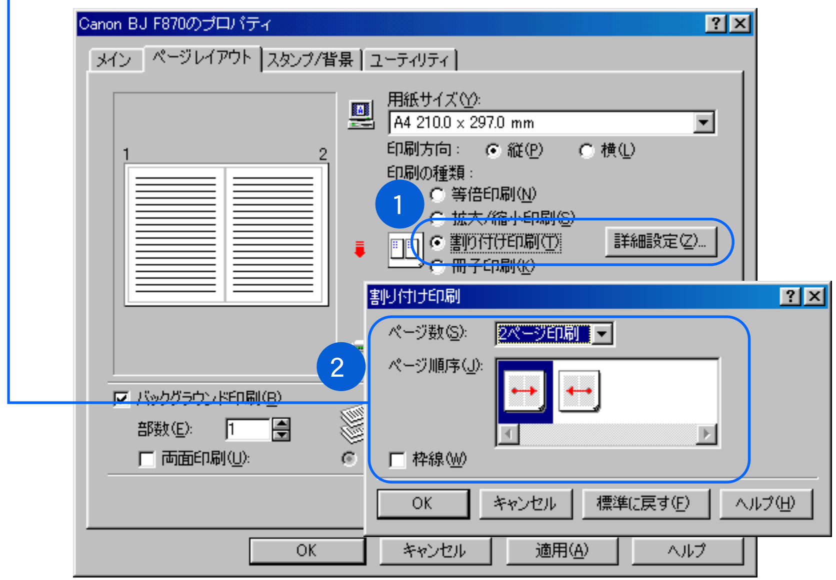
2 ページ分、または 4 ページ分の原稿を 1 枚の用紙に縮小して印刷することができます。
用紙の節約だけでなく、見開きのレイアウトにしたいときや、袋とじにするときにも便利です。

● 2 ページを 1 枚の用紙に割り付け印刷



1 プリンタドライバの ［ページレイアウト ］シートで、［割り付け印刷 ］を選択し、［詳細設定 ］をクリックします。

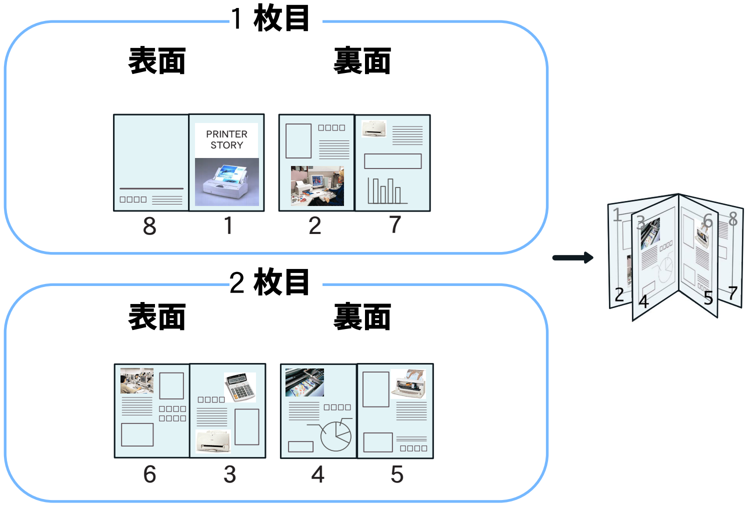
2 割り付け印刷画面で、［ページ数 ］、［ページ順序 ］を選択します。



冊子印刷を利用する

小冊子を作ることができるように、小冊子用の配置で用紙の両面に印刷することができます。冊子印刷された用紙を中央で折り曲げてとじると小冊子ができあがります。冊子印刷は普通紙を選択した場合に使用できます。

●冊子印刷



1 プリンタドライバの ［ページレイアウト］ シートで、［冊子印刷］を選択し、［詳細設定］をクリックします。

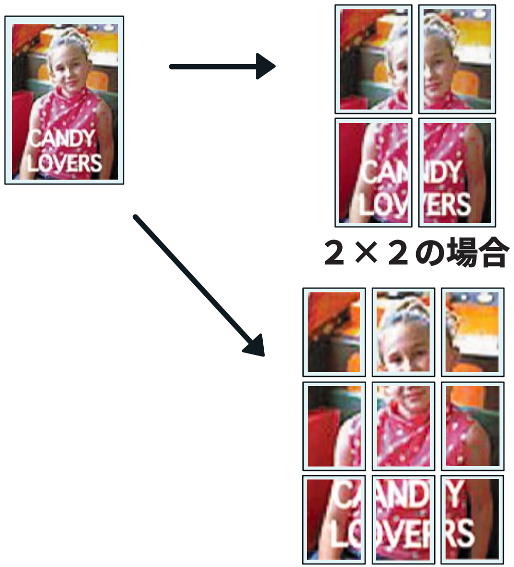
2 冊子印刷画面で、小冊子に仕上げたときの体裁を設定します。各項目の設定についてはヘルプをご覧ください。



ポスター印刷を利用する

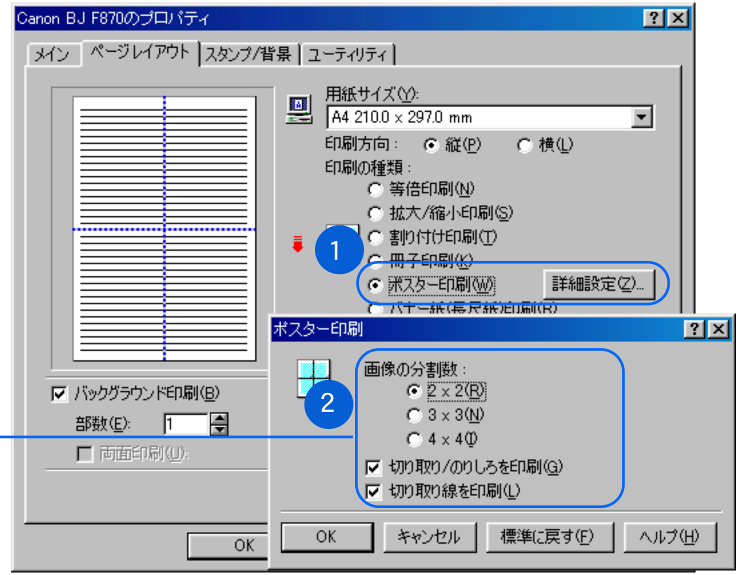
原稿を大きく拡大して、何枚もの用紙に分割して印刷することができます。後で貼り合わせると大きなポスターが完成します。切り取り線などの印刷もできます。

●画像を分割して印刷（ポスター印刷）



1. プリンタドライバの［ページレイアウト］シートで、［ポスター印刷］を選択し、［詳細設定］をクリックします。

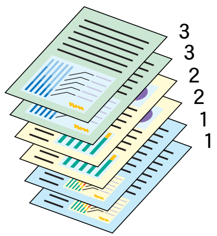
2. ポスター印刷画面で、［画像の分割数］を選択します。
   - 必要に応じて、「切り取り」や「のりしろ」の文字を印刷するか、切り取り線を印刷するかを設定してください。



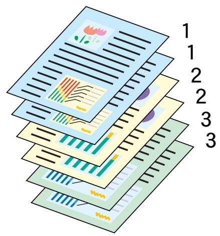
印刷するページの順番を変える

**印刷する順番を逆順（最終ページから先頭ページの順）に変えることができます。また、複数部数を印刷する場合は、部単位でまとめて印刷することもできます。
ページ数が多い文書を何部かまとめて印刷するときは、これらを組み合わせて設定すると、用紙を並び替える手間がなくなり便利です。**

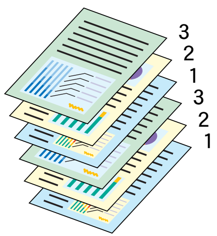
●通常



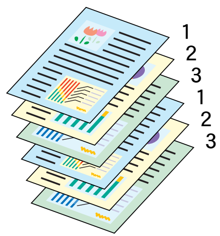
●逆順



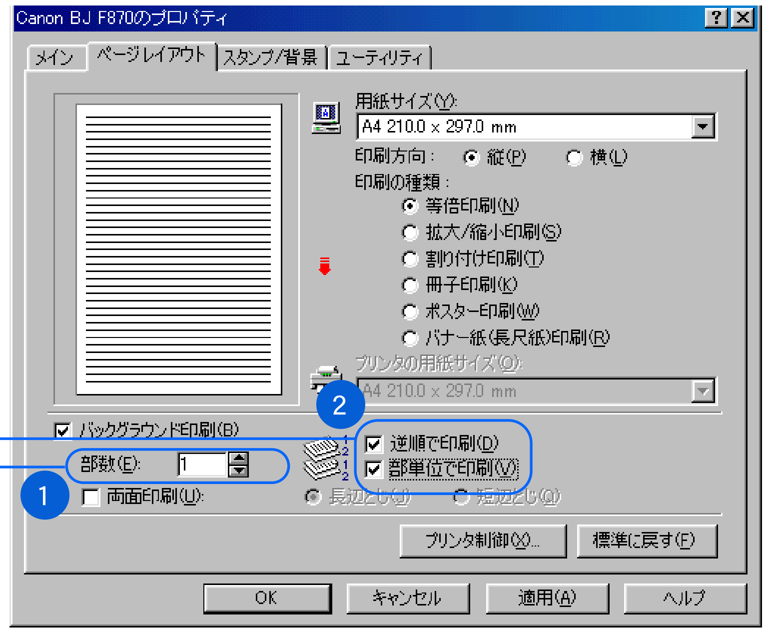
●部単位



●逆順で部単位



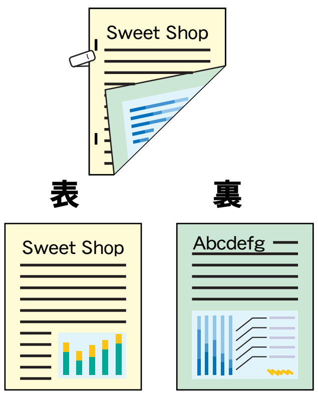
1. **プリンタドライバの［ページレイアウトシート］で、［部数］を入力します。**
2. **印刷したい順番にあわせて［逆順で印刷 ］と ［部単位で印刷］を設定します。**



両面に印刷する

片面ずつ 2 回印刷することにより、両面に印刷することができます。用紙の長辺をとじる場合と短辺をとじる場合の両方に対応できます。両面印刷は普通紙を選択した場合に使用できます。

●長辺をとじるとき



●短辺をとじるとき



note

写真のようにインクを多く使う画像は、裏うつりしたり、用紙が波打って印刷面をこすったりするため、両面印刷には適していません。

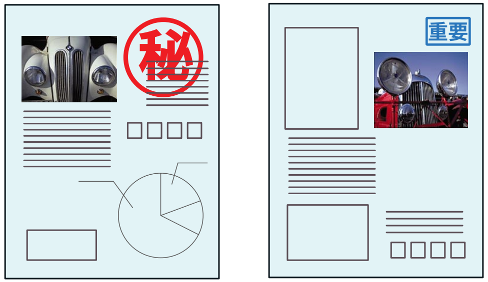
1. **プリンタドライバの［ページレイアウト］シートで、［両面印刷］にチェックマークをつけます。**
2. **［長辺とじ］か［短辺とじ］のどちらかを選択します。**
   - **印刷を実行すると、まず用紙の片側の面を印刷します。完了したら、メッセージにしたがって用紙をセットし、［OK］をクリックします。反対側の面を印刷します。**



文書にスタンプを追加して印刷する

囲みのあるカラフルなスタンプを文書の上に印刷することができます。お好きな文字と枠を組みあわせて、オリジナルスタンプを作ることもできます。「マル秘」、「重要」など、よく使うスタンプはあらかじめ用意されています。

●スタンプを追加して印刷



note

［スタンプ設定］をクリックすると、スタンプの文字や色、配置などを変更して、オリジナルスタンプを作ることができます。

➡ オリジナルスタンプを登録する

1. プリンタドライバの［スタンプ／背景］シートで、［スタンプ］の ▼ をクリックし、希望の文字を選びます。
2. 必要に応じて原稿データの上にスタンプを印刷するか（前面に印刷）、スタンプを最初のページのみ印刷するか（先頭ページのみ）を設定します。



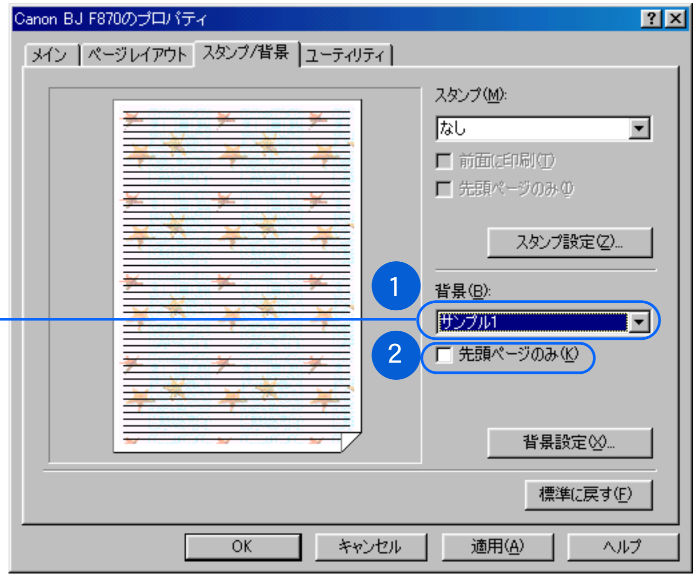
文書に背景を追加して印刷する

お好みの模様を文書の背景にして印刷することができます。オリジナルの画像を背景として指定できますので、さまざまな効果を楽しむことができます。

●背景を追加して印刷



1. プリンタドライバの［スタンプ／背景］シートで、［背景］の ▼ をクリックし、希望の模様を選びます。
2. 最初のページのみ背景を印刷する場合は［先頭ページのみ］を ☑（オン）にします。



note

［背景設定］をクリックすると、ビットマップファイルを選んで、オリジナルの背景を作ることができます。また、背景の配置や濃度も変更できます。

➡ オリジナルの背景を登録する

色を補正して印刷する　1/2

印刷結果の色合いを希望の色に近づけたいときは、色を補正することができます。
色補正には、プリンタドライバで色を補正する方法と、Windows の ICM 機能（Windows 95 は除く）を使って色を補正する方法があります。

●プリンタドライバで色補正をする





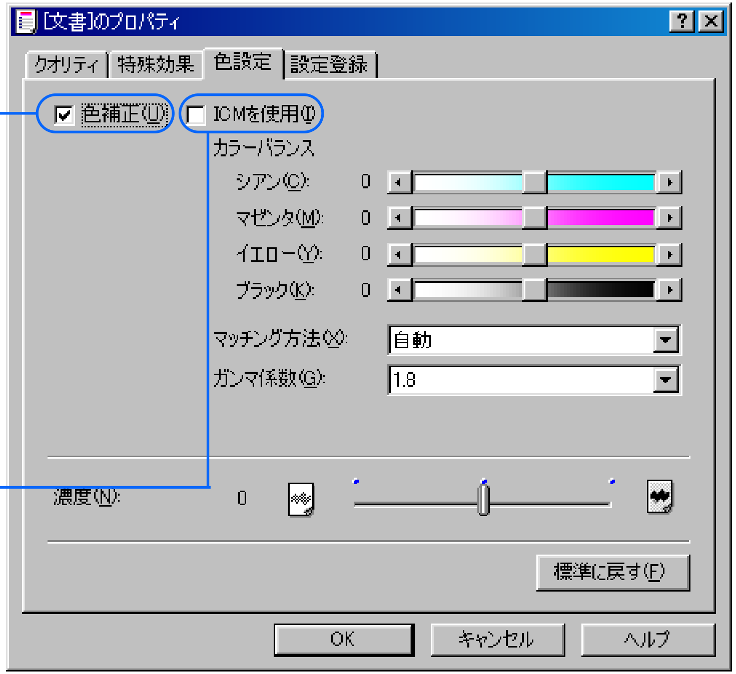
プリンタドライバで色を補正する場合は、カラーバランス、マッチング方法、ガンマ係数を調整して、色補正を行います。

プリンタドライバで色補正をする

● ICM を使って色補正をする

※［ICM を使用］は、Windows95 をお使いの場合は表示されません。

ICM（Image Color Matching）は、ディスプレイに表示されている色と、実際に印刷される色を自動的にあわせる機能です。プリンタドライバの［メイン］シートで［オートパレット詳細］をクリックし、［色設定］シートで選択してください。ただし、この機能を使用するには、アプリケーションソフトが ICM に対応している必要があるなど、さまざまな条件があります。詳しくはヘルプをご覧ください。

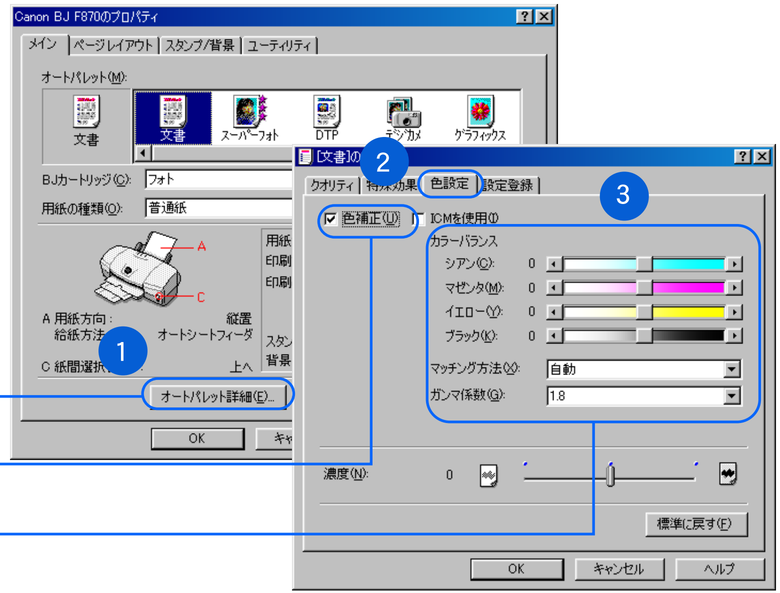


●プリンタドライバで色補正をする

1. プリンタドライバの［メイン］シートで、［オートパレット詳細］をクリックします。

2. ［色設定］シートで、［色補正］にチェックマークをつけます。

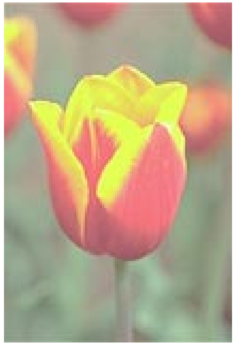
3. ［カラーバランス］、［マッチング方法］、［ガンマ係数］を調整します。
   - ［カラーバランス］
     シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのそれぞれの色の強弱を調整します。
     調整後はインクのバランスが変わるため、全体の色相も変わります。あくまで微調整にとどめてください。
   - ［マッチング方法］
     中間色を重視して印刷するか（写真）、原色を鮮やかに印刷するか（グラフィックス）を選択できます。［自動］を選ぶと印刷データ上にある画像のタイプを自動判別し、適切なマッチング方法に切り替えながら印刷します。
   - ［ガンマ係数］
     完全な白と黒は変化させないで、その中間の色のコントラストを調整します。



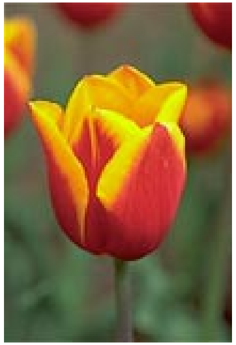
インクの濃淡を調整する

原稿の暗い部分がつぶれてしまうときや、明るい部分がとんでしまうときは、プリンタドライバで印刷の濃度を調整します。

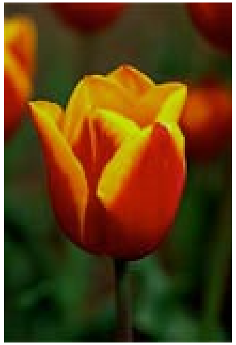
●薄くした場合

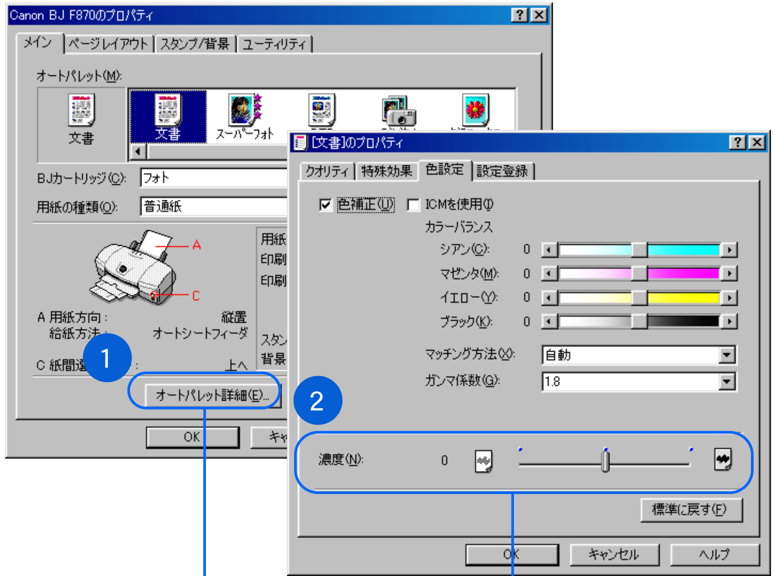


●通常



●濃くした場合





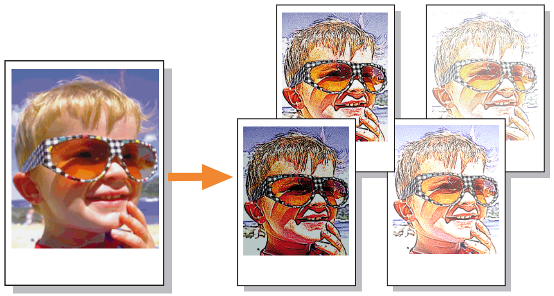
1 プリンタドライバの ［メイン］シートで、［オートパレット詳細］をクリックします。

2 ［色設定］シートで、［濃度］を調整します。
・右にいくほど濃く、左にいくほど薄くなります。

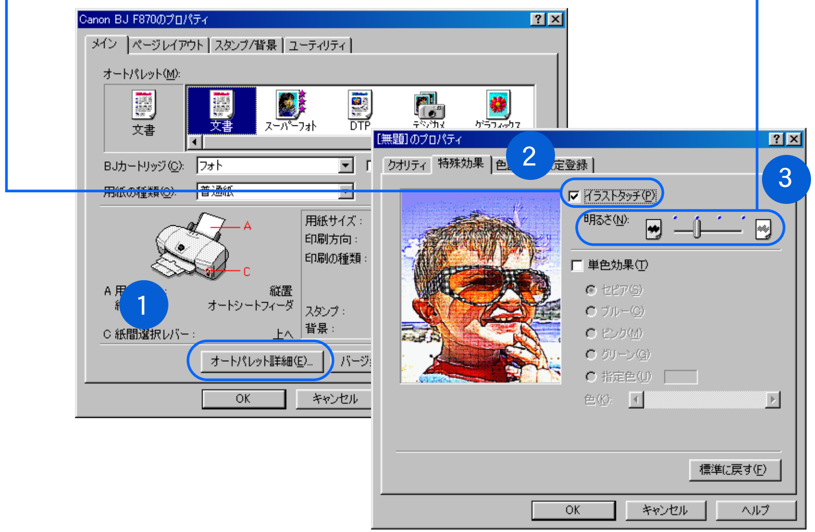
イラストタッチで印刷する

256 色以上の画像をイラストタッチに加工して、印刷することができます。
イラストタッチでは、全体の明るさを 4 段階で調整することができます。

● 4 段階で明るさを調整



1. プリンタドライバの ［メイン］ シートで、［オートパレット詳細］ をクリックします。
2. ［特殊効果］ シートで、［イラストタッチ］ にチェックマークをつけます。
3. スライドバーで明るさを調整します。

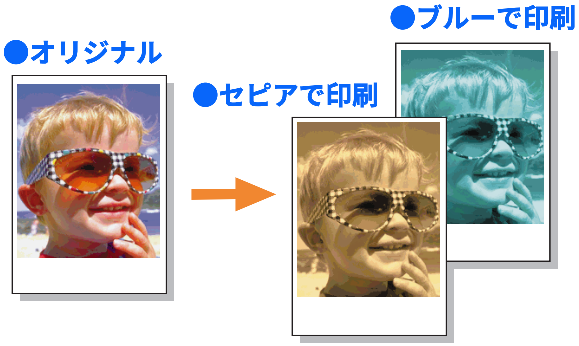


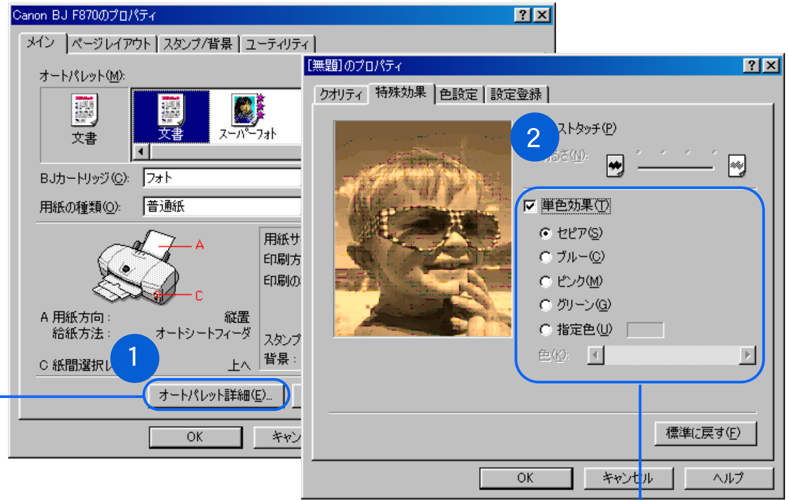
note

・［単色効果］ と組み合わせて印刷することができます。

カラー原稿を単色で印刷する（単色効果）

256 色以上の画像をセピアなどの単色に加工して印刷することができます。
「セピア」、「ブルー」、「ピンク」、「グリーン」の他に、好きな色を選択することができます。





1. プリンタドライバの［メイン］シートで、［オートパレット詳細］をクリックします。

2. ［特殊効果］シートで、［単色効果］にチェックマークをつけ、希望の色を選択します。

note

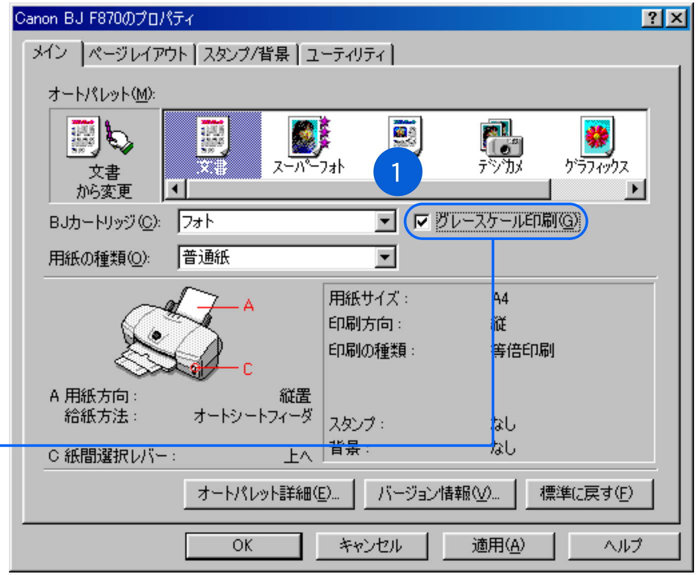
・［イラストタッチ］と組み合わせて印刷することができます。

カラー原稿をグレーで印刷する（グレースケール印刷）

**カラーの画像をグレーで印刷することができます。
カラー原稿の各カラーは、グレーの階調に変換され、明るい色ほど白に、暗い色ほど黒に近くなります。**

●グレースケール印刷





1 **プリンタドライバの［メイン］シートで、［グレースケール印刷］にチェックマークをつけます。**

note

［イラストタッチ］と組み合わせて印刷することができます。

既存のオートパレットの設定内容を変更して、新しいオートパレットを登録することができます。
ご自分で登録したオートパレットは、ファイルとして保存したり、不要になったときには削除できます。
登録の方法と整理のしかたを順に説明します。

- アイコンの表示順序をかえる
- 登録したオートパレットをファイルに保存する
- ファイルに保存したオートパレットを読み込む
- 不要になったオートパレットを削除する

●新しいオートパレットの登録

1. プリンタドライバの［メイン］シートを開き、［オートパレット］で印刷する原稿や目的に最も近いアイコンを選択します。

2. ［オートパレット詳細］ボタンをクリックします。

3. ［クオリティ］［特殊効果］［色設定］の各シートの設定を必要に応じて変更します。
   ・各設定項目の意味は、? ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。

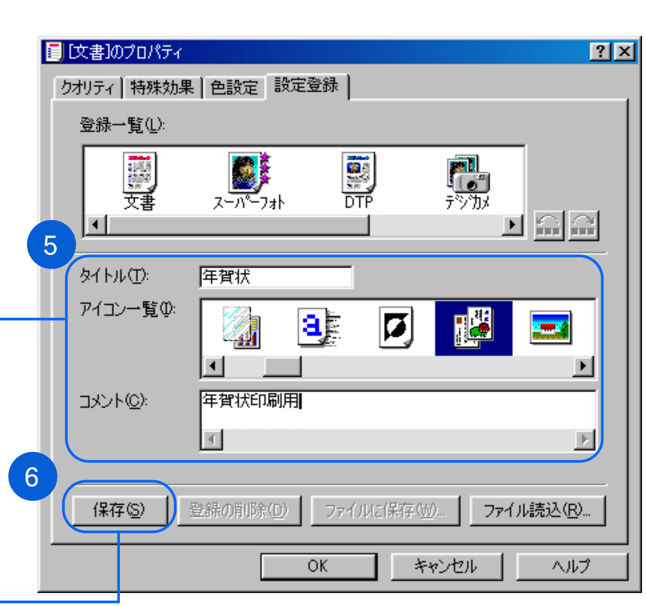
4. ［設定登録］タブをクリックします。



オートパレットの登録と整理　2/6

5 ［タイトル］を入力し、［アイコン一覧］で新しいオートパレットのアイコンを選択します。
- タイトルは半角で 8 文字、全角で 4 文字以内でつけてください。なお、既存のオートパレットが使用しているのと同じタイトルは使用できません。また、「ﾜｰﾌﾟﾛ」、「表計算」、「絵」、「写真ﾌｨﾙﾑ」、「OHP 」というタイトルも使用できません。
- 必要に応じてオートパレットの説明を、［コメント］に入力してください。ここで入力したコメントは、［メイン］シートの［オートパレット］のアイコンにマウスポインタを置くと表示されます。

6 ［保存］ボタンをクリックします。
- ［登録一覧］に新しいオートパレットが表示されます。



note

［メイン］シートのオートパレットが［～から変更］の状態になっている場合は、［～から変更］アイコンを右クリックし、［名前を付けて保存］を選択する方法でも新規登録できます。

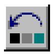
●アイコンの表示順序を変える

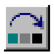
1 プリンタドライバの［メイン］シートを開き、［オートパレット詳細］ボタンをクリックします。

2 ［設定登録］タブをクリックします。

3 ［登録一覧］で表示位置を変えたいアイコンを選択します。

4 次のいずれかの方法で移動します。
・アイコン移動ボタンをクリックして、目的の位置に移動させる。

 …アイコンがひとつ前に移動する。

 …アイコンがひとつ後に移動する。

・［登録一覧］で直接マウスでアイコンをドラッグし、目的の位置に移動したらマウスのボタンを離す。



note
移動したあとで［キャンセル］ボタンをクリックしても、元の位置には戻せません。同様の手順でアイコンを移動して元の位置に戻してください。

●登録したオートパレットをファイルに保存する

1 プリンタドライバの［メイン］シートを開き、［オートパレット詳細］ボタンをクリックします。

2 ［設定登録］タブをクリックします。

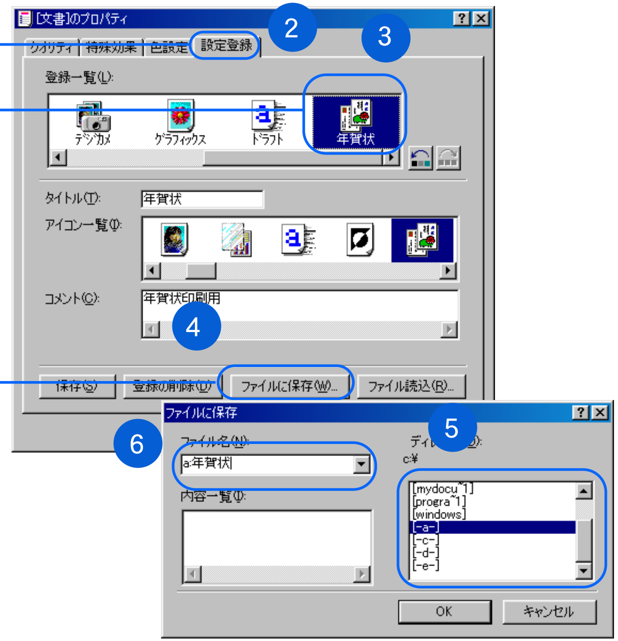
3 ［登録一覧］でファイルに保存したいアイコンを選択します。

4 ［ファイルに保存］ボタンをクリックします。

5 ［ディレクトリ］で保存するドライブ、フォルダ名を選択します。

6 ［ファイル名］の入力欄をクリックして、ファイルの名前を入力します。半角で 8 文字以内、全角で 4 文字以内の名前をつけてください。

7 ［OK ］ボタンをクリックします。

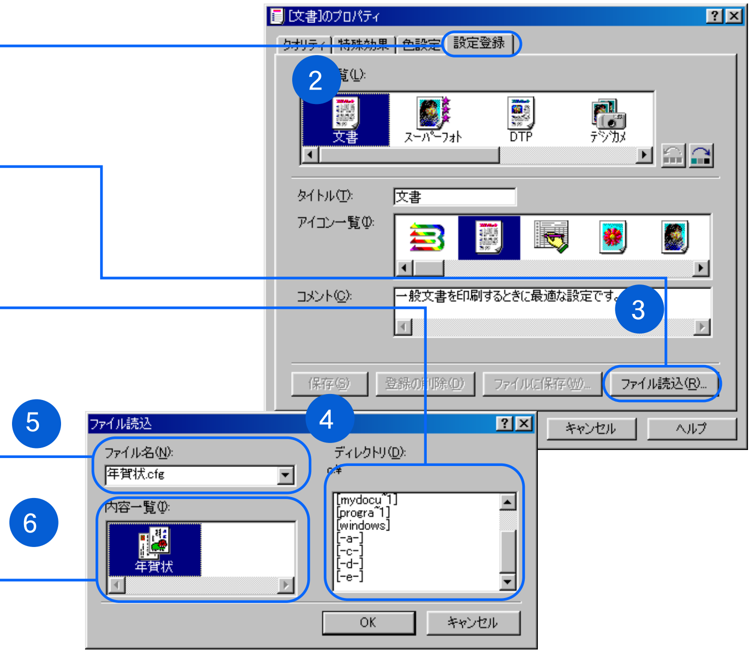


note

ひとつのファイルには複数のオートパレットを保存できます。オートパレットごとにファイル名をつけ直す必要はありません。

●ファイルに保存したオートパレットを読み込む

1. プリンタドライバの［メイン］シートを開き、［オートパレット詳細］ボタンをクリックします。
2. ［設定登録］タブをクリックします。
3. ［ファイル読込］ボタンをクリックします。
4. ［ディレクトリ］でオートパレットのファイルが保存されているドライブ、フォルダ名を選択します。
5. ［ファイル名］でオートパレットが保存されているファイルを選択します。
6. ［内容一覧］で使用したいオートパレットのアイコンを選択します。
7. ［OK］ボタンをクリックします。
   - オートパレットが読み込まれて、［設定登録］シートの［登録一覧］に表示されます。



オートパレットの登録と整理　6/6

●不要になったオートパレットを削除する

1 プリンタドライバの［メイン］シートを開き、［オートパレット詳細］ボタンをクリックします。

2 ［設定登録］タブをクリックします。

3 ［登録一覧］で削除したいアイコンを選択します。

4 ［登録の削除］ボタンをクリックします。

5 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。



note

- ［文書］など既存のオートパレットは削除できません。
- 次の手順で［メイン］シートでも登録したオートパレットを削除できます。

1 ［オートパレット］で削除したいアイコンを右クリックし、［削除］を選択する。

2 確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックする。

スタンプの登録と削除　*1 / 2*

スタンプ設定のプロパティ画面では、既存のスタンプの設定内容を変更したり、新しいスタンプを登録することができます。
不要になったスタンプは削除できます。登録と削除のしかたを順に説明します。

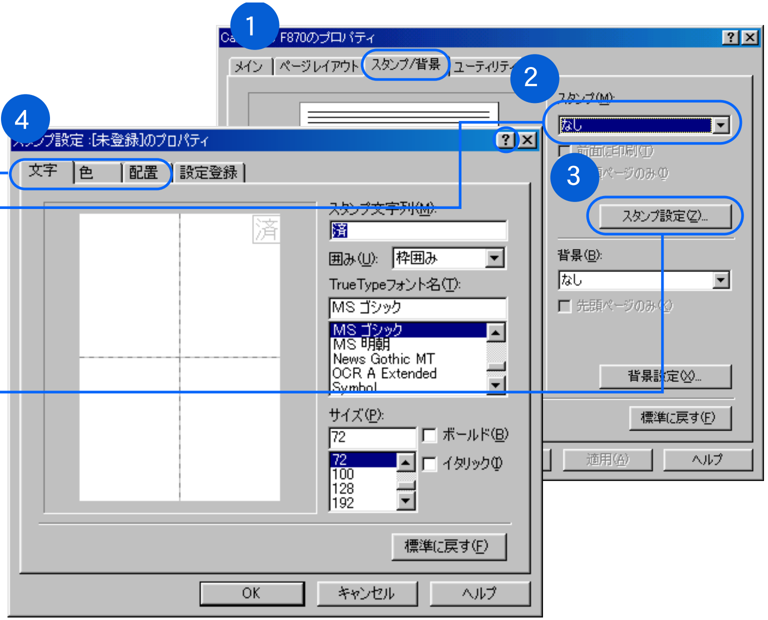
●新しいスタンプの登録

1. プリンタドライバの設定画面を開き、［スタンプ / 背景］タブをクリックします。

2. すでに登録してあるスタンプの設定を一部変更する場合は、［スタンプ］で目的のスタンプを選択します。まったく新規で作成する場合は、［なし］を選択してください。

3. ［スタンプ設定 ］ボタンをクリックします。

4. ［文字］［色］［配置］の各シートでスタンプに使用する文字列に関する設定を行います。
   - 各設定項目の意味は、[?] ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。



スタンプの登録と削除　2/2

5 [設定登録] タブをクリックします。

6 [タイトル] を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



7 確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

●不要になったスタンプを削除する

1 プリンタドライバの設定画面を開き、[スタンプ / 背景] タブをクリックします。

2 [スタンプ設定] ボタンをクリックします。

3 [設定登録] タブをクリックします。

4 [タイトル] の一覧から、削除したいスタンプを選択します。

5 [削除] ボタンをクリックします。

6 確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

背景の登録と削除　1/3

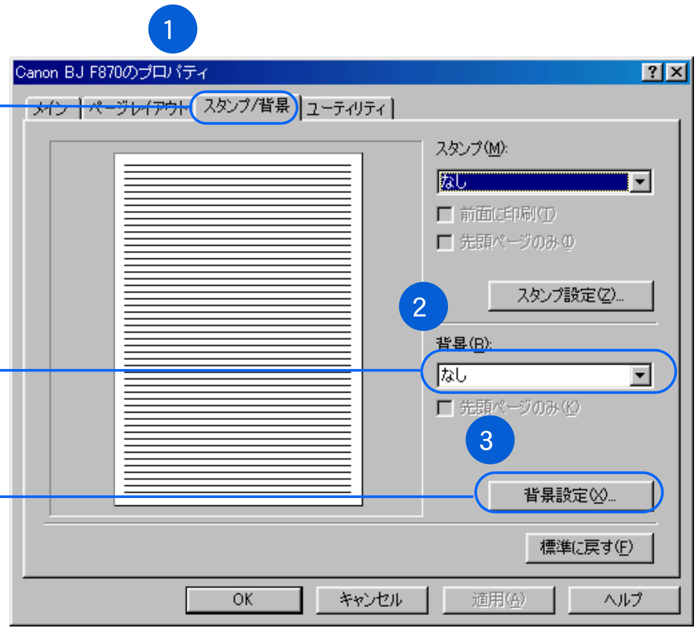
任意のビットマップファイルを選択して、新しい背景として登録することができます。また、既存の背景の設定を一部変更して登録することも可能です。
不要になった背景は削除できます。登録の方法と削除のしかたを順に説明します。

●新しい背景の登録

1. プリンタドライバの設定画面を開き、［スタンプ / 背景］タブをクリックします。

2. すでに登録してある背景の設定を一部変更する場合は、［背景］で目的のタイトルを選択します。まったく新規で作成する場合は、［なし］を選択してください。

3. ［背景設定 ］ボタンをクリックします。
・すでに登録してある背景の設定を変更する場合は 6 に進んでください。



背景の登録と削除　2 / 3

4 ［ファイル選択］ボタンをクリックします。

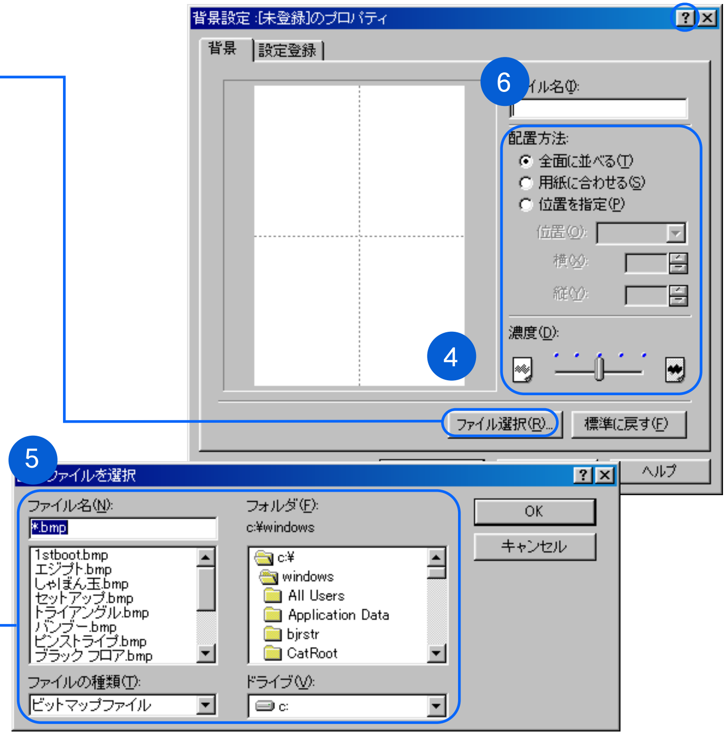
5 ［ドライブ］、［フォルダ］、［ファイル名］の順に指定して背景として使用するビットマップファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

6 必要に応じて［背景］シートにあるその他の設定を行います。
・ 各設定項目の意味は、 ? ボタンをクリックしたあと項目をクリックして、ヘルプの説明を表示して確認してください。

7 ［設定登録］タブをクリックします。

8 タイトルを入力し、［保存］ボタンをクリックします。

9 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。



note

容量が 15M バイトを超えるビットマップは背景として登録できません。

背景の登録と削除　3 / 3

●不要になった背景を削除する

1. プリンタドライバの設定画面を開き、［スタンプ / 背景］タブをクリックします。
2. ［背景設定］ボタンをクリックします。
3. ［設定登録］タブをクリックします。
4. ［タイトル］の一覧から、削除したい背景を選択します。
5. ［削除］ボタンをクリックします。
6. 確認のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

BJ ステータスモニタは、プリンタの状態をコンピュータから確認するためのソフトウェアです。
BJ ステータスモニタは、プリンタにエラーが発生するとその内容と対処方法を表示します。また、印刷の中止やインク残量の確認なども行えます。

● BJ ステータスモニタを表示する

印刷が正常に始まると、タスクバーに BJ ステータスモニタのアイコンが表示されます。BJ ステータスモニタは、タスクバーから 開いてください。

note

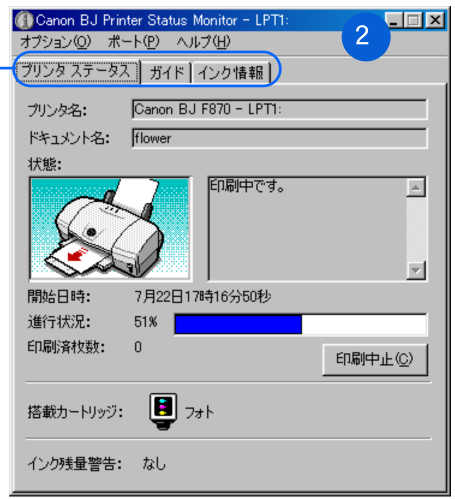
・印刷していないときに BJ ステータスモニタを表示させたいときは、プリンタドライバの［ユーティリティ］シートで［ステータスモニタ起動］をクリックします。
・［ オプション ］メニューをクリックすると、BJ ステータスモニタの起動方法を変更できます。詳しくはヘルプをご覧ください。
・BJ ステータスモニタ右上の ☒ をクリックすると、BJ ステータスモニタが閉じます。
・BJ ステータスモニタは、双方向通信機能をサポートするように設定されているときにだけ起動されます。

➡ BJ ステータスモニタが表示されない

1 タスクバーの［Canon BJ Printer Status Monitor］をクリックします。
・BJ ステータスモニタ画面が表示されます。



2 ［ プリンタステータス ］、［ガイド］、［インク情報］ の各シートでプリンタの状態や印刷の進み具合、インク残量などを確認します。



●エラーが発生したとき

エラーが発生したときは、自動的に BJ ステータスモニタが表示されます。



1 **[プリンタステータス] シートでエラーの状況を確認します。**

2 **[ガイド] タブをクリックします。**
- **エラーの原因と対処方法が表示されます。**
- **[次へ] とクリックすると、説明の続きを読むことができます。**

note

エラーを処置して印刷が終了すると、BJ ステータスモニタは、自動的に終了します。

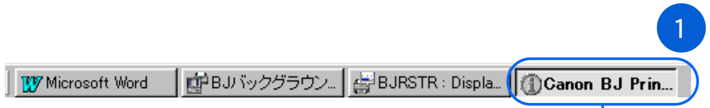
●印刷を中止する

バックグラウンド印刷が設定されていないときでも、BJ ステータスモニタで印刷を中止することができます。

1 **タスクバーの [Canon BJ Printer Status Monitor]をクリックします。**
・BJ ステータスモニタ画面が表示されます。

2 **[印刷中止] をクリックします。**

3 **メッセージを確認して、[OK] をクリックします。**
・印刷が中止されます。

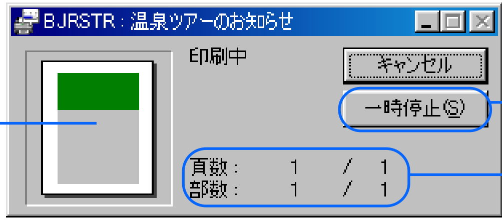




BJ バックグラウンダ

印刷をしながら、アプリケーションで別の操作を行えるような印刷方法のことをバックグラウンド印刷といいます。
BJ バックグラウンダは、バックグラウンド印刷を行うと、印刷データの処理状態を表示します。

・[印刷状況の図]
印刷データの処理状態が図で表示されます。



・[一時停止]
印刷を一時停止したいときにクリックします。一時停止している間はボタンが [再開] に変わります。[再開] をクリックすると、印刷がはじまります。

・[頁数][部数]
印刷データのページ数と部数が表示されます。

●印刷を中止する

データを処理中の印刷を中止することもできます。

1 BJ バックグラウンダ画面の [キャンセル] をクリックします。
・中止を確認する画面が表示されます。

2 [OK] をクリックします。
・印刷が中止されます。

note

・印刷データの処理が終了すると、BJ バックグラウンダは、自動的に終了します。
・バックグラウンド印刷を行うには、プリンタドライバの [ページレイアウト] シートで、[バックグラウンド印刷] にチェックマークを付けてください。

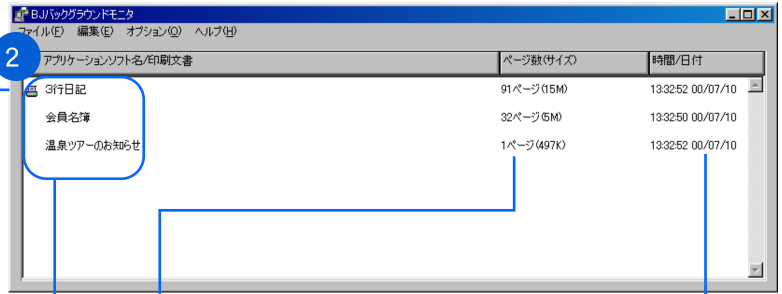
BJ バックグラウンドモニタ　1/3

BJ バックグラウンドモニタは、バックグラウンド印刷をしているときに、印刷の状態を確かめるためのソフトウェアです。
BJ バックグラウンドモニタでは、**印刷の中止**や、**印刷の順番を変える**ことができます。

●バックグラウンドモニタを表示する

印刷が始まると、自動的に BJ バックグラウンドモニタが起動し、タスクバーにアイコン表示されます。





1 タスクバーの [BJ バックグラウンドモニタ] アイコンをクリックします。
・バックグラウンドモニタが表示されます。

2 印刷待ちの文書の状態を確認します。

・[時間 / 日付]
アプリケーションソフトから印刷を始めた時間と日付が表示されます。

・[ページ数 (サイズ)]
印刷データのページ数と容量が表示されます。

・[アプリケーションソフト名／印刷文書]
印刷データを作成したアプリケーションソフト名とファイル名です。印刷中の文書と印刷待ちの文書が順に表示され、印刷中の文書には 🖶 （プリンタマーク）が付きます。

note

・BJ バックグラウンドモニタの [ファイル] メニューの [終了] を選択するか、画面右上の ☒ をクリックすると、BJ バックグラウンドモニタが閉じます。
・BJ バックグラウンドモニタの詳しい説明は、[ヘルプ] メニューの [ヘルプ] をご覧ください。

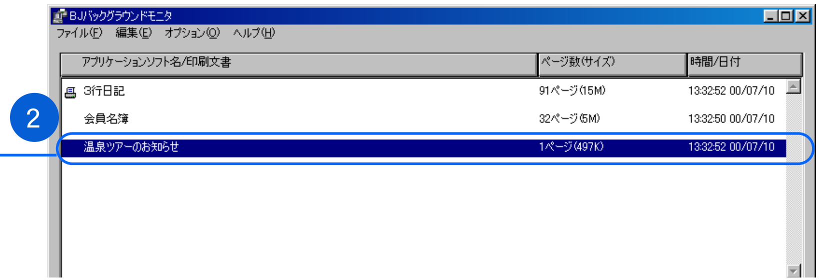
●印刷を中止する

バックグラウンド印刷が設定されているときは、BJ バックグラウンドモニタで、印刷中や印刷待ちの文書を削除できます。

1. **タスクバーの [BJ バックグラウンドモニタ] をクリックします。**
   ・BJ バックグラウンドモニタ画面が表示されます。



2. **印刷を中止したい文書をクリックして、反転表示させます。**



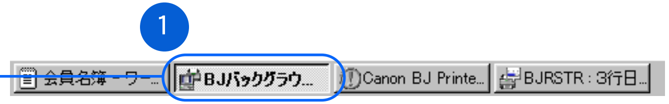
3. **[編集] メニューの [削除] をクリックします。**
   ・削除を確認する画面が表示されます。

4. **[OK] をクリックします。**
   ・印刷が中止されます。

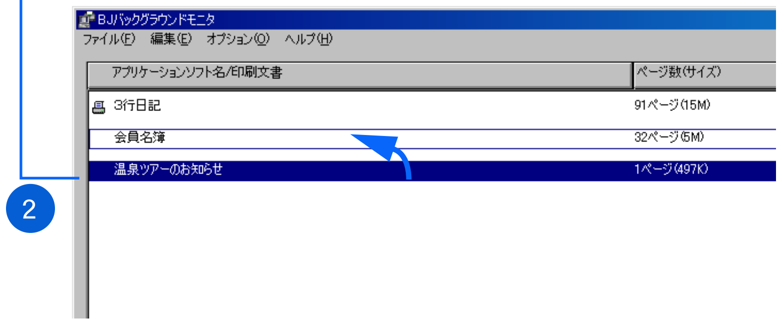
●印刷の順番を変えるには

BJ バックグラウンドモニタで印刷待ちの文書の順番を変えることができます。

1 タスクバーの [BJ バックグラウンドモニタ] をクリックします。
・BJ バックグラウンドモニタ画面が表示されます。



2 順番を変えたい文書をクリックし、移動したい位置までマウスの左ボタンを押したまま移動させます。



note

印刷中の文書は、順番を変えることができません。

BJ プリンタモニタは、複数の BJ プリンタを接続している場合に使うソフトウェアです。コンピュータに接続しているすべての BJ プリンタの接続ポート、プリンタの接続状態、インク残量などの情報をリスト形式で見ることができます。

● BJ プリンタモニタの開き方

1 デスクトップの [BJ ラスタプリンタ] フォルダを開きます。

2 [BJ プリンタモニタ]アイコンをダブルクリックします。

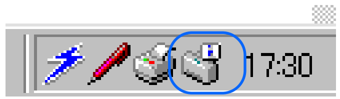
・BJ プリンタモニタ画面が表示されます。

➡ BJ プリンタモニタ

・[プリンタ情報] メニューの [閉じる] をクリックすると、BJ プリンタモニタ画面が閉じます。(Windows のタスクバーにアイコンが表示されます。)BJ プリンタモニタを終了するときは、タスクバーに表示されているアイコンを右クリックして [BJ プリンタモニタの終了] を選びます。

note

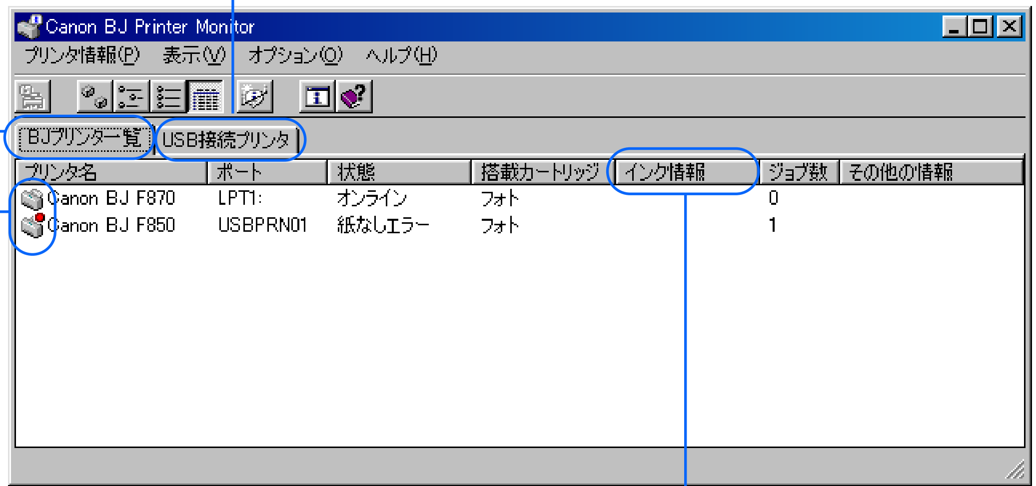
[オプション] メニューの [Windows と同時に起動] をクリックしておくと、Windows の起動と同時に BJ プリンタモニタを起動させることができます。BJ プリンタモニタを表示するときは、タスクバーに表示されているアイコンをダブルクリックしてください。



● BJ プリンタモニタ

・[BJ プリンター覧] シート
BJ プリンタの接続状況といろいろな情報が表示されます。

・[USB 接続プリンタ] シート
Windows 98/ Windows Me でお使いの場合には、USB で接続されているプリンタの接続状況が表示されます。プリンタ情報は、プリンタ名 on 使用ポート名 (プリンタドライバ名、搭載カートリッジ名)の形式で表示されています。



・プリンタアイコン
アイコンの形でエラーや警告が発生していることを知らせます。

 エラーが発生しています。

 警告が発生しています。

 正常な状態です。

さらに詳しい情報を見たいときには、プリンタアイコンをダブルクリックします。それぞれの BJ ステータスモニタが表示されます。

・[インク情報]
インクがなくなったときやインクの残量が少ないときにメッセージが表示されます。

プリントヘッドをクリーニングする　1/2

ノズルチェックパターンを印刷した結果、パターンが欠けている場合は、プリントヘッドのノズルがつまっていることが考えられます。プリントヘッドをクリーニングしてみましょう。

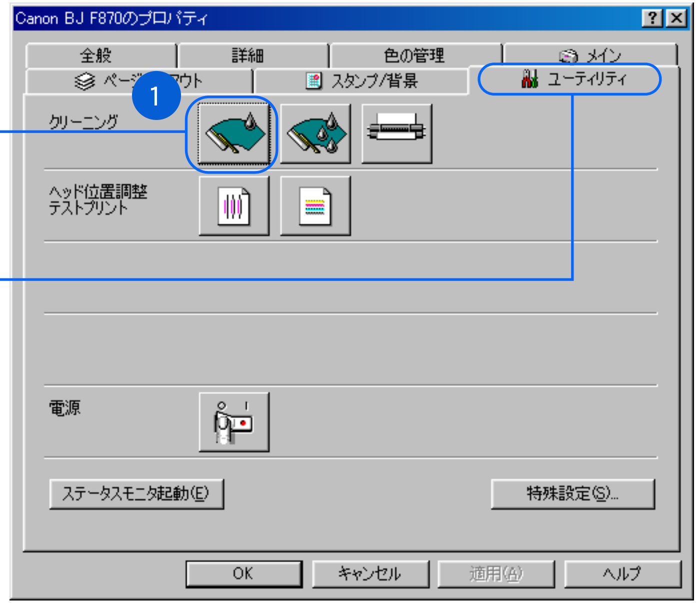
禁止
・クリーニングはインクを消費します。不必要なクリーニングは避けてください。

note

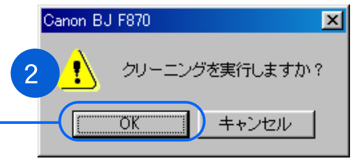
クリーニングを行うタイミングについては『基本操作ガイド』の「プリントヘッドをメンテナンスする」をご覧ください。

1. プリンタドライバの［ ユーティリティ ］シートで、（クリーニング）をクリックします。

   ➡ プリンタドライバを単独で開く



2. メッセージを確認して [OK] をクリックします。
   ・クリーニングが始まり、ランプが点滅します。クリーニングが終了するまでに 30 秒ほどかかります。ランプが点灯に変わるまで、しばらくお待ちください。



プリントヘッドをクリーニングする　2/2

3 メッセージを確認して [OK] をクリックします。

4 ノズルチェックパターンを印刷し、クリーニングの効果を確認します。



note

・プリンタのリセットボタンを使ってクリーニングをすることもできます。
ランプが点灯していることを確認してからプリンタのリセットボタンを押し続け、ランプが 1 回点滅したときにボタンを離してください。
・クリーニングの効果がない場合は、BJ ステータスモニタでインクの残量を確認するか、またはインクタンクにインクが残っているかを直接確認してください。
インクがない場合
インクタンクを交換してください。
インクが残っている場合
プリントヘッドのクリーニングとノズルチェックパターンの印刷をくり返してみてください。クリーニングを 5 回くり返しても正常に印刷されない場合は、プリントヘッドのリフレッシングを実行してみてください。

プリントヘッドをリフレッシングする 1/2

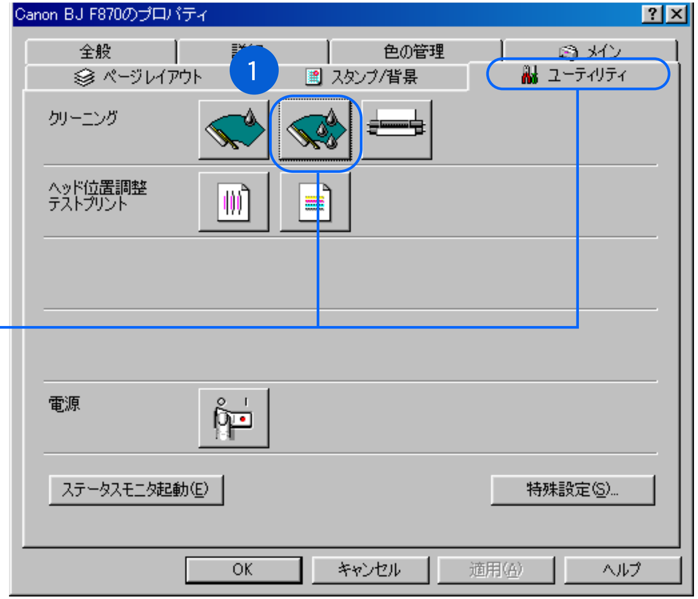
インクは残っているのに、プリントヘッドのクリーニングを 5 回くり返しても印刷がかすれるときは、プリントヘッドをリフレッシングしてみましょう。

禁止 ・ヘッドリフレッシングはインクを消費します。不必要なヘッドリフレッシングは避けてください。

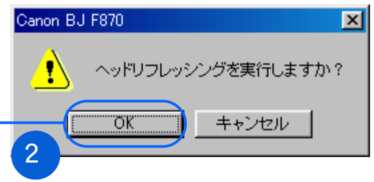
1 プリンタドライバの [ユーティリティ] シートで、

（ヘッドリフレッシング）をクリックします。

プリンタドライバを単独で開く



2 メッセージを確認して [OK] をクリックします。
・ ヘッドリフレッシングが始まり、ランプが点滅します。ヘッドリフレッシングが終了するまでに 1 分ほどかかります。ランプが点灯に変わるまで、しばらくお待ちください。



プリントヘッドをリフレッシングする　2 / 2

3 メッセージを確認して [OK] をクリックします。

4 ノズルチェックパターンを印刷し、リフレッシングの効果を確認します。



note

プリントヘッドのリフレッシングをしてもノズルチェックパターンがかすれて印刷される場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理受付窓口にご相談ください。

『ご相談窓口のご案内』

給紙ローラを清掃する　*1 / 5*

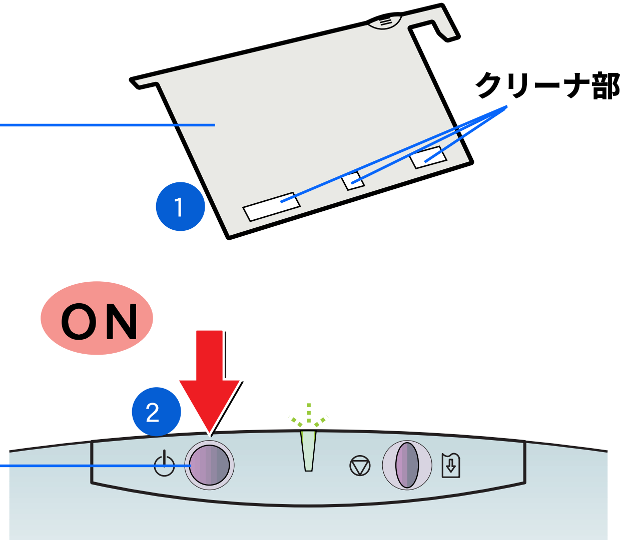
表面に特殊加工をした用紙やはがきなどを頻繁に使用すると、プリンタ内に紙粉がたまり、給紙ローラが汚れて用紙が正しく送られなかったり、用紙にローラの跡がつくことがあります。このような場合は、付属のクリーニングプレートを使って、給紙ローラを清掃しておきましょう。

- **準備するもの　クリーニングプレート、A4 サイズの普通紙 2 枚**



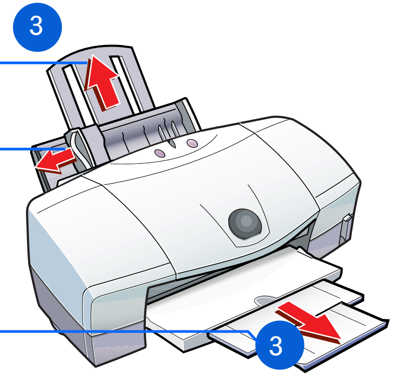
1 **クリーニングプレートのクリーナ部分に水を十分含ませます。**
- **クリーナ部分以外についた水分は、クリーニングプレートの表面、裏面ともによく拭き取ってください。**

2 **プリンタの電源を入れます。**



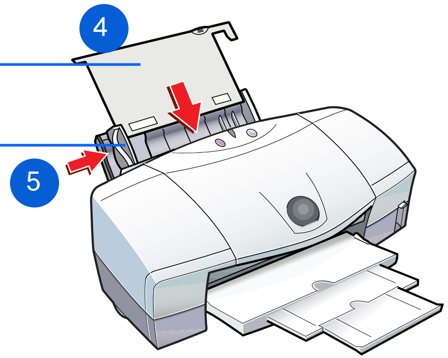
給紙ローラを清掃する　2/5

3 プリンタの用紙サポート、排紙トレイを引き出し、用紙ガイドを広げます。



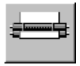
4 クリーナ部のある面を手前に向け、クリーナ部の位置が下になるようにして、右側の切り欠きをオートシートフィーダに引っかけて取り付けます。

5 用紙ガイドをクリーニングプレートの左側に軽く当てます。

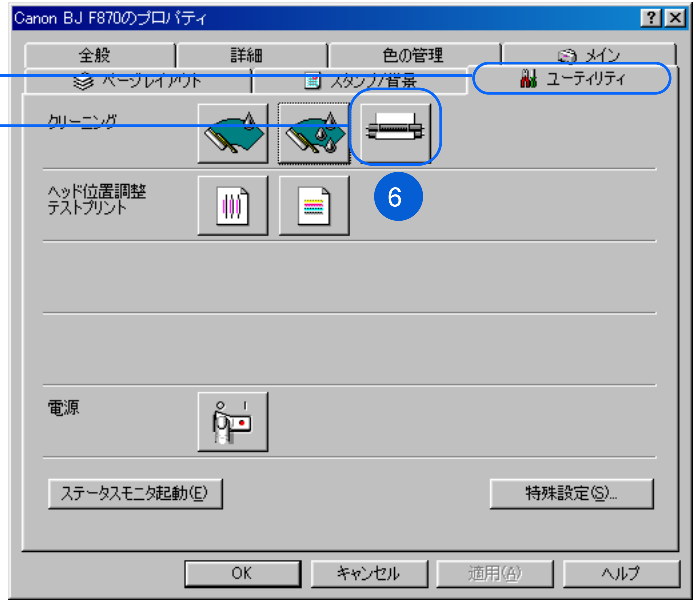


給紙ローラを清掃する　3/5

6

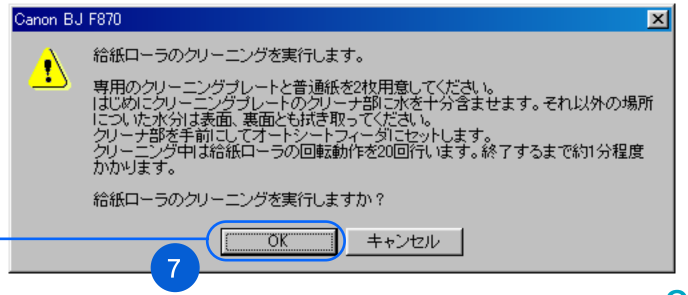
プリンタドライバの [ユーティリティ] シートで、
(給紙ローラのクリーニング) をクリックします。

プリンタドライバを単独で開く

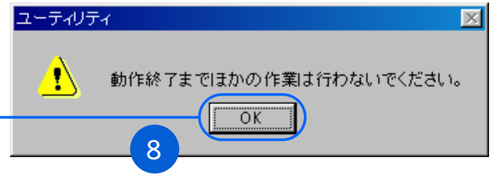


7

メッセージを確認して [OK] をクリックします。
- 給紙ローラのクリーニングが始まり、ランプが点滅します。終了するまでに 1 分ほどかかります。ランプが点灯に変わるまで、しばらくお待ちください。

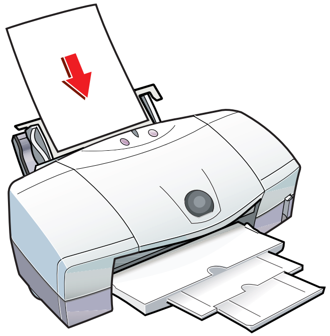


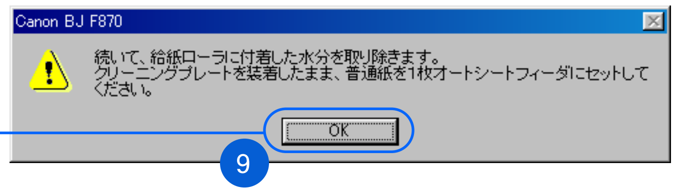
8 メッセージを確認して [OK] をクリックします。



9 クリーニングプレートをセットしたままオートシートフィーダに普通紙を 1 枚セットし、[OK] をクリックします。

・ 給紙ローラに付いている水分を取り除くために、普通紙がオートシートフィーダの中に送られ、排出されます。





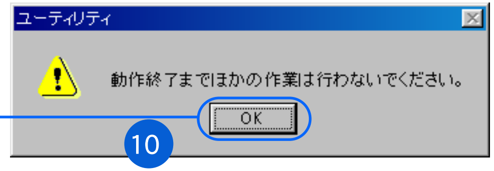
給紙ローラを清掃する　5/5

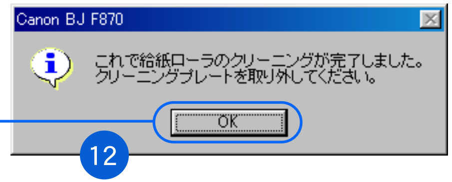
10 メッセージを確認して [OK] をクリックします。

11 手順 9 から 10 をもう 1 回行います。

12 メッセージを確認して [OK] をクリックします。

13 クリーニングプレートを取り外し、クリーナ部分の水分を拭き取って大切に保管してください。

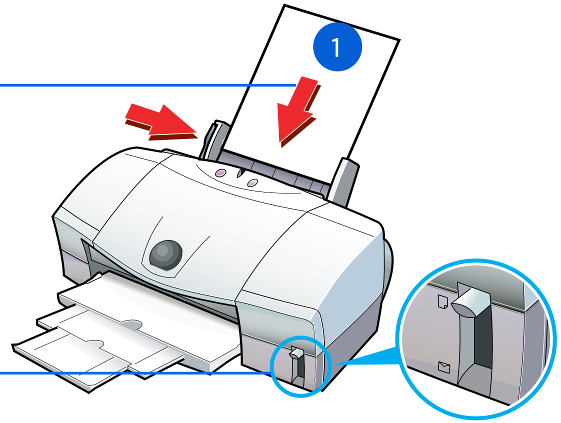




プリントヘッドの位置を調整する　1/4

写真を印刷した結果に縦のすじが出たり、ざらつき感があったり、均一感が十分に出ていないときには、次の手順でヘッド位置調整パターンを印刷し、プリントヘッドの位置を調整してください。プリントヘッドの位置がずれていると、きれいに印刷することができません。

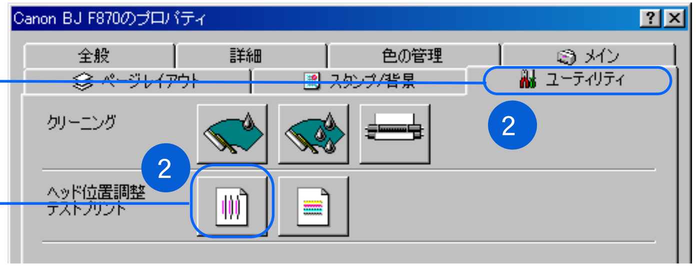
1. プリンタの電源が入っていることを確認して、紙間選択レバーを □ （上）にセットし、A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします。



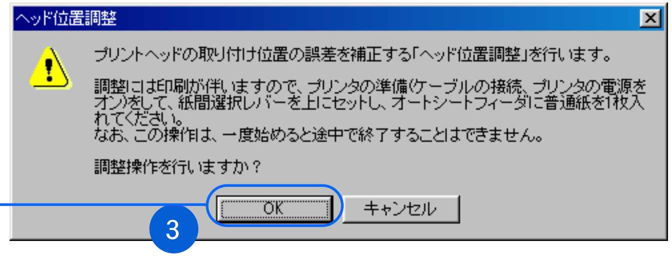
プリントヘッドの位置を調整する　2/4

2 プリンタドライバの [ユーティリティ] シートで （ヘッド位置調整）をクリックします。

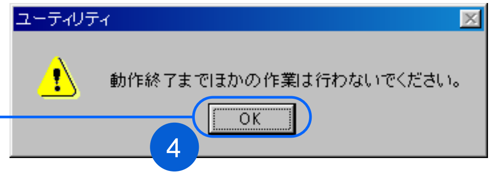
➡ プリンタドライバを単独で開く



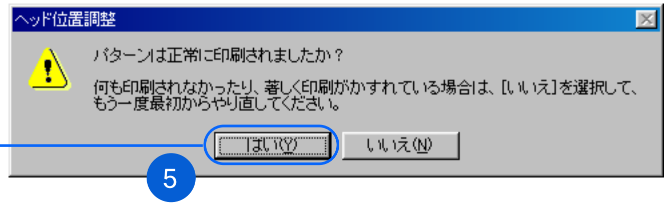
3 メッセージを確認して [OK] をクリックします。
・ ヘッド位置調整パターンの印刷が始まります。



4 メッセージを確認して [OK] をクリックします。



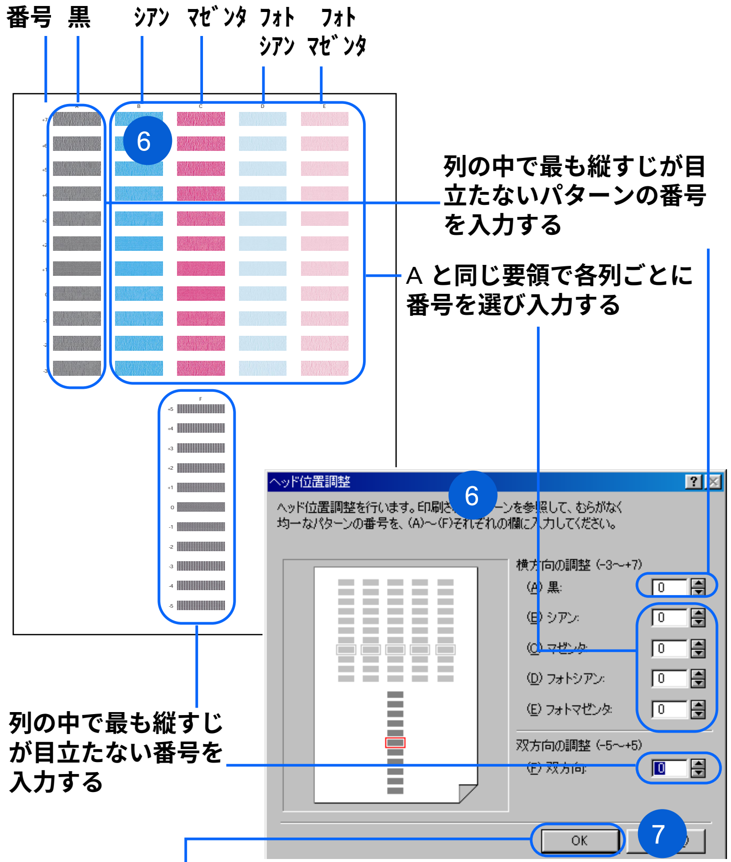
5 メッセージを確認して [はい] をクリックします。



プリントヘッドの位置を調整する　3/4

6　**印刷されたプリントヘッド位置調整パターンを見ながら、番号を入力します。**

- **横方向の調整：**+7 ～ −3 **のうち、最も縦すじの目立たない番号を選び、**A ～ E **に入力します。**
- **双方向の調整：**+5 ～ −5 **のうち、最も縦すじの目立たない番号を選び、**F **に入力します。**



note

・番号入力で迷ったときは次のようにしてください。
A(**黒**)、B(**シアン**)、C(**マゼンタ**) **の場合**
⇨　**大きい方の番号を入力**
D(**フォトシアン**) **の場合**
⇨　A(**黒**) **と同じ番号を入力**
E(**フォトマゼンタ**) **の場合**
⇨　B(**シアン**) **と同じ番号を入力**
F(**双方向**) **の場合**
⇨　**小さい方の番号を入力**

7　[OK] **をクリックします。**

プリントヘッドの位置を調整する　4 / 4

8 画面のメッセージを確認して、[OK]をクリックします。



ノズルチェックパターンを印刷する　1 / 2

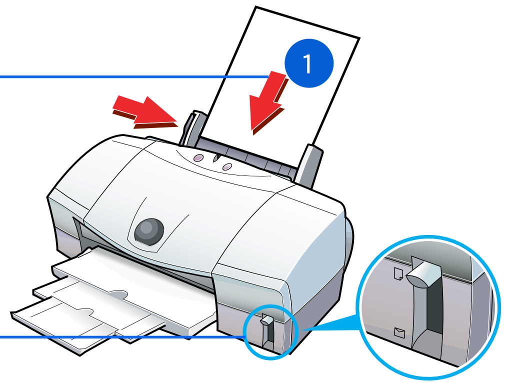
かすれて印刷されたり、色合いがおかしいときは、まずノズルチェックパターン（テストパターン）を印刷して、次の 2 点を確認しましょう。

- **プリントヘッドのノズル（噴き出し口）から、正しく各色のインクが出ているか**
- **プリントヘッドの位置にずれがないか**

1 **プリンタの電源が入っていることを確認して、紙間選択レバーを （上）にセットし、A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします**

2 **プリンタドライバの［ユーティリティ］シートで、（ノズルチェックパターン）をクリックします。**

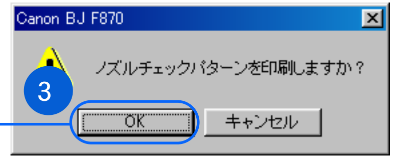
プリンタドライバを単独で開く



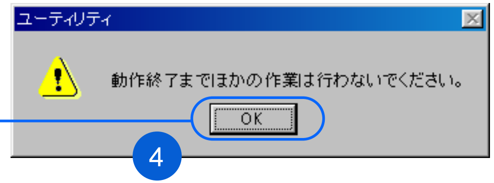


ノズルチェックパターンを印刷する　2 / 2

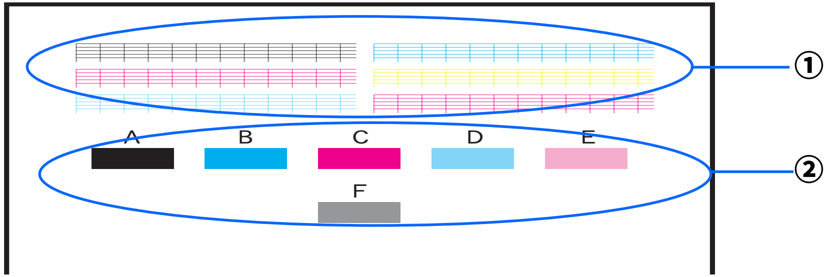
3 メッセージを確認して [OK] をクリックします。



4 メッセージを確認して [OK] をクリックします。



5 印刷されたノズルチェックパターンを見て、各色のノズルの状態を確認します。



①のパターンが欠けている場合は、プリントヘッドのクリーニングが必要です。
②は現在のヘッド位置調整の状態を確認するパターンです。パターンに縦の白すじが目立つときは、プリントヘッドの位置調整が必要です。

note

ノズルチェックパターンは、プリンタのリセットボタンを使って印刷することもできます。ランプが点灯していることを確認してからプリンタのリセットボタンを押し続け、ランプが 2 回点滅したときにボタンを離してください。

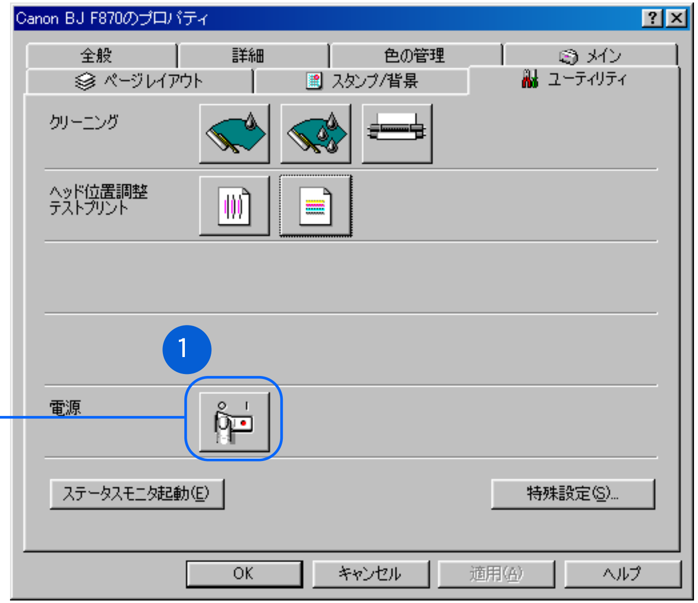
電源を切る

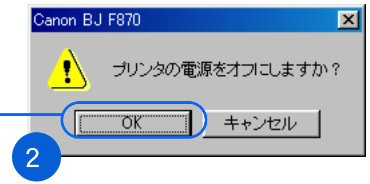
プリンタドライバの設定画面でプリンタの電源を切ることができます。

1 **プリンタドライバの［ユーティリティ］シートで、（電源オフ）をクリックします。**

➡ プリンタドライバを単独で開く

2 **メッセージを確認して［OK］をクリックします。**
・ プリンタの電源が切れます。





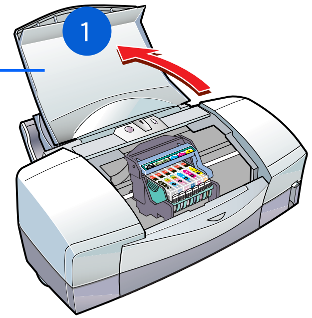
インクタンクを交換する　*1/3*

インクがなくなったときは、次の手順で新しいインクタンクに交換しましょう。

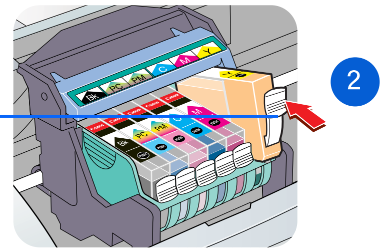
禁止

- 複数のインクタンクを交換する場合は、必ず、1つずつ交換してください。入れる場所を間違えて印刷すると、混色して正しく印刷できなくなります。
  万が一入れる場所を間違えた場合は、インクタンクを正しく入れ直してからプリントヘッドのクリーニングを何回か行ってください。
- インクタンクのインク出口には手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。

animation



1 プリンタの電源を入れ、フロントカバーを開きます。
・ プリントヘッドが交換位置（中央部）まで自動的に移動します。



2 インクのなくなったインクタンクの固定つまみを押し、インクタンクを取り外します。

note

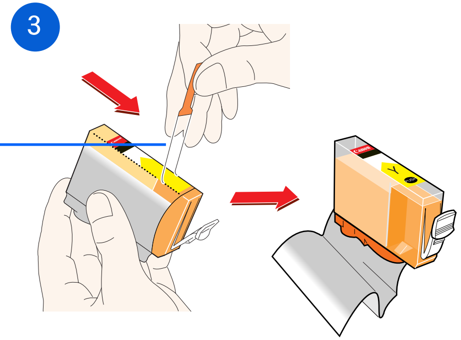
- プリントヘッドは取り外さないで、そのままにしてください。
- 使用済みのインクタンクは、回収のご協力をお願いします。
  ➡『基本操作ガイド』
  捨てる場合は、地域の条例にしたがってください。

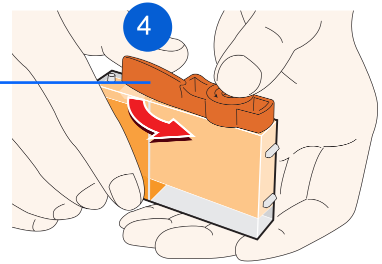
3 新しいインクタンクを取り出し、オレンジ色のテープを持って点線に沿って開封して、フィルムをはがします。

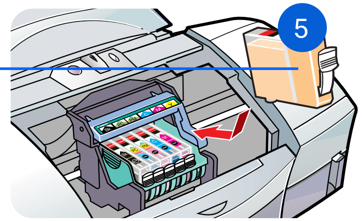
4 図のようにインクタンクを持ち、オレンジ色の保護キャップを、矢印の方向にゆっくりひねって取り外します。

- 指にインクが付着しないよう、キャップを押さえながら取り外します。
- インクタンクの側面は強く押さないでください。インクが飛び出て、手や衣服を汚すことがあります。
- 取り外した保護キャップは再装着しないでください。地域の条例にしたがって捨ててください。

5 新しいインクタンクをプリントヘッドに斜めに差し込みます。



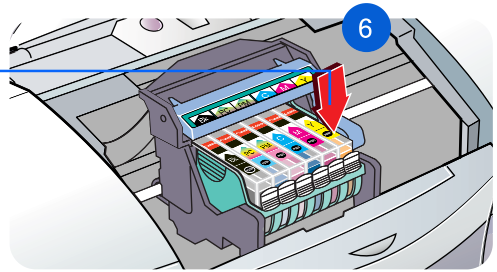




インクタンクを交換する　3/3

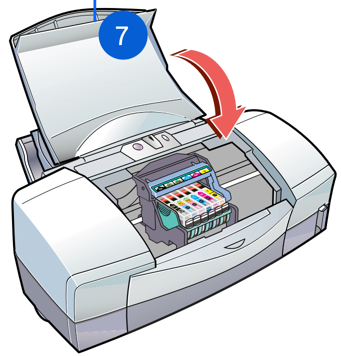
6

インクタンク上部の PUSH を押し、インクタンクを固定します。
・「カチッ」という音がするまで、しっかりと押してください。



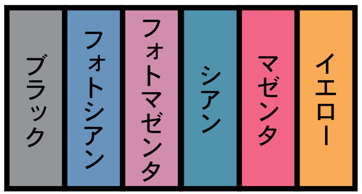
7

フロントカバーを閉じます。
- プリントヘッドホルダが右側へ移動します。緑色のランプが点灯したらインクタンクの交換は完了です。
- インクタンク交換後、印刷がかすれる場合は、クリーニングを行ってください。



note

インクタンクの並びかたは正面上から見て次の図のようになります。



プリンタを清掃する

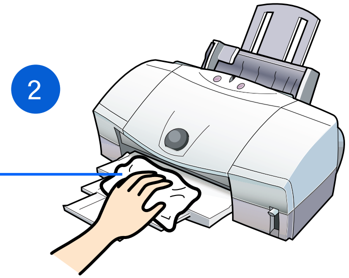
印刷枚数が多くなると、排紙口が汚れてきます。汚れが目立つな … と思ったら、次の手順で排紙口を清掃しておきましょう。

警告
・シンナー、ベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使わないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

注意
・清掃するときは、必ず電源コードを抜いてください。

1 電源コードを抜きます。

2 排紙口を布で拭きます。



note

表面に特殊加工をした用紙やはがきなどを多く使用すると、プリンタ内部に紙粉がたまり、用紙が正しく送られないことがあります。
また、印刷をくり返しているうちに、印刷した用紙にローラのような跡が目立ってくることがあります。このようなときは給紙ローラを清掃してください。

➡ 給紙ローラを清掃する

プリンタを移送する

引っ越しなどでプリンタを別の場所に移送する場合や、宅配便で送る場合は、商品が輸送中のショックで壊れないように、なるべくご購入いただいたときの梱包をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れ、製品がガタついたりインクが漏れないようにしてください。

禁止

・ランプが点灯、点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。プリンタが印刷できなくなることがあります。

1 フロントカバーを開け、プリントヘッドを取り外します。
・取り外したプリントヘッドは、ビニール袋に入れ、口をしばっておきます。
・スキャナカートリッジが取り付けられている場合は、スキャナカートリッジを取り外し、保管箱に入れます。

2 フロントカバーを閉じ、用紙サポートと排紙トレイをしまいます。

3 電源ボタンを押してプリンタの電源を切ります。ランプが消灯したら、電源プラグをコンセントから抜きます。

4 コンピュータとプリンタから、プリンタケーブルまたは USB ケーブルを抜きます。

5 テープと保護材でプリンタを固定し、袋に入れます。
・ 用紙サポート、排紙トレイ、フロントカバーが動かないようにテープで止めて固定してください。

6 プリンタの両側を保護材ではさみ、箱に入れます。

note

運送業者に輸送を依頼する場合は、箱の上部に「精密機器」と明記してください。

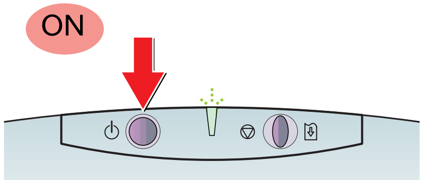
トラブル一覧（クリックすると、そのページにジャンプします） 1 / 2

トラブル回避に役立つ操作

プリンタが認識されない

Check Point 1

電源は入っていますか？



プリンタのランプが緑色に点灯しているかを確認します。
プリンタのランプが緑色に点滅している場合は、プリンタが準備動作をしています。点灯に変わるまでしばらくお待ちください。

Check Point 2

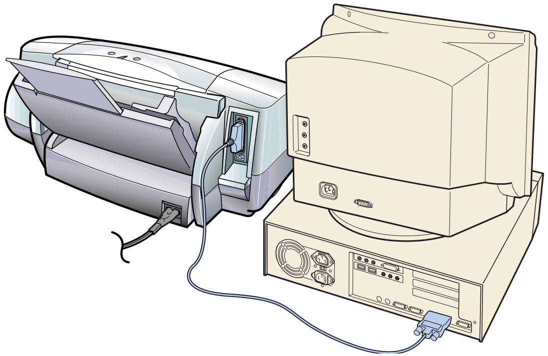
プリンタドライバのインストールは終わりましたか？

『かんたんスタートガイド』をご覧になり、手順にしたがってプリンタドライバをインストールしてください。

➡『かんたんスタートガイド』

Check Point 3

プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？



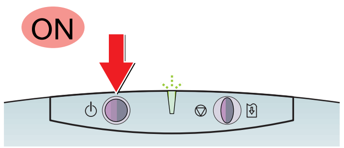
しっかり接続されていないと、プリンタが認識されないことがあります。よく確かめて、しっかり接続してください。

➡『かんたんスタートガイド』

電源が入らない

Check Point 1

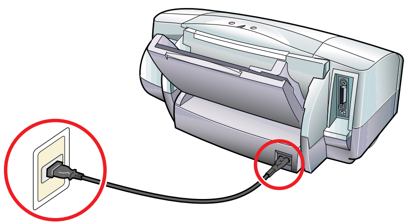
電源ボタンをしっかりと押しましたか？



電源ボタンをしっかりと押してください。押しかたが浅いと電源が入らないことがあります。

Check Point 2

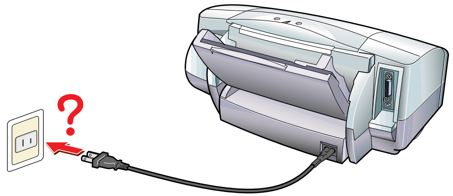
電源コードはしっかり接続されていますか？



電源コードがコンセントとプリンタにしっかり接続されていることを確認します。電源コードがしっかり接続されていないと、電源が入らないことがあります。

Check Point 3

コンセントに電気はきていますか？



他の電化製品をこのコンセントに差し込み、電気がきていているかを確認します。

note

Check Point1 〜 Check Point3 を確認しても電源が入らない場合は、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いて、修理サービスご相談窓口にご相談ください。

➡ お問い合わせ先を選ぶ

印刷が開始されない（プリンタがまったく動かない） 1/4

Check Point 1

**電源は入っていますか？
プリンタのランプが緑色に点滅していませんか？**

プリンタのランプが緑色に点灯しているかを確認します。プリンタのランプが緑色に点滅している場合は、プリンタが準備動作をしています。点灯に変わるまでしばらくお待ちください。

➡ 電源が入らない

Check Point 2

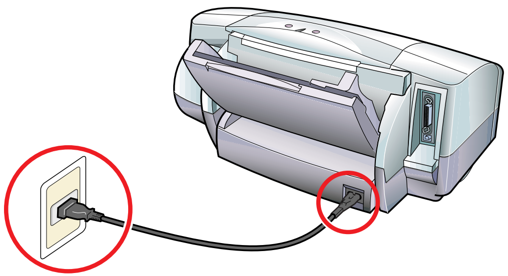
写真やグラフィックスなど、容量が大きいデータを印刷していませんか？

容量が大きい画像データを印刷すると、コンピュータがデータを処理したり、プリンタに印刷データを転送するまでに時間がかかります。このため、実際に印刷が始まるまでにかなり待たなければならないことがあります。ランプが緑色に点滅しているときは、コンピュータから印刷データが転送されている状態です。そのままの状態でお待ちください。

印刷が開始されない（プリンタがまったく動かない）　2/4

Check Point 3

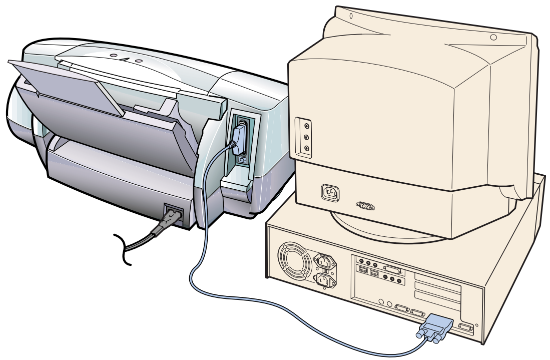
電源コードはしっかり接続されていますか？



電源コードがコンセントとプリンタにしっかり接続されていることを確認します。電源コードがしっかり接続されていないと、電源が入らないことがあります。

Check Point 4

プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？



プリンタとコンピュータがしっかり接続されていないと、正しく印刷できません。よく確かめて、しっかり接続してください。

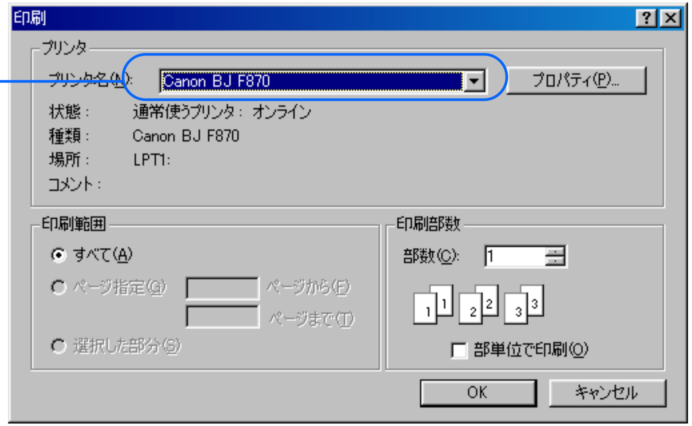
➡『かんたんスタートガイド』

印刷が開始されない（プリンタがまったく動かない）　3/4

Check Point 5

ご使用になっている機種のプリンタドライバを使用していますか？

他の機種向けのプリンタドライバを使用していると、印刷できないことがあります。アプリケーションソフトの印刷画面で、［プリンタ名］がご使用のプリンタになっていることを確認します。



note

- 印刷画面の表示方法は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

  アプリケーションソフトの取扱説明書

- 本機を日常的に使う場合は、「通常使うプリンタ」として設定しておきましょう。

印刷が開始されない（プリンタがまったく動かない） 4/4

Check Point 6

プリンタポートは正しく設定されていますか？

■プリンタを、プリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続している場合

プリンタの印刷先のポートを［LPT1］に設定してください。

■プリンタを、USB ケーブルで接続している場合

プリンタの印刷先のポートを ［USBPRN］に設定してください。

➡ 印刷先のポートの設定を確認する

Check Point 7

プリンタポートが ECP モードに設定されていませんか？

コンピュータのプリンタポートが ECP モードに設定されていると、正しく印刷できないことがあります。ECP モード を解除して、もう一度印刷してください。

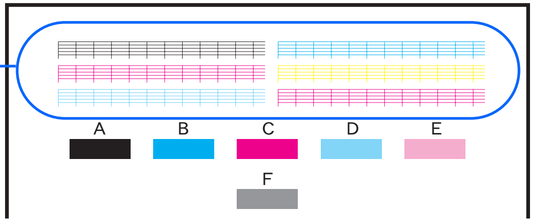
➡ ECP モードを解除する

印刷が開始されない（プリンタは動いている）

Check Point 1

インクはありますか？
プリントヘッドが目づまりしていませんか？

インクの残量を確認する
ノズルチェックパターンを印刷する
プリントヘッドをクリーニングする
インクタンクを交換する



色が出なかったり、欠けていたらプリントヘッドのクリーニング

プリントヘッドが目づまりしているか、インクがなくなっていると考えられます。
まず、インクタンクにインクがあることを確認します。
インクがある場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認します。

印刷の途中で停止する

Check Point 1

写真やグラフィックスなど、容量が大きいデータを印刷していませんか？

容量が大きい画像データを印刷すると、コンピュータがデータを処理したり、プリンタに印刷データを転送するまでに時間がかかります。このため、実際に印刷の途中でプリンタが止まっているように見えることがあります。
ランプが緑色に点滅しているときは、コンピュータから印刷データが転送されている状態です。そのままの状態で、しばらくお待ちください。
プリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続している場合、ECP モードに設定し、印刷を高速化する方法もあります。

➡『基本操作ガイド』

Check Point 2

接続している ケーブルの長さは 2m 以内ですか？

ケーブルは 2m 以内のものをお勧めします。長いケーブルをお使いの場合は、正しく印刷できないことがあります。

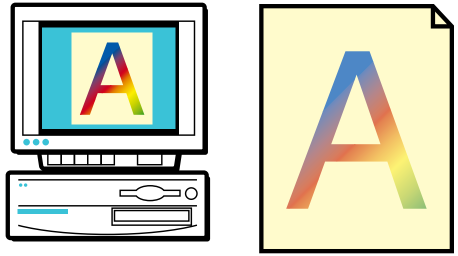
Check Point 3

長い時間、連続して印刷していませんか？

長い時間印刷を続けると、プリントヘッドが過熱します。このような場合、プリントヘッドを保護するために、行の折り返し位置でプリンタが一時的に停止することがありますが、しばらくすると印刷が再開されます。
区切りのよいところでいったん印刷を中断し、電源ボタンを押して電源を切って、電源コードを抜いてください。そして、プリントヘッドが冷えるまで、しばらくお待ちください（15 分以上）。

注意 プリントヘッドの周辺が高温になっている場合がありますので、絶対に触らないでください。

きれいにカラー印刷できない　1 / 2



Check Point 1

用紙はカラー印刷にあった用紙ですか？

写真やイラストのような画像を印刷するときは、プロフェッショナルフォトペーパー、フォト光沢紙、フォト光沢フィルム、高品位専用紙などが向いています。普通紙で印刷するより、色の再現範囲が広がり、鮮やかな発色が得られます。

Check Point 2

プリントヘッドが目づまりしたり、プリントヘッドの位置がずれていませんか？

プリントヘッドが目づまりしたり、プリントヘッドの位置がずれていると、きれいに印刷できないことがあります。ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認します。

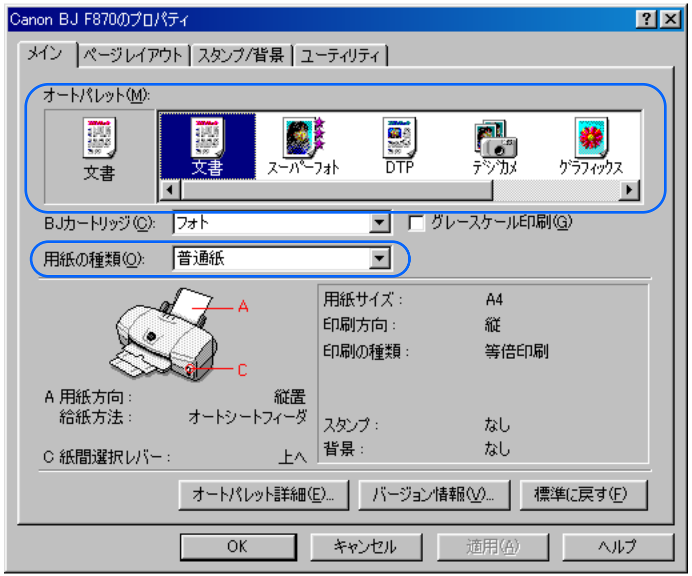
ノズルチェックパターンを印刷する

きれいにカラー印刷できない　2 / 2

Check Point 3

プリンタドライバの設定は、用紙や印刷する内容にあっていますか？

プリンタドライバの設定画面を表示し、［オートパレット］で印刷する内容にあったアイコンを選択してください。また、［用紙の種類］の設定が、実際に印刷する用紙にあっているかも確認します。



note

オートパレットで設定されている調整ではもの足りないときは、［カラーバランス］、［マッチング方法］、［ガンマ係数］などの設定を調整してみてください。

➡ 色を補正して印刷する

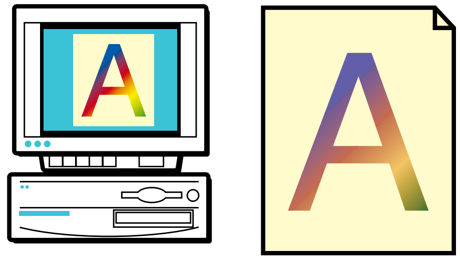
Check Point 4

詰め替え用のインクを使っていませんか？

市販の詰め替え用インクなどを使うと、十分なカラー品質が得られなことがあります。インクがなくなったときは、キヤノン製インクタンクのご使用をお勧めします。

画面で見る色と印刷される色が異なる　1/2

コンピュータのディスプレイと印刷では発色の方法が異なります。また、ディスプレイを見ているときの環境（あかりの色や強さ）や、ディスプレイの色の調整によっても色は違ってきます。このため、コンピュータのディスプレイとまったく同じ色で印刷することはできません。
ただし、極端に色が違う場合は、次の項目をチェックしてみてください。

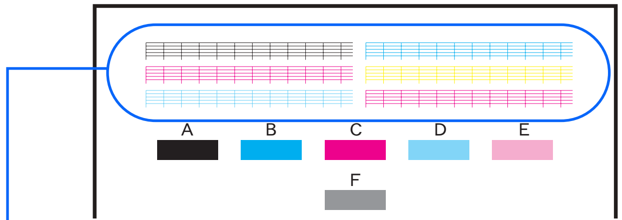


Check Point 1

インクはありますか？
プリントヘッドが目づまりしていませんか？

極端に色がおかしいときは、特定の色のインクがなくなっているか、プリントヘッドが目づまりしていることがあります。
まず、インクタンクにインクがあることを確認します。インクがある場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認します。

➡ インクの残量を確認する
➡ ノズルチェックパターンを印刷する
➡ プリントヘッドをクリーニングする
➡ インクタンクを交換する



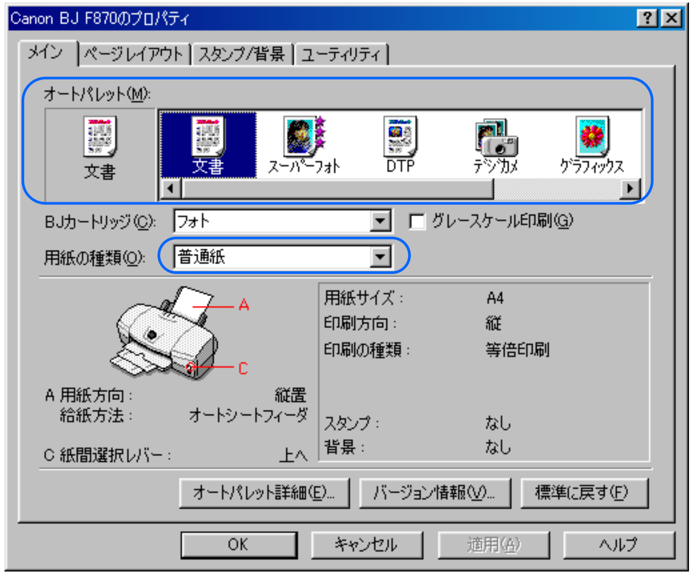
色が出なかったり、欠けていたらプリントヘッドのクリーニング

画面で見る色と印刷される色が異なる　2/2

Check Point 2

プリンタドライバの設定は、用紙や印刷する内容にあっていますか？

プリンタドライバの設定画面を表示し、［オートパレット］で印刷する内容にあったアイコンを選択してください。また、［用紙の種類］の設定が、実際に印刷する用紙にあっているか、［単色効果］が設定されていないかも確認します。



note

オートパレットで設定されている調整ではもの足りないときは、［カラーバランス］［マッチング方法］［ガンマ係数］などの設定を調整してみてください。

色を補正して印刷する

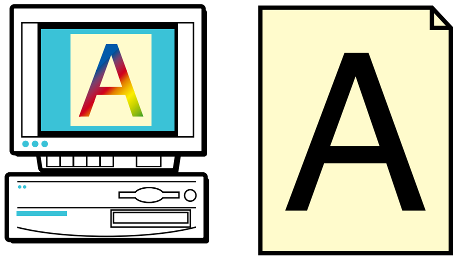
カラー印刷をしているのにモノクロで印刷されてしまう　1/2

Check Point 1

[グレースケール印刷] が設定されていませんか？

[メイン] シートの [グレースケール印刷] のチェックマークを確認し、チェックマークが付いていたら、クリックして消してください。

➡ カラー原稿をグレーで印刷する



Check Point 2

アプリケーションソフト側で、カラー印刷をしないように設定されていませんか？

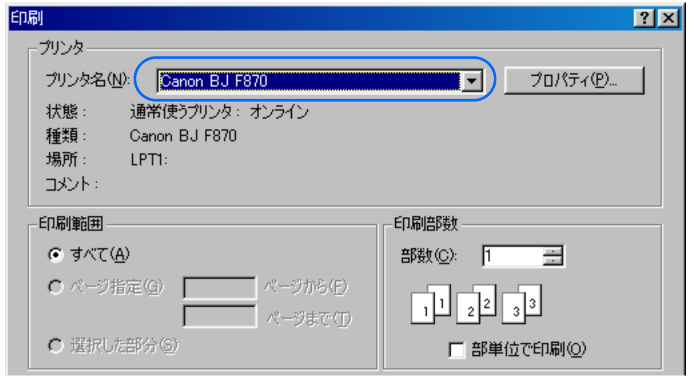
アプリケーションソフトの中には、カラー印刷をしないように設定できるものがあります。カラー印刷をしないように設定されている場合は、設定を変更してください。

➡ アプリケーションソフトの取扱説明書

Check Point 3

ご使用の機種のプリンタドライバを使用していますか？

他の機種のプリンタドライバを使用していると、カラー原稿がモノクロで印刷される場合があります。アプリケーションソフトの印刷ダイアログボックスで［プリンタ名］がご使用のプリンタになっていることを確認します。



note

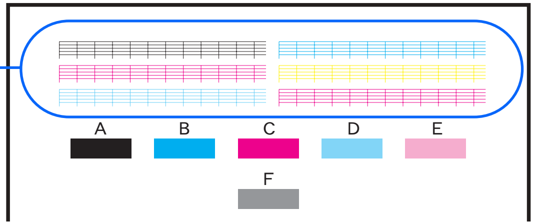
- 印刷画面の表示方法は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。
  ➡ アプリケーションソフトの取扱説明書
- 本機を日常的に使う場合は、「通常使うプリンタ」として設定しておきましょう。

違う色で印刷される

Check Point 1

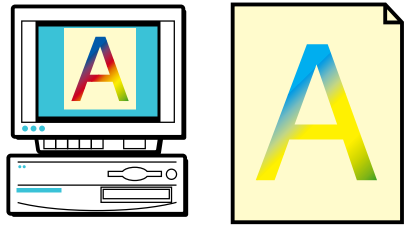
インクはありますか？
プリントヘッドが目づまりしていませんか？

文字がかすれたり、違う色で印刷されるときは、特定の色のインクがなくなっているか、プリントヘッドが目づまりしていることがあります。
まず、インクタンクにインクがあることを確認します。インクがある場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認します。



色が出なかったり、欠けていたらプリントヘッドのクリーニング

➡ インクの残量を確認する
➡ ノズルチェックパターンを印刷する
➡ プリントヘッドをクリーニングする
➡ インクタンクを交換する



Check Point 2

インクタンクの位置は正しいですか？

ラベルをみてインクタンクの位置を確認し、間違っている場合は次の手順で処置をしてください。

1. インクタンクを正しい位置に取り付け直します。
2. プリントヘッドをクリーニングします。
3. ノズルチェックパターンを印刷し、各色のインクが正しく印刷されていることを確認します。
   ・インクの色が混じっている場合は、2 3 を繰り返してください。

インクがにじむ

Check Point 1

写真やグラフィックスなど、インクをたくさん使う原稿の印刷ですか？

インクをたくさん使う原稿の場合は、［オートパレット詳細］の［クオリティ］タブの［印刷品位］を高品位側に設定して印刷をしてみてください。インクをたくさん使う場合に画像のにじみが少なくなります。また、カラーや黒が接する部分が多い原稿の場合も、[印刷品位]を高品位側に設定するとにじみが減ります。

➡ 印刷品位を変更する

note

［印刷品位］は、用紙の種類により設定できる値が異なります。

Check Point 2

普通紙を使っていませんか？

用紙の種類を変えて印刷してみてください。
プロフェッショナルフォトペーパー、フォト光沢紙、高品位専用紙などの専用紙は、普通紙に比べてインクがにじみにくいように作られています。

Check Point 3

プリントヘッドが汚れていませんか？

プリントヘッドをクリーニングしてみてください。

➡ プリントヘッドをクリーニングする

Check Point 4

高い濃度で印刷をしていませんか？

インクの濃度を低くして印刷してみてください。使うインクの量が減るため、インクのにじみを防ぐことができます。

➡ インクの濃淡を調整する

note

A5 サイズなどのような小さめの普通紙の場合は、インクをたくさん使う印刷をすると用紙が大きくカールすることがあります。

かすれる／白いすじが出る

Check Point 1

用紙の表と裏は正しいですか？

用紙の表面と裏面を確認し、表面を上にして用紙をセットしてください。

Check Point 2

インクはありますか？

BJ ステータスモニタの［インク残量］タブをクリックし、インク残量を確認します。
インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください。

➡ BJ ステータスモニタを表示する
➡ インクタンクを交換する

note

BJ ステータスモニタが表示されない環境でプリンタをお使いの場合は、フロントカバーを開けてインクタンクを取り出し、インクの量を確認してください。

Check Point 3

プリントヘッドがつまっていませんか？

インクはあるのに印刷がかすれる場合は、プリントヘッドのノズルが目づまりしていることが考えられます。基本操作ガイドの「プリントヘッドをメンテナンスする」の手順にしたがって、メンテナンスをしてください。

➡『基本操作ガイド』

色むらやすじのような模様が出る

Check Point 1

[印刷品位]を高速側に設定していませんか？

[印刷品位]を高品位側に変えてみてください。

印刷品位を変更する

note

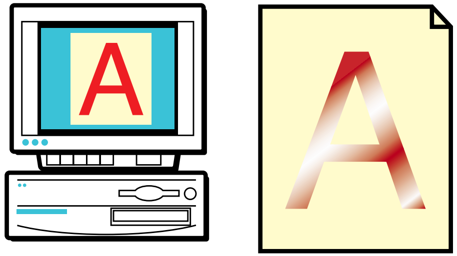
[印刷品位]は、用紙の種類により設定できる値が異なります。

Check Point 2

[ディザリング]の設定は印刷する内容にあっていますか？

ディザリングを[誤差拡散]に設定してみてください。[誤差拡散]に設定することで、色むらやすじのように見える部分が、よりなめらかに印刷されます。

印刷の品質やディザリングの方法を変更する



Check Point 3

ヘッド位置がずれていませんか？

プリントヘッドの位置がずれていると、色むらやすじのような模様がでることがあります。ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの位置調整をしてください。

ノズルチェックパターンを印刷する
プリントヘッドの位置を調整する

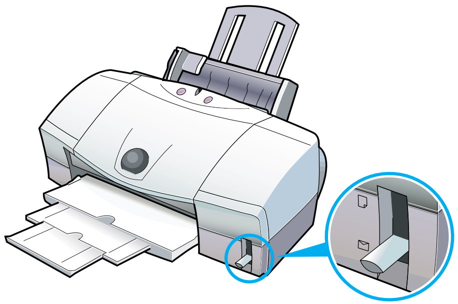
用紙の印刷面が汚れる　*1 / 2*

Check Point 1

紙間選択レバーの位置は正しいですか？

封筒やバナー紙、厚紙に印刷するときは、紙間選択レバーを ✉ （下）に設定してください。

➡『基本操作ガイド』

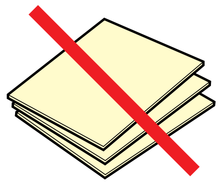


Check Point 2

厚紙に印刷していませんか？

規定以上の厚さの用紙を使うと、プリントヘッドが用紙に直接当たり、印刷面をこすることがあります（用紙の厚さが 0.6mm 以下でも 105g/m^2 より重い用紙は、手差し給紙口にセットしてください）。0.6mm を超える厚さの用紙は使わないでください。また、このようなトラブルが起きたときは、プリントヘッドが汚れている可能性がありますので、プリントヘッドのクリーニングをしてください。

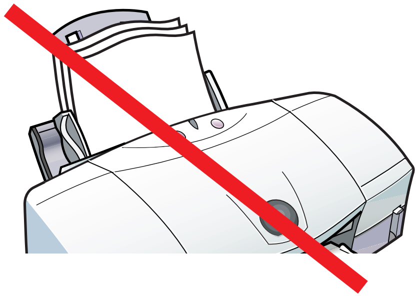
➡ プリントヘッドをクリーニングする



用紙の印刷面が汚れる　2 / 2

Check Point 3

反った用紙に印刷していませんか？



反った普通紙に印刷すると、反りの方向によっては用紙の後端がこすれることがあります。反った用紙は使用しないでください。

Check Point 4

高い濃度で、普通紙に印刷していませんか？

インクの濃度を高くして普通紙に印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打ち、印刷面がこすれることがあります。インクの濃度を低く変更して印刷してみてください。

➡ インクの濃淡を調整する

Check Point 5

印刷推奨領域より大きな画像を印刷していませんか？

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。印刷推奨領域の内側におさまるようにして印刷してください。

➡ 印刷できる範囲

Check Point 6

給紙ローラが汚れていませんか？

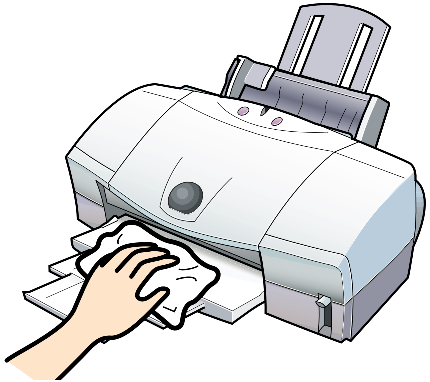
給紙ローラが汚れていると印刷面にローラのあとが付く場合があります。給紙ローラを清掃してください。

➡ 給紙ローラを清掃する

用紙の裏面が汚れる

Check Point 1

プリンタの排紙口が汚れていませんか？



プリンタを長時間使用していると、プリンタの排紙口が汚れてきます。プリンタを清掃してください。

➡ プリンタを清掃する

Check Point 2

インクが乾かないうちに次のページが排出されていませんか？

写真など、乾燥に時間がかかるものを印刷するときは、排出された用紙が十分に乾く前に次の用紙が排出されることがあります。このようなときは、印刷が終了した用紙を排紙口から 1 枚ずつ取り除き、用紙が重ならないようにしてください。

用紙が反る／波打つ

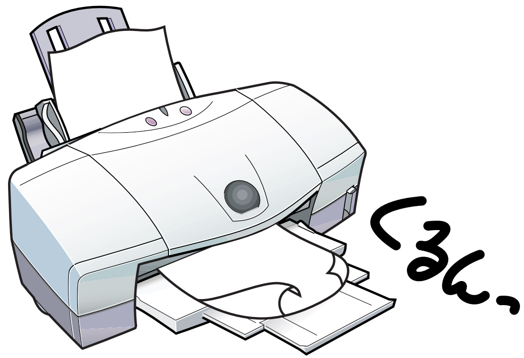
Check Point 1

薄い用紙に印刷をしていませんか？

色の濃い絵や写真の印刷には、インクをたくさん使うため、用紙がカールしたり波打つことがあります。この場合はプロフェッショナルフォトペーパー、フォト光沢フィルム、高品位専用紙などを使用することをお勧めします。これらの専用紙には、印刷面にコーティング処理が施されているため、インクの吸着性が上がり、印刷しても用紙が反りにくくなっています。

note

これらの専用紙の裏側はコーティング処理されていないため、インクの吸着性は表面より悪くなります。間違って裏面に印刷しないよう気をつけましょう。



Check Point 2

高い濃度で印刷をしていませんか？

インクの濃度を低くして印刷してみてください。使うインクの量が減るため、用紙の波打ちを防ぐことができます。

➡ インクの濃淡を調整する

note

A5 サイズなどのような小さめの普通紙の場合は、インクをたくさん使う印刷をすると用紙が大きくカールすることがあります。

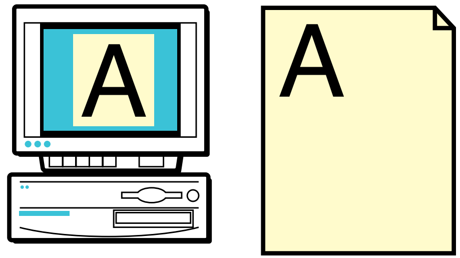
左上や右下にずれて印刷される

Check Point 1

プリンタドライバで設定したサイズと異なる大きさの用紙をセットしていませんか？

プリンタドライバで設定した用紙サイズと異なる大きさの用紙に印刷すると、印刷位置が左上や右下にずれて印刷されます。プリンタドライバで設定している用紙と同じサイズの用紙をセットするか、プリンタドライバの［ページレイアウト］シートの［用紙サイズ］を印刷する用紙と同じサイズに設定してください。

用紙サイズを変更する





Check Point 2

拡大 / 縮小して印刷していませんか？

プリンタドライバの［ページレイアウト］シートで拡大／縮小印刷を行う設定になっている場合、［拡大縮小率］や［プリンタの用紙サイズ］の設定を確認してください。

拡大／縮小して印刷する

ページの終わりの部分が印刷されない　1 / 2

Check Point 1

用紙サイズの設定は、印刷する用紙にあっていますか？

アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定している用紙サイズと実際に印刷する用紙のサイズが違うと、文書の一部が印刷されないことがあります。印刷する用紙とプリンタドライバの［用紙サイズ］をあわせてください。

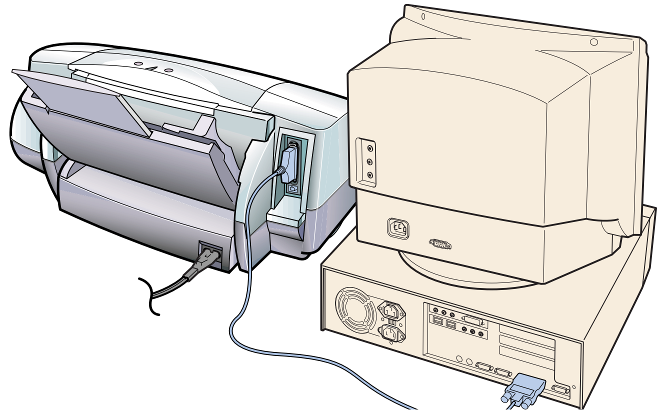
➡ 用紙サイズを変更する

note

ページ設定で用紙サイズを指定できるアプリケーションソフトを使用している場合は、アプリケーションソフトのページ設定で設定している用紙サイズと、プリンタドライバの［用紙サイズ］が同じになるように設定してください。

Check Point 2

プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？



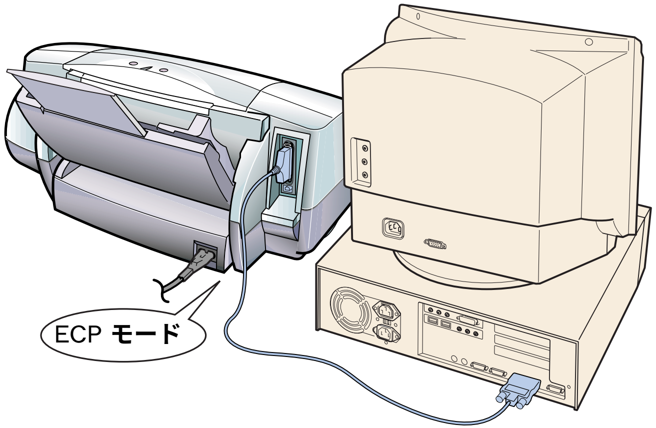
プリンタとコンピュータがしっかり接続されていないと、正しく印刷できません。よく確かめて、しっかり接続してください。

➡『基本操作ガイド』

ページの終わりの部分が印刷されない　2 / 2

Check Point 3

プリンタポートが ECP モードに設定されていませんか？



コンピュータのプリンタポートが ECP モードに設定されていると、正しく印刷できないことがあります。ECP モードを解除して、もう一度印刷してください。

ECP モードを解除する

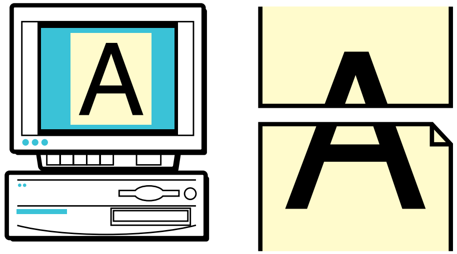
Check Point 4

WPS ドライバや CAPT ドライバがインストールされていませんか？

コンピュータに WPS（Windows Printing System）ドライバや CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ドライバがインストールされている場合は、正しく印刷できません。
WPS ドライバや CAPT ドライバのポートを［FILE］に変更するか、WPS ドライバを削除してください。

WPS ドライバや CAPT ドライバの設定を変更する

ページの最後の部分が次のページにまたがって印刷される



Check Point 1

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと、プリンタドライバで設定している用紙サイズが違っていませんか？

プリンタドライバの［ページレイアウト］シートの［用紙サイズ］には、アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと同じサイズを設定してください。

➡ 用紙サイズを変更する

Check Point 2

アプリケーションソフトで設定されている上側の余白が大きすぎませんか？

アプリケーションソフトで上側の余白の値を小さくしてください。余白を設定できない場合は、1 ページの行数を増やしてください。

➡ アプリケーションソフトの取扱説明書

拡大／縮小印刷が正しくできない

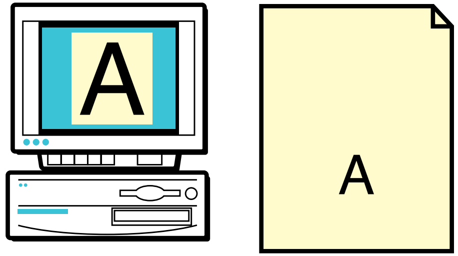
Check Point 1

[プリンタの用紙サイズ] と同じサイズの用紙を使っていますか？

印刷する用紙サイズにあわせて拡大／縮小印刷をする場合は、[ページレイアウト] シートの [用紙サイズ] に、アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと同じサイズを設定します。また、[プリンタの用紙サイズ] には、実際に印刷する用紙のサイズを設定します。

➡ 拡大／縮小して印刷する





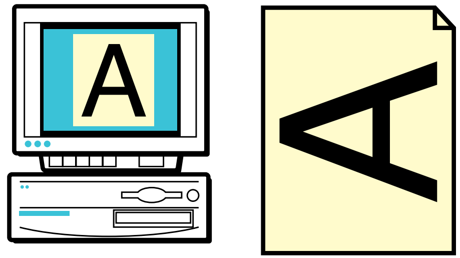
Check Point 2

設定した [拡大縮小率] にあった用紙を使っていますか？

拡大／縮小して印刷するためには、[拡大縮小率] にあった用紙をプリンタにセットしてください。

➡ 拡大／縮小して印刷する

90 °回転して印刷される



Check Point 1

[印刷方向] の設定は正しいですか？

用紙を縦にセットしているときに、[印刷方向] が [横] に設定されていると、原稿は 90 °回転して印刷されます。

印刷方向を変更する

Check Point 2

アプリケーションソフト側で 90 °回転して印刷するように設定していませんか？

アプリケーションソフトによっては、縦に用紙をセットして横に印刷する機能を備えているものがあります。お使いのアプリケーションソフトの設定を確認してください。

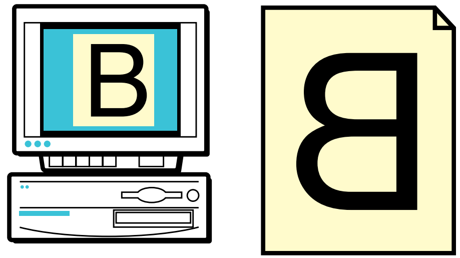
アプリケーションソフトの取扱説明書

左右が反転して印刷される

Check Point 1

[用紙の種類] を [T シャツ転写紙] に設定していませんか？

[T シャツ転写紙] に設定すると、左右を反転させ、鏡に映ったような裏返しの状態で印刷されます。次の手順で [用紙の種類] を実際に使用している用紙に設定してください。



1. プリンタドライバの設定画面を表示します。
2. [メイン] シートの [用紙の種類] を実際使用している用紙にあわせて設定してください。



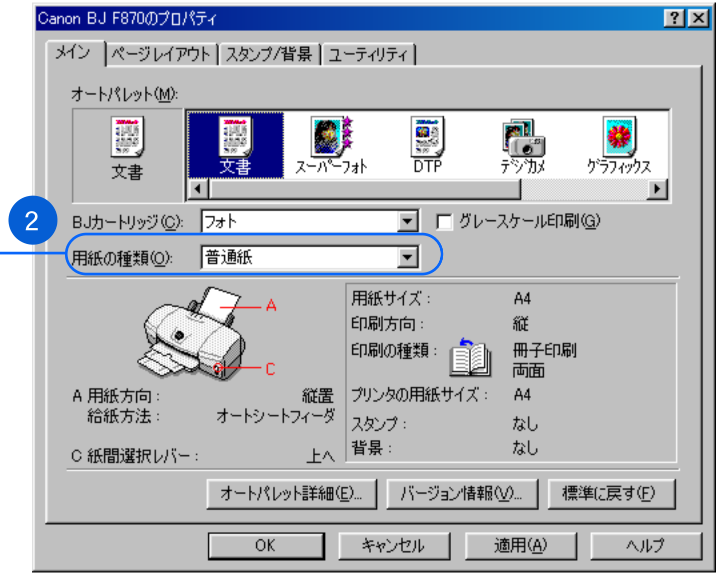
冊子印刷を指定したのに、レイアウトされずに印刷された

Check Point 1

冊子印刷を指定した後に、［用紙の種類］を普通紙以外の用紙に変更しませんでしたか？

冊子印刷は両面に印刷するため、普通紙にだけ印刷するように設定されています。次の手順で［用紙の種類］を［普通紙］に設定してください。

1. プリンタドライバの設定画面を表示します。
2. ［メイン］シートの［用紙の種類］を［普通紙］に設定します。



はがきが正しく給紙できない　1 / 2

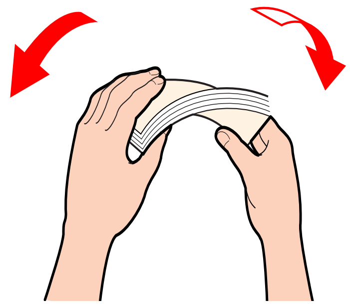
Check Point 1

一度にたくさんのはがきをセットしていませんか？

一度にセットできるはがきの枚数は、プロフェッショナルフォトはがきで 20 枚、官製はがきやフォト光沢ハガキで 40 枚までです。
正しく給紙できないときは、一度にセットする枚数を減らしてください。

Check Point 2

はがきが反っていませんか？



反ったはがきをセットすると、正しく給紙できないことがあります。反りと逆の方向にはがきを曲げ、反りを直してからセットしてください。

はがきが正しく給紙できない　2/2

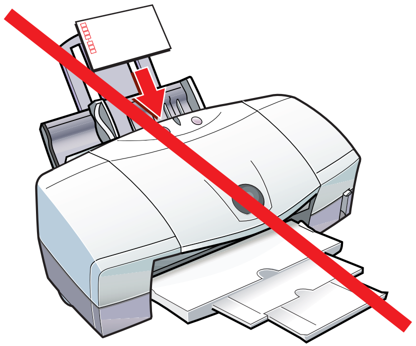
Check Point 3

シールのついたはがきや、往復はがきをセットしていませんか？

シール、写真、ステッカーなどが貼られたはがきは正しく給紙できないことがあります。また、往復はがきのように折り目のあるはがきも使わないでください。

Check Point 4

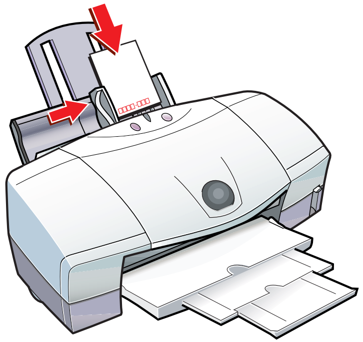
はがきを横にしてセットしていませんか？



はがきは縦にしてセットしてください。

Check Point 5

用紙ガイドを正しくセットしましたか？



用紙ガイドをはがきの左端に軽く当ててください。
用紙ガイドがはがきに沿っていない場合は、斜めに引き込まれたり、はがきがつまる原因になります。

それでも正しく給紙されない場合はクリーニングプレートを使って給紙ローラを清掃してください。

封筒が正しく給紙できない　1/2

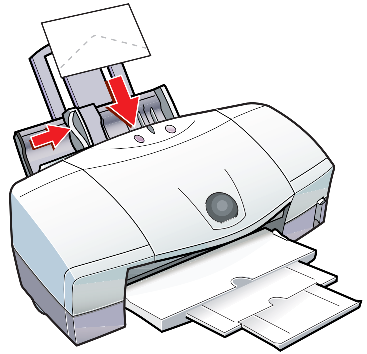
Check Point 1

一度にたくさんの封筒をセットしていませんか？

一度にセットできる封筒の枚数は、10 枚までです。
正しく給紙できないときは、一度にセットする枚数を減らしてください。

Check Point 2

封筒を正しい方向にセットしていますか？



封筒をセットするときは、横にして宛名面を上に封筒のふたの部分を下にしてください。これ以外の方向に置いた場合は、正しく給紙できず用紙づまりの原因となります。

封筒が正しく給紙できない　2/2

Check Point 3

封筒が反ったり、膨らんでいませんか？

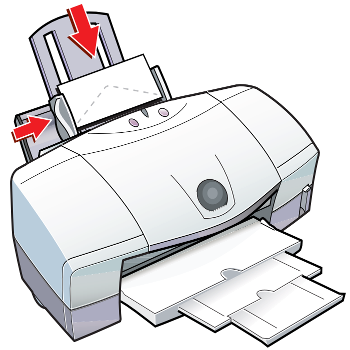
封筒をセットするときは、封筒の周りを押さえ、反りをとりながら封筒の中に入っている空気を抜いてください。反りがとれない場合は、封筒の端の対角を持って、反りと逆の方向に軽く曲げてください。

また、封筒のふたの部分が浮いたり曲がっている場合は、まっすぐになるように押さえてください。うまく引き込まれないときは、ペンの先などを使って封筒の先端をしっかりつぶしてからセットしてください。

封筒に印刷する

Check Point 4

用紙ガイドを正しくセットしましたか？



用紙ガイドを封筒の左端に軽く当ててください。用紙ガイドが封筒に沿っていない場合は、斜めに引き込まれたり、封筒がつまる原因になります。

それでも正しく給紙されない場合はクリーニングプレートを使って給紙ローラを清掃してください。

オートシートフィーダから用紙が給紙できない

Check Point 1

用紙が厚すぎませんか？

オートシートフィーダに厚紙をセットすることはできません。厚紙（ただし 0.6mm 以下）は手差しで 1 枚ずつセットしてください。

➡ 厚紙に印刷する

Check Point 2

用紙が折れたり、反っていませんか？

折れた用紙、反った用紙、しわのある用紙は使わないでください。給紙できないだけではなく、用紙がつまる原因となります。

Check Point 3

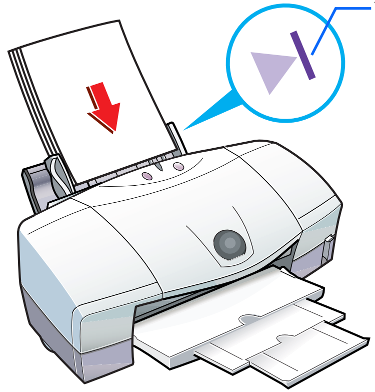
プリンタドライバの［給紙方法］が［手差し］に設定されていませんか？

［給紙方法］が［オートシートフィーダ］に設定されているかを確認します。

➡ 給紙方法を変更する

Check Point 4

一度にたくさんの用紙をセットしていませんか？



オートシートフィーダの積載マークを超えないように、用紙をセットしてください。
正しく給紙できないときは、一度にセットする枚数を減らしてください。

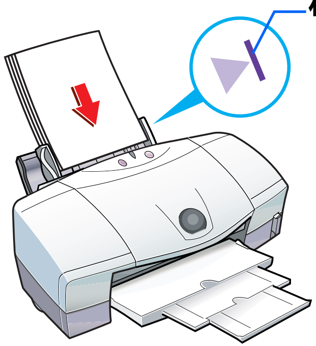
それでも正しく給紙されない場合はクリーニングプレートを使って給紙ローラを清掃してください。

用紙が斜めに給紙される

Check Point 1

一度にたくさんの用紙をセットしていませんか？

オートシートフィーダの積載マークを超えないように、用紙をセットしてください。
それでも正しく給紙できないときは、一度にセットする枚数を減らしてください。



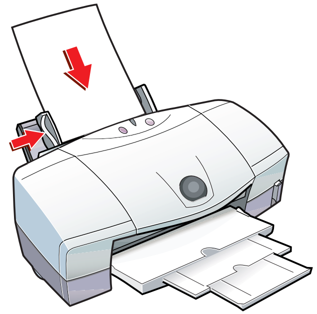
Check Point 2

用紙が折れたり、反っていませんか？

折れた用紙、反った用紙、しわのある用紙は使わないでください。正しく給紙できないだけではなく、用紙がつまる原因となります。

Check Point 3

用紙ガイドを正しくセットしましたか？



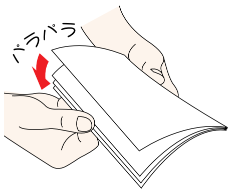
用紙ガイドを用紙の左端に軽く当ててください。
用紙ガイドが用紙に沿っていない場合は、斜めに引き込まれたり、用紙がつまる原因になります。

用紙が何枚も重なって給紙される

Check Point 1

用紙をよくさばいていからセットしましたか？

セットする前に、用紙をよくさばき、端を揃えてください。用紙をさばくことで、用紙と用紙の間に空気が入り、1 枚ずつ確実に給紙することができます。



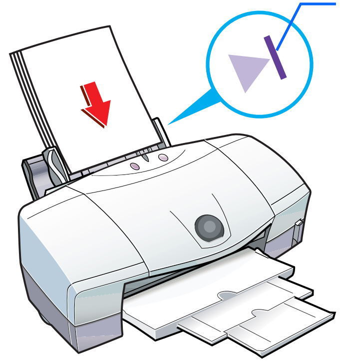
Check Point 2

用紙が折れたり、反っていませんか？

折れた用紙、反った用紙、しわのある用紙は使わないでください。正しく給紙できないだけではなく、用紙がつまる原因となります。

Check Point 3

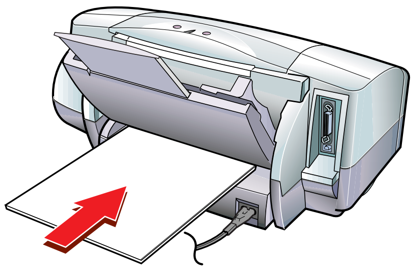
一度にたくさんの用紙をセットしていませんか？



オートシートフィーダの積載マークを超えないように、用紙をセットしてください。
それでも正しく給紙できないときは、一度にセットする枚数を減らしてください。

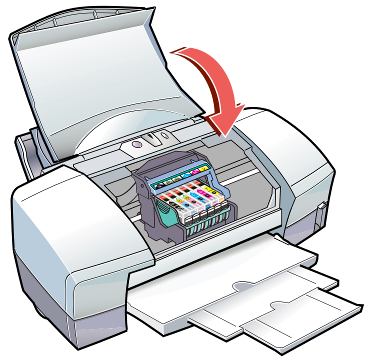
手差し給紙ができない

Check Point 1
用紙を正しく差し込みましたか？



印刷面を上にして、手差し給紙口の左端に用紙を沿わせ、用紙が突き当たるまでまっすぐに差し込んでください。1 秒ほどで自動的に用紙が引き込まれます。

Check Point 2
フロントカバーが開いていませんか？



フロントカバーを閉じてから、手差し給紙口に用紙をセットしてください。

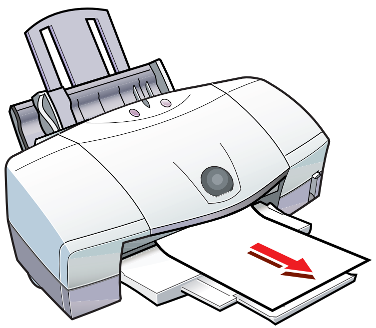
用紙がつまった　1 / 2

●オートシートフィーダで用紙がつまったとき

animation

1. オートシートフィーダにセットされている用紙を取り除きます。

2. つまった用紙を引き出しやすい方（より多く用紙が出ている方）にゆっくり引っ張って取り除きます。



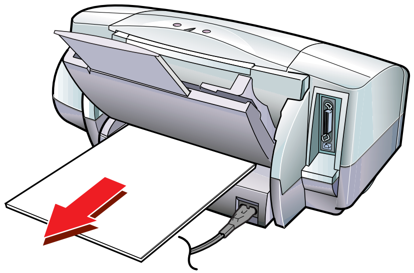
3. 用紙をセットしてプリンタのリセットボタンを押します。

note

- 用紙が破れてプリンタ内部に残ったときは、電源を切ってからフロントカバーを開け、破れた用紙を取り除いてください。
- 電源を切った場合、プリンタに送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の指示をしてください。
- A5 サイズの用紙は文字中心の原稿の印刷に適しています。写真やグラフィックスを含む原稿を印刷すると、用紙がカールして排出不良の原因となることがあります。

●手差しで用紙がつまったとき

1 つまった用紙を引き出しやすい方（より多く用紙が出ている方）にゆっくり引っ張って取り除きます。



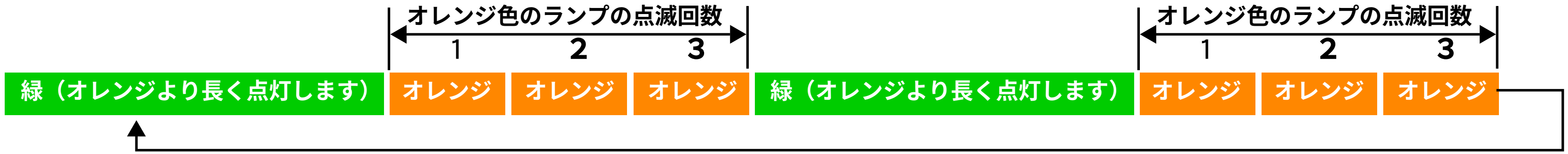
2 用紙をセットしてプリンタのリセットボタンを押します。

note

・用紙が破れてプリンタ内部に残ったときは、電源を切ってからフロントカバーを開け、破れた用紙を取り除いてください。
・電源を切った場合、プリンタに送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の指示をしてください。
・A5サイズの用紙は文字中心の原稿の印刷に適しています。写真やグラフィックスを含む原稿を印刷すると、用紙がカールして排出不良の原因となることがあります。

ランプが点滅している　1/3

エラーが発生すると、緑色とオレンジ色のランプが交互に点滅します。
緑色のランプが点灯する間にオレンジ色のランプが何回点滅するかによって、トラブルの原因がわかります。



上記の例では、オレンジ色のランプの点滅回数は 3 回になります。下表の「用紙がつまった」ときの対処方法をご覧ください。

note

緑色のランプのみの点滅は、プリンタが動作中であることを示しています。そのままお待ちください。動作が完了すると、緑色のランプが点灯に変わります。

オレンジ色のランプの点滅回数	トラブルの原因	対処のしかた
2 回	用紙がない／給紙できない	用紙がセットされていない場合や、用紙が引き込まれない場合は、用紙を正しくセットし、プリンタのリセットボタンを押してください。 ➡『基本操作ガイド』
3 回	用紙がつまった	つまった用紙を取り除き、プリンタのリセットボタンを押してください。 ➡ 用紙がつまった

ランプが点滅している　2 / 3

オレンジ色のランプの点滅回数	トラブルの原因	対処のしかた
4 回	インクがなくなった	インクタンクを交換します。 インクタンクを交換する
5 回	プリントヘッドが正しく取り付けられていない	プリントヘッドホルダにしっかりとプリントヘッドを取り付けてください。 また、印刷する場合はプリントヘッドが取り付けられていることを、スキャンする場合はスキャナカートリッジが取り付けられていることを確認してください。
6 回	プリントヘッドが取り付けられていない	プリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドが取り付けられている場合は、プリントヘッドをいったん外し、接点部が汚れてないかを確認して、もう一度取り付けてください。
7 回	プリントヘッドが故障している／ 他機種用のプリントヘッドが取り付けられている	他機種用のプリントヘッドが取り付けられていないか、確認してください。正しいプリントヘッドが取り付けられている場合は、いったん電源を切ってもう一度電源を入れ直してください。それでもエラーが解決しない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理受付窓口にご相談ください。 『ご相談窓口のご案内』

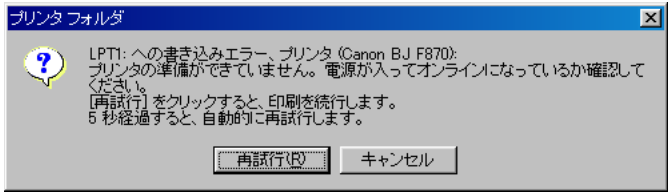
ランプが点滅している　3/3

オレンジ色のランプの点滅回数	トラブルの原因	対処のしかた
8 回	廃インクタンクが満杯になりそう	内蔵されている廃インクタンクがそろそろ満杯になります。 プリンタのリセットボタンを押して、エラーを解除してください。しばらくは、このまま印刷を続けることができますが、廃インクタンクが満杯になると印刷できなくなります。早めに、お買い上げいただいた販売店または修理受付窓口に廃インクタンクの交換を依頼してください。 『ご相談窓口のご案内』 note 廃インクタンクは、プリントヘッドのクリーニング時に消費したインクをためるタンクです。

note

緑色とオレンジ色のランプが交互に点灯している場合は、サービスが必要なエラーが発生しています。
電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、しばらくしてから電源プラグをコンセントに接続して電源ボタンを押してください。それでも同じようにランプが点灯する場合は、お買い上げいただいた販売店または、お近くの修理受付窓口にご相談ください。

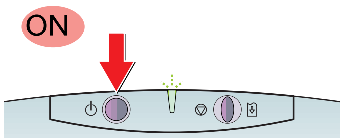
『ご相談窓口のご案内』



Check Point 1

プリンタの電源は入っていますか？

プリンタのランプが緑色に点灯しているかを確認します。



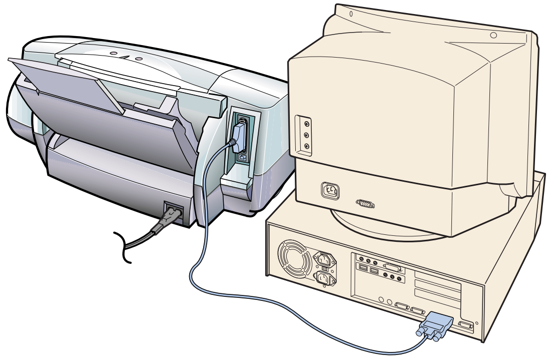
プリンタのランプが緑色に点滅している場合は、プリンタが準備動作をしています。点灯に変わるまでしばらくお待ちください。

note

プリンタの電源がはいらない場合は「電源が入らない」をご覧ください。

Check Point 2

プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？



プリンタとコンピュータがしっかり接続されていないと、正しく印刷できません。よく確かめて、しっかり接続してください。

➡『かんたんスタートガイド』

Check Point 3

プリンタにエラーが発生していませんか？

エラーが発生すると、プリンタのランプが緑色とオレンジ色に交互に点滅します。エラーの原因を取り除いてください。

➡ ランプが点滅している

Check Point 4

印刷先のポートは正しく設定されていますか？

プリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続している場合はプリンタの印刷先のポートを［LPT1］に、USB ケーブルで接続している場合はプリンタの印刷先のポートを［USBPRN］に設定してください。

➡ 印刷先の設定を確認する

Check Point 5

スプールは正しく動作していますか？

スプールを中止し、印刷データをプリンタに直接送るように設定してみてください。

➡ スプールの設定を解除する

Check Point 6

プリンタドライバは正しくインストールされていますか？

プリンタドライバに不具合がある可能性があります。プリンタドライバをいったん削除して、もう一度インストールしてください。

➡ プリンタドライバを削除するには

Check Point 7

WPS ドライバや CAPT ドライバがインストールされていませんか？

コンピュータに WPS(Windows Printing System) ドライバや CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ドライバがインストールされている場合は、正しく印刷できません。
WPS ドライバや CAPT ドライバのポートを［FILE］に変更するか、WPS ドライバや CAPT ドライバを削除してください。

➡ WPS ドライバや CAPT ドライバの設定を変更する

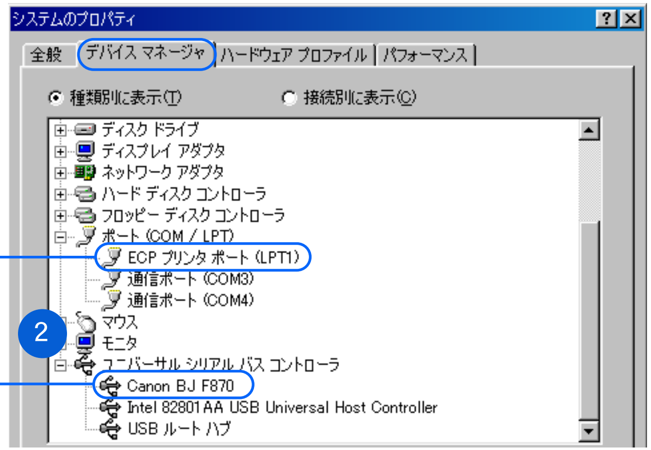
Check Point 8

プリンタポートは正しく動作していますか？

プリンタポートの状態を、デバイスマネージャで確認します。

1. Windows のスタートメニューで［設定］、［コントロールパネル］の順に選び、［システム］アイコンをダブルクリックします。
   ・Windows Me をお使いの方で［システム］アイコンが表示されない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックします。

2. ・プリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続している場合：
   ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［ポート (COM/LPT)］、［プリンタポート (LPT1)］をそれぞれダブルクリックします。
   ・USB ケーブルで接続している場合：
   ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］、［Canon BJ Fxxx(xxx はご使用の機種名)］をそれぞれダブルクリックします。

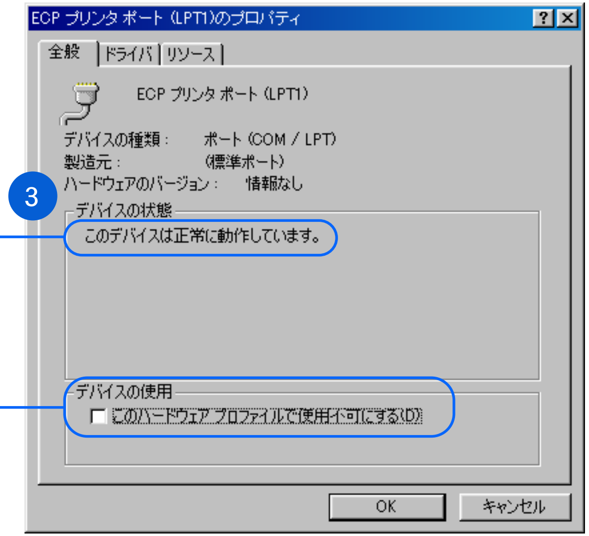


「(LPT1 または USBPRN への）書き込みエラー」が表示された　*4 / 4*

3 **［全般］または［情報］シートにデバイスの異常に関する情報が記載されていないか、また接続されているデバイスが使用不可になっていないかを確認します。**

4 **［リソース］タブをクリックし、［競合するデバイス］を確認します。**

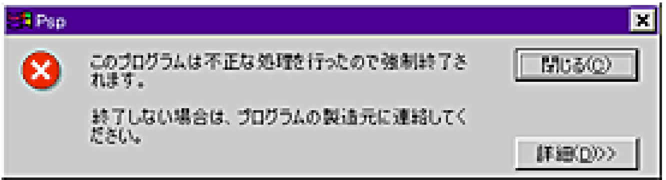
- **競合するデバイスがある場合はエラーになります。必要に応じて競合するデバイスを削除してください。**

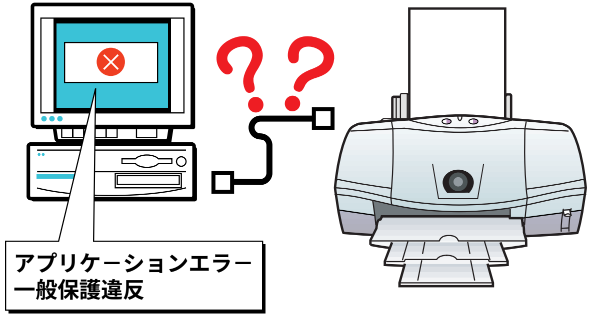


note

デバイスを削除する操作については、それぞれのデバイスの取扱説明書をご覧ください。

➡ **デバイスの取扱説明書**





Check Point 1

Windows 3.1 用のアプリケーションソフトを Windows 95 や Windows 98 など、異なる OS(オペレーティングシステム)を使って印刷すると、正しく機能せずエラーになることがあります。

ご使用の OS にあったアプリケーションソフトを使ってください。

Check Point 2

複数のアプリケーションソフトを起動していませんか？

複数のアプリケーションソフトを起動していると、印刷のためのメモリが確保できず、エラーになることがあります。他のアプリケーションソフトを終了し、もう一度印刷してみてください。

Check Point 3

コンピュータのメモリ容量は足りていますか？

お使いになっているアプリケーションソフトの操作説明書をご覧になり、アプリケーションソフトに必要なメモリ容量があるかどうか確認してください。

「アプリケーションエラー」または「一般保護違反」が表示された　2/2

Check Point 4

ハードディスクの空き容量は足りていますか？

ハードディスクの空き容量が不足しているとエラーになることがあります。ハードディスクの空き容量を確認します。
ハードディスクに十分な空きがない場合は、不要なファイルを削除するなどして、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

➡ コンピュータの印刷環境を調べる

Check Point 5

印刷した文書ファイルに問題はありませんか？

特定の文書を印刷したときにだけ意味のわからない文字や記号が印刷される場合は、その文書ファイルに問題があるか、文書ファイルで使用しているアプリケーションソフトの機能に問題があることがあります。もう一度、文書を作成して印刷してみてください。新しい文書で問題がなければ、元の文書ファイルに問題があったと考えられます。新しい文書でも同じ症状であれば、ご相談窓口にお問い合わせください。

➡『お問い合わせ先を選ぶ』

Check Point 6

プリンタドライバは正しくインストールされていますか？

プリンタドライバに不具合がある可能性があります。プリンタドライバをいったん削除して、もう一度インストールしてください。

➡ プリンタドライバを削除するには

BJ ステータスモニタが表示された

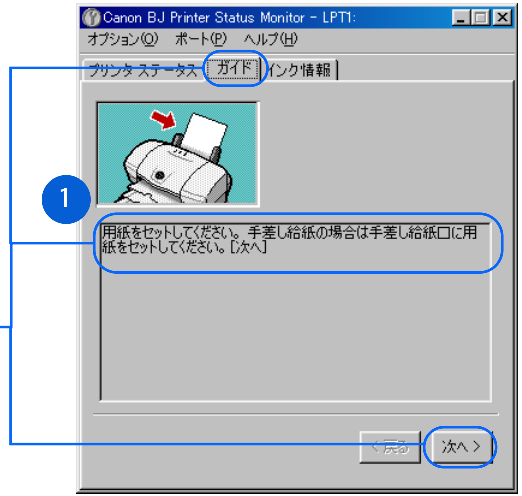


エラーが発生すると、BJ ステータスモニタが表示され、エラーの内容と対処方法が確認できます。

1

［ガイド］タブをクリックすると対処方法を見ることができます。

- **説明が次ページに続く場合は［次へ］をクリックしてください。説明の続きを読むことができます。**



その他のエラーメッセージが表示された

メッセージの内容によって、エラーの原因が異なります。
次の方法でエラーの原因を取り除いてください。

Check Point 1

「ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。」と表示された場合

不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き容量を増やしてください。
その後、Windows を再起動し、もう一度印刷してみてください。

ハードディスクの容量、空き容量を調べる

Check Point 2

「メモリ不足のため、正常にスプールできませんでした。」と表示された場合

ほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリを増やしてください。
その後、Windows を再起動し、もう一度印刷してみてください。

メモリ容量を調べる

Check Point 3

「プリンタドライバが読み込めませんでした。」と表示された場合

プリンタドライバを削除したあと、再インストールしてください。

プリンタドライバを削除する

Check Point 4

「バックグラウンド印刷に失敗しました。」と表示された場合

Windows を再起動したあとにもう一度印刷してみてください。

Check Point 5

「（アプリケーション名）－（文書名）を印刷できませんでした。」と表示された場合

現在印刷中の文書の印刷が終わってから印刷してください。

意味のわからない文字や記号が印刷される　1 / 2

コンピュータのディスプレイでは正しい文字や記号が表示されている場合は、次のことをチェックしてください。

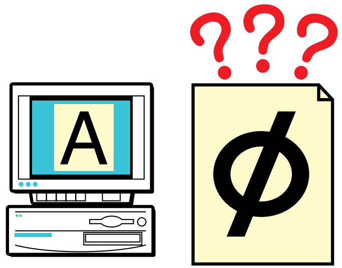
Check Point 1

前回の印刷を途中で中止しませんでしたか？

中止をしたときの印刷データがプリンタやコンピュータに残っていることがあります。いったん、プリンタとコンピュータの電源を切り、電源を入れてからもう一度印刷してください。

note

- Windows　のシステムに印刷データが残っているかどうかを確認したいときは、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] 、[プリンタ] の順にクリックしてご使用になっているプリンタのアイコンをダブルクリックしてください。ウインドウ内に前回の印刷データが残っていたら削除してください。詳しくは　Windows　の操作説明書、ヘルプをご覧ください。



Check Point 2

ご使用になっている機種のプリンタドライバを使用していますか？

他の機種用のプリンタドライバを使用していると、意味のわからない文字や記号が印刷されることがあります。アプリケーションソフトの印刷ダイアログボックスで［プリンタ名］が、ご使用のプリンタになっていることを確認します。

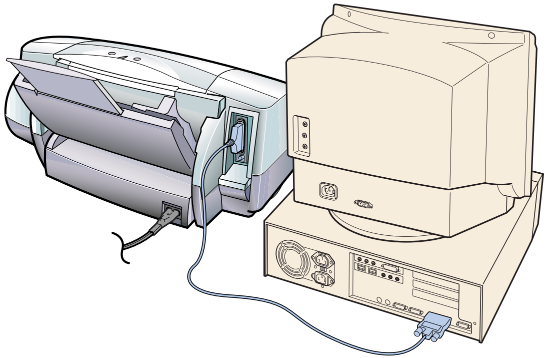
note

- 操作方法は、アプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 本機 を日常的に使う場合は、「通常使うプリンタ」として設定しておきましょう。

意味のわからない文字や記号が印刷される　2 / 2

Check Point 3

プリンタとコンピュータはしっかり接続されていますか？



しっかり接続されていないと、意味のわからない文字や記号が印刷されることがあります。よく確かめて、しっかり接続してください。

『かんたんスタートガイド』

Check Point 4

プリンタポートが ECP モードに設定されていませんか？

コンピュータのプリンタポートが ECP モードに設定されていると、正しく印刷できないことがあります。ECP モードを解除して、もう一度印刷してください。

ECP モードを解除する

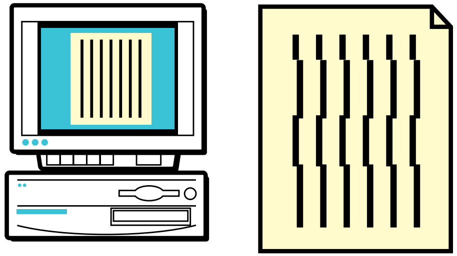
Check Point 5

印刷した文書ファイルに問題はありませんか？

特定の文書を印刷したときにだけ意味のわからない文字や記号が印刷される場合は、その文書ファイルに問題があるか、文書ファイルで使用しているアプリケーションソフトの機能に問題があることがあります。もう一度、文書を作成して印刷してみてください。新しい文書で問題がなければ、元の文書ファイルに問題があったと考えられます。新しい文書でも同じ症状であれば、ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせ先を選ぶ

罫線がまっすぐに印刷されない



Check Point 1

プリントヘッドの位置調整を正しく行いましたか？

表の罫線の印刷がずれてきれいにつながらないときは、プリントヘッドの位置調整を再度おこなってください。

➡ プリントヘッドの位置を調整する

Check Point 2

［印刷品位］を高速側に設定していませんか？

［印刷品位］を高品位側に変えてみてください。

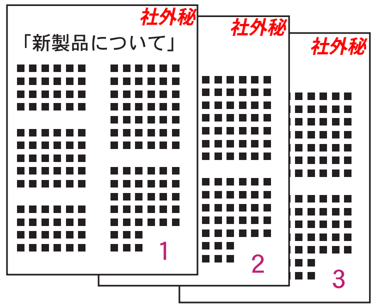
➡ 印刷の品質を変更する

note

［印刷品位］は、用紙の種類により設定できる値が異なります。

スタンプがうまく印刷できない

スタンプが 1 ページ目だけに印刷されたり、他の画像の後ろに隠れて印刷されるときは、次のことをチェックしてください。



Check Point 1

スタンプが 1 ページ目だけに印刷される場合、スタンプが［先頭ページのみ］に設定されていませんか？

すべてのページにスタンプを印刷したいときは、［先頭ページのみ］のチェックマークを外してください。

➡ 文書にスタンプを追加して印刷する

Check Point 2

スタンプが他の画像の後ろ側に隠れて印刷される場合、［前面に印刷］が ☑（オン）に設定されていますか？

スタンプを他の画像の前に印刷したいときは、［前面に印刷］を ☑（オン）に設定してください。

➡ 文書にスタンプを追加して印刷する

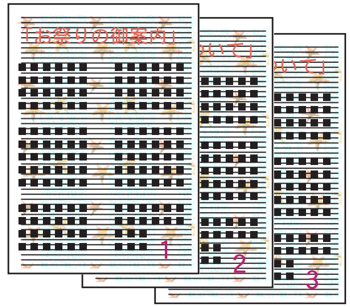
背景が 1 ページ目だけに印刷される

Check Point 1

背景が［先頭ページのみ］に設定されていませんか？

すべてのページに背景を印刷したいときは、［先頭ページのみ］を □（オフ）にしてください。

➡ 文書に背景を追加して印刷する



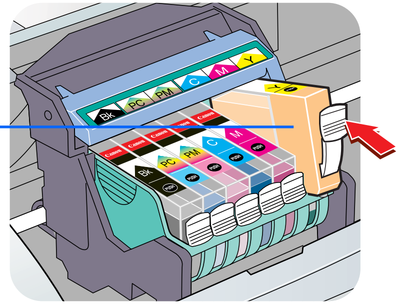
インクがなくなった

印刷している途中でインクがなくなり、印刷が止まってしまったときには、次の手順でインクタンクを取り換えてください。
インクタンク交換後、自動的に残りのデータを印刷します。

animation

1. BJ ステータスモニタが表示された場合は、表示した状態のままで、フロントカバーを開けます。

2. インクのなくなっているインクタンクを新しいインクタンクに交換します。
   インクタンクを交換する



3. フロントカバーを閉じます。
   ・ 印刷が再開され、残りのデータを印刷します。

note

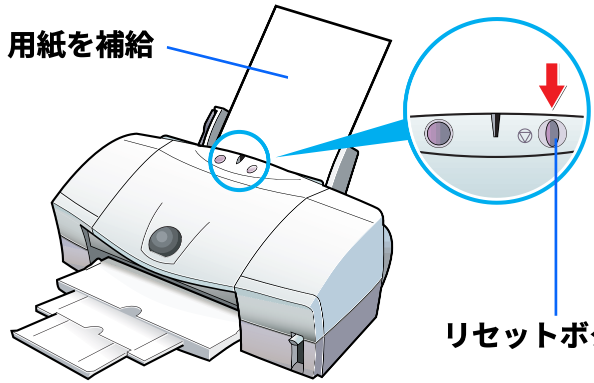
インクタンクを交換せずに印刷を継続する場合は、プリンタのリセットボタンを押してください。

用紙がなくなった

印刷している途中で用紙がなくなり、印刷が止まってしまったときは、次の手順で用紙を補給してください。

1. オートシートフィーダに用紙をセットします。

2. プリンタのリセットボタンを押します。
   ・ 止まっていた印刷が始まります。



印刷に時間がかかりすぎる

Check Point 1

写真やグラフィックスなど、容量が大きいデータを印刷していませんか？

高精細な画像や写真など、容量が大きいデータを印刷すると、コンピュータがデータ処理を処理したり、プリンタにデータを転送するまでに時間がかかります。
ランプが緑色に点滅しているときは、コンピュータからデータが転送されている状態です。そのままの状態で、しばらくお待ちください。

Check Point 2

1 色のインクを多量に使うような印刷を連続して行っていませんか？

1 色のインクを多量に使うような印刷を連続して行うと、印刷が途中で一時的に止まる場合があります。これは、プリントヘッドの過熱を防ぐためで、プリンタの故障や不良ではありません。そのままの状態でお待ちください。

Check Point 3

プリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続している場合、ECP モードに設定し、印刷してみましょう。

ECP モードとは、プリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続している場合に、印刷を高速化するためのモードのことです。
ECP モードを使用するには、以下の条件が必要です。

- コンピュータとプリンタが、プリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続されていること
- コンピュータのパラレルポートが ECP モードに対応していること

上記条件にあてはまる場合は、ECP モードで印刷してみてください。

➡『基本操作ガイド』

note

コンピュータ側の ECP モードの設定については、コンピュータの『取扱説明書』をご覧ください。

インクの減りかたが早い

Check Point 1

高精細な画像や写真を印刷していませんか？

高精細な画像や写真は、通常の文書ファイルより、インクを大量に使用します。

Check Point 2

印刷濃度の設定が、高濃度になっていませんか？

印刷濃度を高濃度側に設定すると、インクを大量に使用します。
印刷する原稿の種類や特徴に応じて、最適な濃度を設定してください。

インクの濃淡を調整する

プリントヘッドホルダが交換位置に移動しない

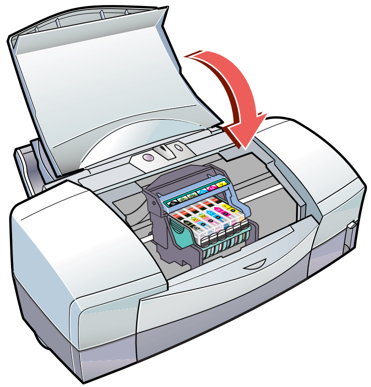
Check Point 1

電源は入っていますか？
ランプが緑色に点滅していませんか？

プリンタのランプが緑色に点灯しているかを確認します。緑色に点滅していたら、プリンタは準備動作中です。点灯に変わるまでしばらくお待ちください。

Check Point 2

フロントカバーを 10 分以上開けたままにしていませんか？



フロントカバーを 10 分以上開けたままにすると、プリントヘッドの乾燥を防ぐため、プリントヘッドホルダは右側へ移動します。フロントカバーをいったん閉じ、もう一度開いてください。

BJ ステータスモニタが表示されない

Check Point 1

プリンタケーブル（パラレルケーブル）で接続している場合、双方向通信ができるコンピュータやプリンタケーブルを使っていますか？

お使いのコンピュータやプリンタケーブルの仕様を確認します。コンピュータやプリンタケーブルが双方向通信に対応していない場合は、BJ ステータスモニタを使うことができません。

note

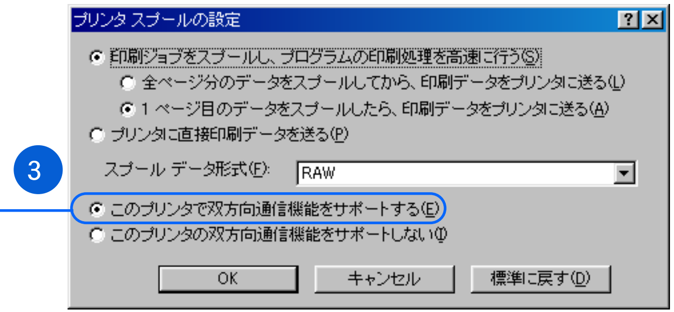
コンピュータやプリンタケーブル（パラレルケーブル）が双方向通信に対応しているかどうかわからない場合は、お買い上げの販売店、またはそれぞれのメーカーにお問い合わせください。

Check Point 2

双方向通信機能をサポートする設定になっていますか？

双方向通信機能をサポートする設定を行ってください。

1. **プリンタドライバを単独で開きます。**
   ➡ プリンタドライバを単独で開く
2. **［詳細］タブをクリックし、画面下の［スプールの設定］をクリックます。**
3. **［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が設定されていない場合は、クリックします。**



バックグラウンド印刷ができない

Check Point 1

ハードディスクの空き容量は足りていますか？

ハードディスクの空き容量が不足していると、バックグラウンド印刷ができないことがあります。ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに十分な空きがない場合は、不要なファイルを削除するなどをして、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

➡ ハードディスクの容量、空き容量を調べる

note

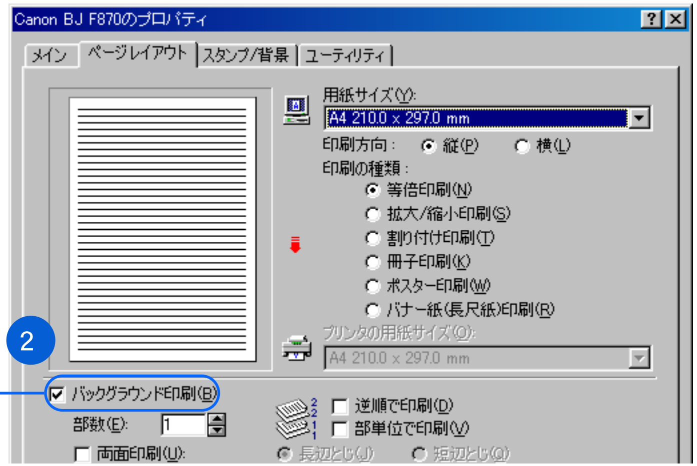
ハードディスクの空き容量を確保できない場合は、バックグラウンド印刷をしないように設定してください。

Check Point 2

バックグラウンド印刷は設定されていますか？

1. プリンタドライバの設定画面を表示します。
➡ プリンタドライバをアプリケーションから開く

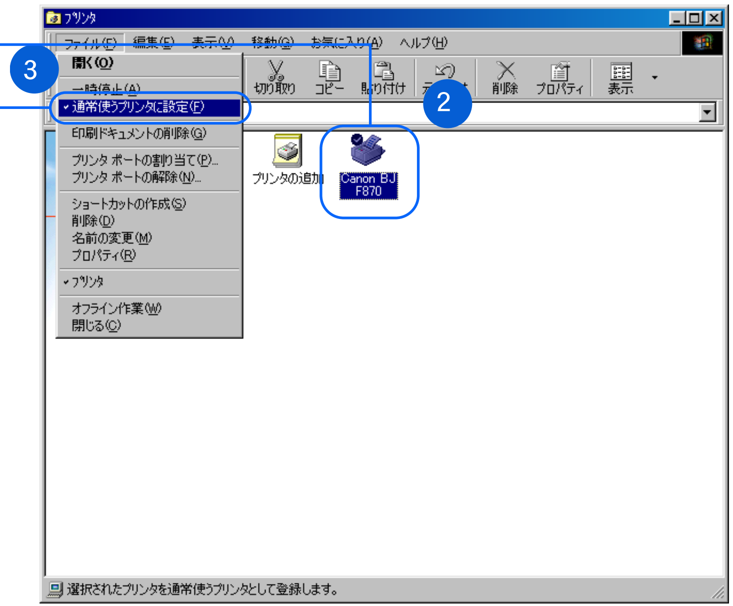
2. ［ページレイアウト］タブをクリックし、［バックグラウンド印刷］が設定されていない場合は、クリックしてチェックマークを付けます。



通常使うプリンタとして設定する

ご使用のプリンタを、Windows 上で「通常使うプリンタ」に設定しておくと、通常の印刷は、設定したプリンタで行われます。複数のプリンタを使用している場合など、印刷を実行するたびにプリンタを設定する必要がなくなります。

1. Windows の［スタート］メニューから［設定］、［プリンタ］の順に選択します。
2. 「通常使用するプリンタ」として設定したいプリンタのアイコンを選択します。
3. ［ファイル］メニューから［通常使うプリンタに設定］を選択します。



スプールの設定を解除する（プリンタに直接印刷データを送る）

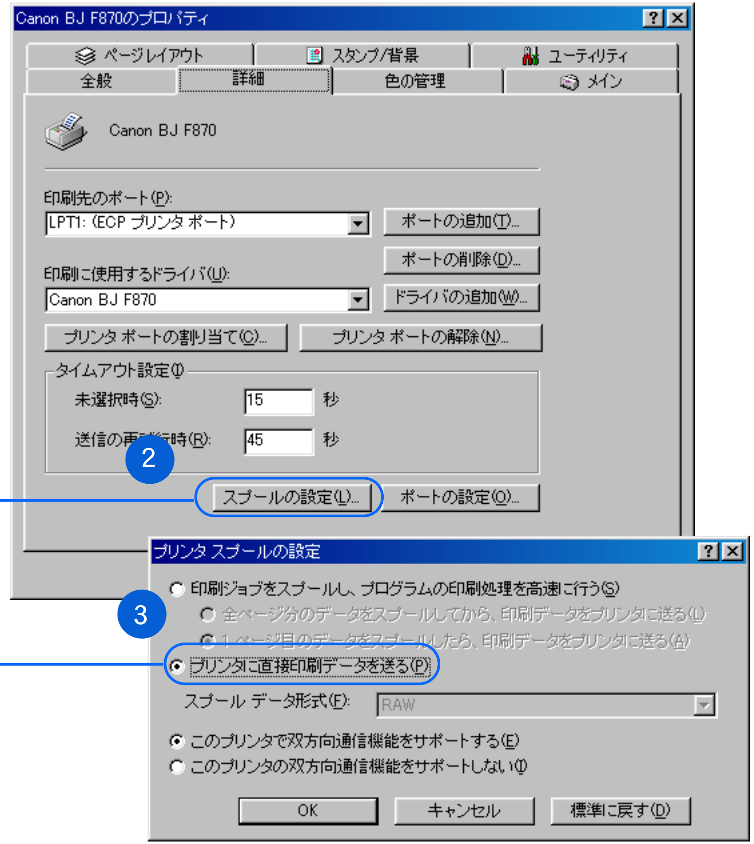
「(LPT1 または USBPRN への）書き込みエラー」が画面に表示されて、印刷を実行することができない場合、スプールの設定に異常が発生している可能性があります。このような場合は、プリンタドライバの設定画面を単独で開き、プリンタに直接印刷データを送るように設定してください。

1 プリンタドライバを単独で開きます。

プリンタドライバを単独で開く

2 [詳細] シートの [スプールの設定] ボタンをクリックします。

3 [プリンタに直接印刷データを送る] を選択します。



印刷先のポートの設定を確認する

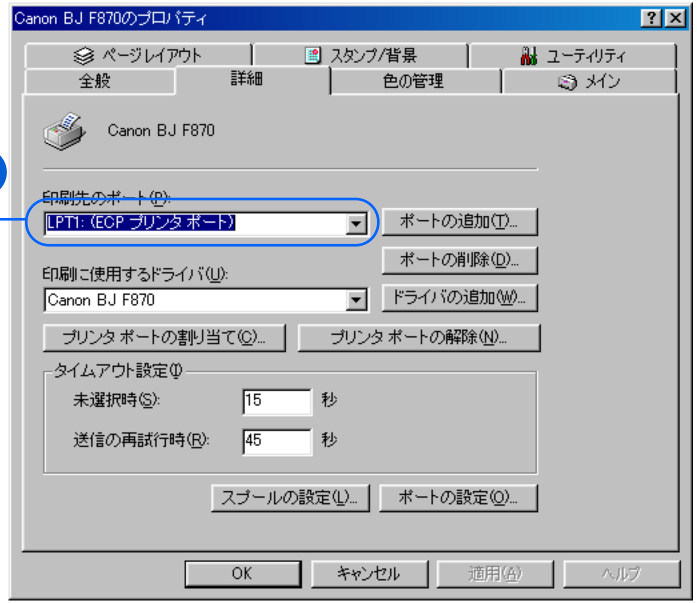
ケーブルを接続している場所と、コンピュータから印刷の指示を出す場所（印刷先のポート）の設定が異なっていると、印刷できません。印刷先のポートがどこに設定されているのかは、次の手順で確認できます。

1 **プリンタドライバを単独で開きます。**

プリンタドライバを単独で開く

2 **［詳細］シートの［印刷先のポート］を確認します。**

- **［LPT1:］に設定されている場合：**
  プリンタケーブル（パラレルケーブル）でプリンタを接続し、印刷を行う設定になっています。
- **［USBPRN nn:］（nn は数字）に設定されている場合：**
  USB ケーブルでプリンタを接続し、印刷を行う設定になっています。



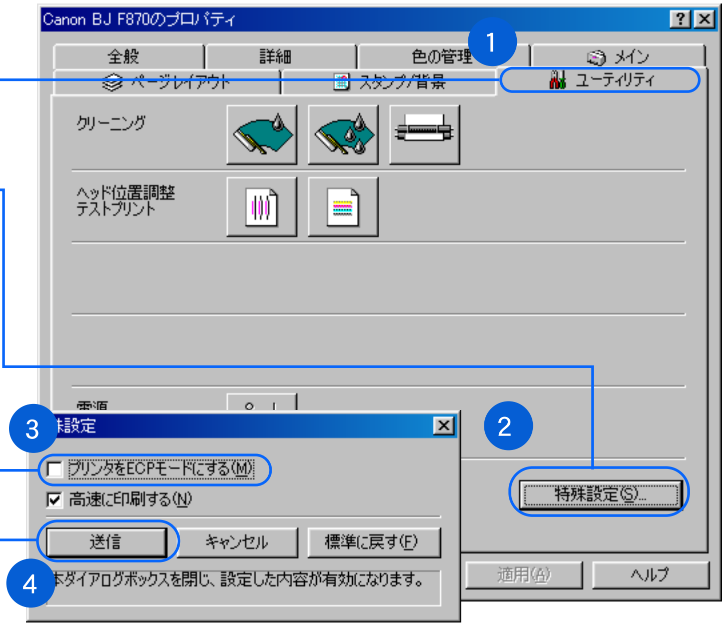
3 **［印刷先のポート］の設定と接続しているケーブルが異なる場合、プリンタを接続し直してください。**

『かんたんスタートガイド』

ECP モードを解除する

プリンタドライバで ECP モードが設定されている場合、ECP モードを解除すると、トラブルが解決されることがあります。

1. **プリンタドライバの設定画面を開き、[ユーティリティ] タブをクリックします。**
2. **[特殊設定] ボタンをクリックします。**
3. **[プリンタを ECP モードにする] のチェックマークを消します。**
4. **[送信] をクリックします。**



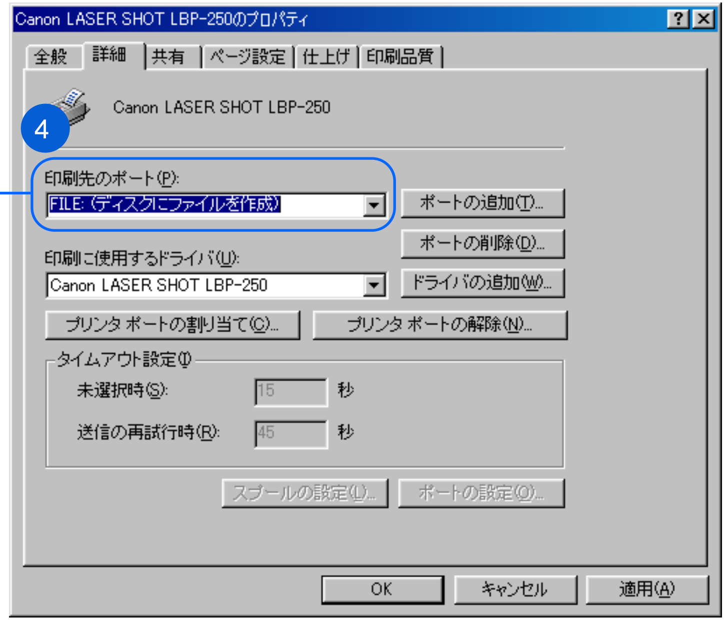
note

ECP モードに設定するときにBIOSの変更を行った場合、BIOS の設定を元に戻してください。BIOS の設定方法は、コンピュータに付属の取扱説明書をご覧ください。
誤った設定変更を行うと、コンピュータが正常に動作しなくなることがあります。ご注意ください。
Windows 95 をご使用の場合、ECP モードを解除しても、うまく印刷できないことがあります。この場合は、ヘルプにあるトラブルシュートの「Canon BJ プリンタポートでうまく印刷できない」をご覧ください。

悩んだときはヘルプを見る

WPS ドライバや CAPT ドライバの設定を変更する

コンピュータにWPS（Windows Printing System）ドライバや CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ドライバがインストールされていると、正常に印刷されないことがあります。
WPS ドライバや CAPT ドライバを削除するか、次の手順で印刷先のポートを変更してください。



1. **プリンタドライバを単独で開きます。**
   ➡ プリンタドライバを単独で開く

2. **WPS ドライバや CAPT ドライバを使っているプリンタを選択します。**

3. **［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。**

4. **［詳細］シートの［印刷先のポート］の設定を確認します。**
   ・ご使用になっているプリンタと同じポートが選択されている場合は、［印刷先のポート］を［FILE］に変更してください。

note

WPS ドライバや CAPT ドライバの削除方法については、それらのドライバを使用して印刷しているプリンタに付属の説明書をご覧ください。

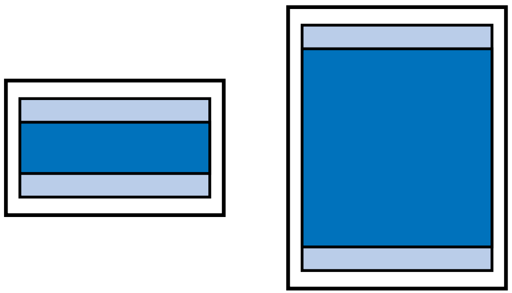
印刷できる範囲 *1 / 7*

プリンタは印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。用紙サイズによって、印刷できる範囲が異なりますのでご注意ください。

印刷できる範囲には印刷推奨領域と印刷可能領域があります。

印刷推奨領域…　この範囲に印刷することをお勧めします。
（　　の部分）

印刷可能領域…　印刷できる範囲です。ただし、印刷の品位または用紙送りの精度が低下することがあります。
（　　の部分）

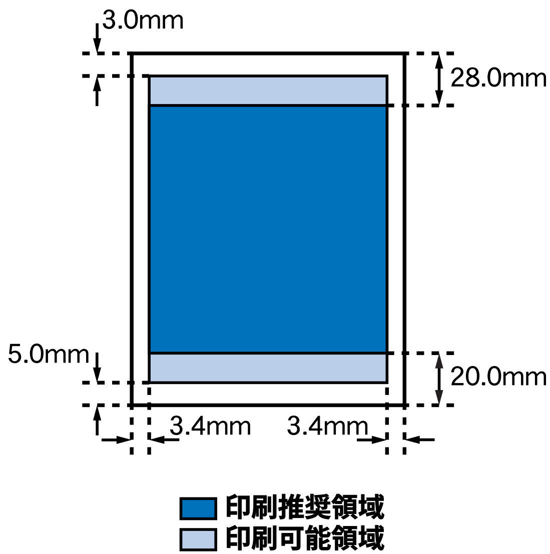


A5、A5 横、A4、B5、はがき
Letter、Legal
フォト光沢カード
プロフェッショナルフォトカード
封筒（洋形 4 号）
封筒（洋形 6 号）
バナー紙

● A5 、A5 横、A4 、B5 、はがきの場合

印刷可能領域（幅×長さ）

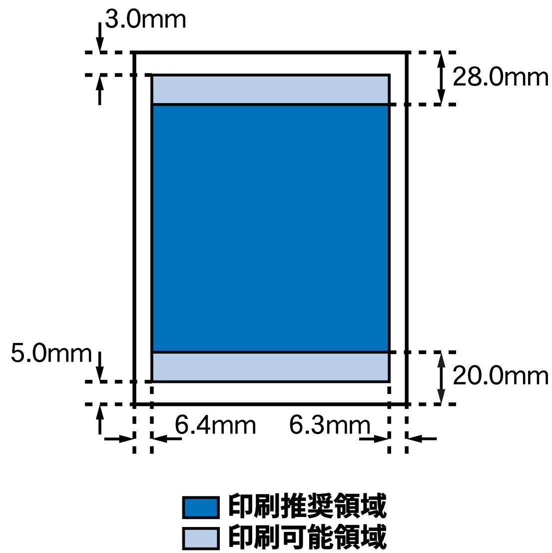
A5	141.2 ✕ 202.0mm
A5 横	203.2 ✕ 140.0mm
A4	203.2 ✕ 289.0mm
B5	175.2 ✕ 249.0mm
はがき	93.2 ✕ 140.0mm



● Letter 、Legal の場合

印刷可能領域（幅×長さ）

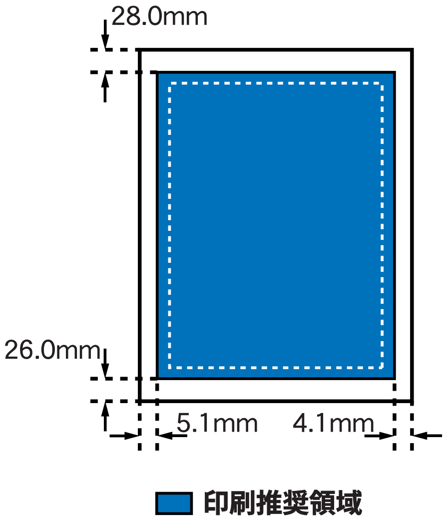
Letter	203.2 ✕ 271.4mm
Legal	203.2 ✕ 347.6mm



●フォト光沢カードの場合

印刷可能領域（幅×長さ）

フォト光沢カード＊ 109.4 × 159.9mm



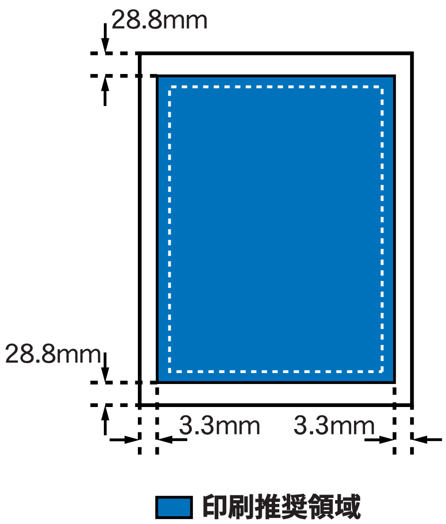
＊プリンタドライバの［用紙サイズ］の設定は、［フォトカード］を選んでください。
＊付属のアプリケーションソフト「PhotoRecord」を使用して印刷することもできます。

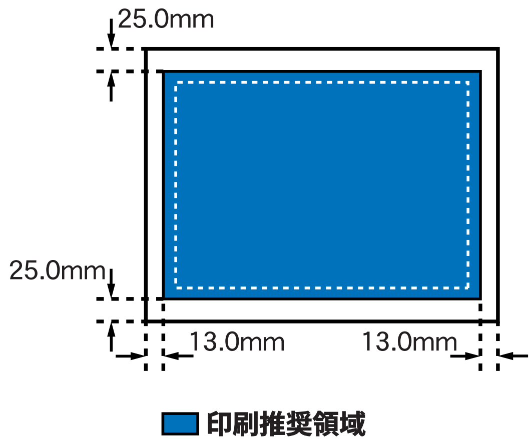
●プロフェッショナルフォトカードの場合 (1/2)

印刷可能領域（幅×長さ）

L判　95.0 × 133.0mm

2L判　184.0 × 133.0mm





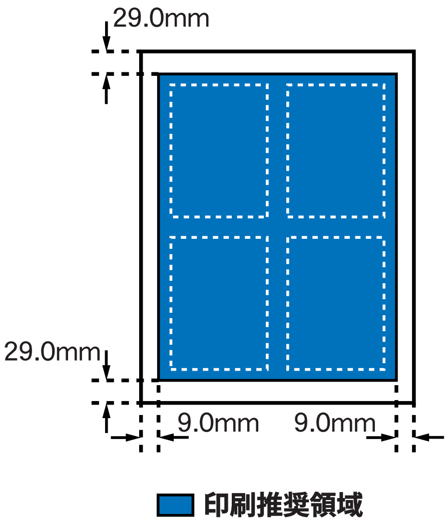
＊付属のアプリケーションソフト「PhotoRecord」を使用して、印刷を行ってください。

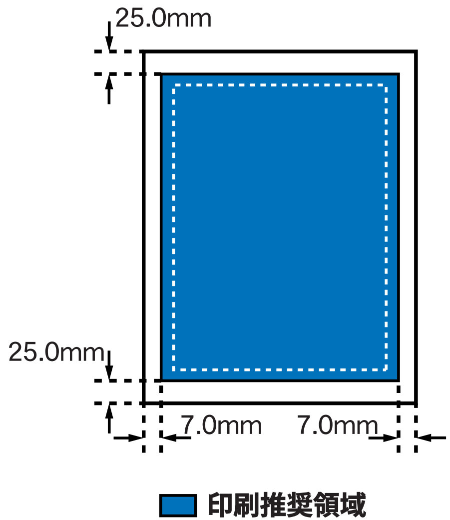
●プロフェッショナルフォトカードの場合 (2/2)

印刷可能領域（幅×長さ）

DSC 判４面取り　192.0 × 252.0mm

デジカメ六切り判　196.0 × 260.0mm



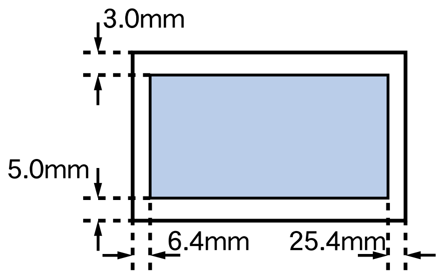


＊付属のアプリケーションソフト「PhotoRecord」を使用して、印刷を行ってください。

●封筒（洋形 4 号）の場合

印刷可能領域（幅×長さ）

洋形 4 号　203.2 × 97.0mm

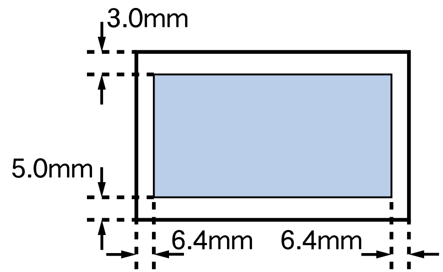


印刷可能領域

●封筒（洋形 6 号）の場合

印刷可能領域（幅×長さ）

洋形 6 号　177.2 × 90.0mm

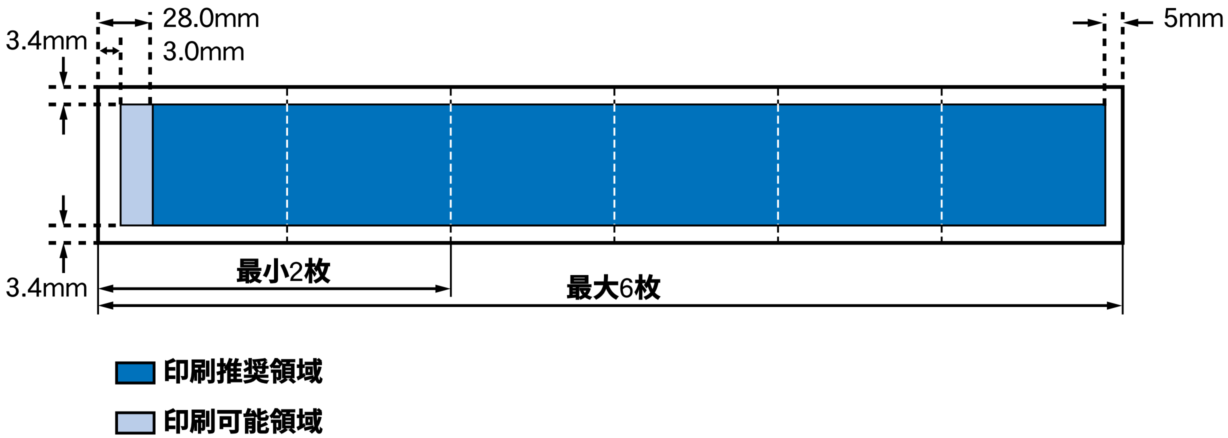


印刷可能領域

●バナー紙（長尺紙）の場合

印刷可能領域（幅×長さ）

バナー紙（長尺紙） 203.2 × 1774.0mm



最新のプリンタドライバを入手するには

現在お使いになっているプリンタドライバから、機能が追加されたプリンタドライバに変えることを、バージョンアップといいます。バージョンアップをすると、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。できるだけ最新のプリンタドライバをお使いください。

note

入手したプリンタドライバは、必ず前のバージョンを削除してからインストールしてください。

プリンタドライバを削除するには

●最新のプリンタドライバの入手方法

ソフトウェアを入手する方法には次の 3 つの方法があります。ご都合のよい方法で入手してください。

■インターネットから入手する

キヤノン販売インターネットダウンロードサービス（http://www.canon-sales.co.jp/drv-upd/bj/）にアクセスしてください。

■パソコン通信（@nifty キヤノンステーション）から入手する

@nifty にアクセス後、キヤノンステーションへの GO コマンド「SCANON」を入力してください。
プリンタドライバが登録されています。
＊通信料はお客様のご負担になります。

■郵送サービスで入手する

パソコン通信を利用できないお客様のために郵送サービスを実施しています。プリンタ に同梱されている『ご相談窓口のご案内』をご覧ください。

プリンタドライバを削除するには

プリンタドライバをインストールするときや、プリンタドライバが不要になったときは、プリンタドライバを削除します。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、[プログラム]、［BJ ラスタプリンタ ］の順に選び、［アンインストーラ］をクリックします。

2. メッセージを確認し、［はい］をクリックします。
   ・プリンタドライバの削除が始まります。

3. 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
   ・これで、プリンタドライバが削除されました。
   ・再起動メッセージが表示されたときは、[OK］をクリックすると再起動されます。

問題が解決しないときは

「6 章　困ったときには」を読んでもなおトラブルの原因がはっきりしない場合は、次の要領でお問い合わせください。

1
キヤノン販売インターネットサービス、または@nifty キヤノンステーションを活用してみましょう。
インターネットサービス／パソコン通信を活用する

2
お問い合わせ先を選びましょう。
お問い合わせ先を選ぶ

3
トラブルの状況を「お問い合わせシート」に記入しましょう。
・ご相談窓口にお問い合わせいただく場合は、「お問い合わせシート」に次の事項をご記入いただいてからご連絡ください。受付時に、貴重なお時間の節約となります。
トラブルの状況
プリンタドライバのバージョン
お使いになっているコンピュータの環境など
「お問い合わせシート」を記入する
コンピュータの印刷環境を調べる
修理を依頼するときは

インターネットサービス／パソコン通信を活用する

キヤノン販売株式会社のホームページやパソコン通信（@nifty キヤノンステーション）には、プリンタのさまざまなトラブル情報、特定のアプリケーションに関わるトラブル情報などが掲載されています。お問い合わせの前に、ご活用ください。

●インターネット

キヤノン販売のホームページ（http://www.canon-sales.co.jp/）の［ユーザーサポート・FAQ］から［ワンダー BJ プリンタ］をご覧ください。

●パソコン通信（@nifty キヤノンステーション http://www.nifty.com）

@ nifty にアクセス後、キヤノンステーションへの GO コマンド「SCANON」を入力してください。「電子会議室」の中の「プリンタ BJ/BJC インフォメーション」をご覧ください。

お問い合わせ先を選ぶ

トラブルの状況を「お問い合わせシート」に記入したら、目的にあったお問い合わせ先を選びましょう。
お問い合わせ先は、目的別に次の 3 つに分かれています。

●プリンタの問題のとき

⇨ 修理サービスご相談窓口へ

プリンタがどうしても動作しない。ランプがオレンジ色に点滅して回復しない。

このようなときは、トラブルの状況や確認した結果を「お問い合わせシート」に記入し、お買い上げの販売店、またはお近くの修理受付窓口に修理を依頼してください。

➡『ご相談窓口のご案内』
➡ 修理を依頼するときは

●コンピュータなどのシステムの問題のとき

⇨ コンピュータを購入された販売店または
コンピュータメーカーへ

プリンタは正常に動作している。ソフトウェアの設定も問題ない。

このようなときは、プリンタケーブル、コンピュータのシステム（メモリ、ハードディスク、インタフェース）などに原因があると考えられます。
コンピュータを購入された販売店もしくは、コンピュータメーカーにご相談ください。

●アプリケーションソフトの問題のとき

⇨ アプリケーションソフトメーカーの
電話相談窓口へ

特定のアプリケーションソフトでトラブルが起こる。

このようなときは、アプリケーションソフトそのものに原因があるか、コンピュータのシステム（メモリ、ハードディスク、インタフェース）などに原因があると考えられます。アプリケーションソフトメーカーの電話相談窓口に直接お問い合わせください。
また、最新のプリンタドライバをインストールすることで解決できる場合もあります。

➡ 最新のプリンタドライバを入手するには

「お問い合わせシート」を記入する

お問い合わせシートは、お客様がご相談窓口にお問い合わせされる場合や修理のご依頼をされる場合に、
お客様のコンピュータの印刷環境を把握するために使用します。
また、お問い合わせシートに記入する内容を、メモ書きでご用意いただいてもかまいせん。

note

お問い合わせシートは、『基本操作ガイド』のものをコピーしてお使いください。

お問い合わせシートには次の内容を記入します。

・トラブルの状況
・プリンタドライバのバージョン
・お使いになっているコンピュータの印刷環境など

➡ コンピュータの印刷環境を調べる

コンピュータの印刷環境を調べる 1/3

お問い合わせシートには、お客様のコンピュータの印刷環境をご記入いただきます。コンピュータの印刷環境の情報として、次の 4 つが必要です。

- 基本ソフトのバージョン
- メモリ容量
- ハードディスクの容量、空き容量
- プリンタドライバのバージョン

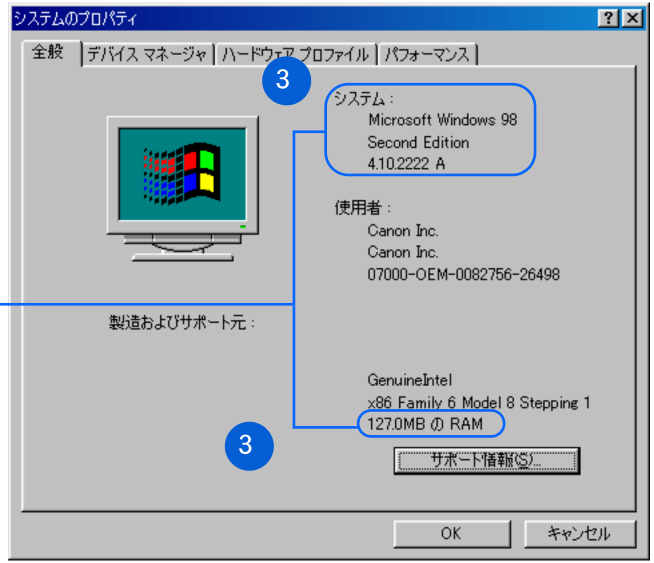
●基本ソフトのバージョンとメモリ容量を調べる

次の手順で、基本ソフトのバージョンとメモリ容量を調べます。

1 Windows の［スタート］メニューをクリックし、［設定］、［コントロールパネル］の順に選択します。

2 ［システム］のアイコンをダブルクリックします。
・Windows Me をお使いの方で［システム］アイコンが表示されない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックします。

3 ［全般］または［情報 ］シートで基本ソフトのバージョンとメモリ容量を確認します。

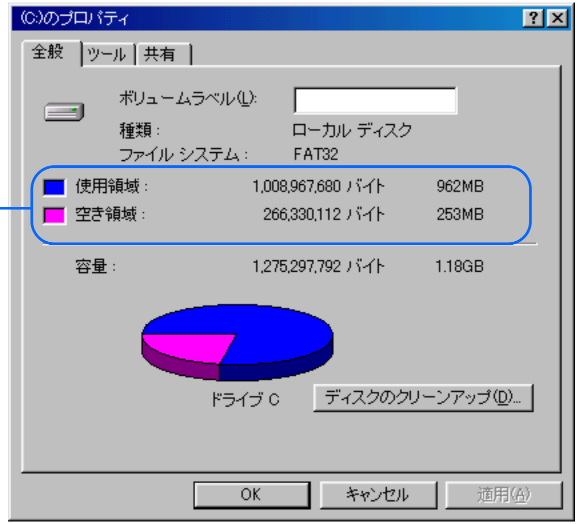


コンピュータの印刷環境を調べる 2/3

●ハードディスクの容量、空き容量を調べる

次の手順で、ハードディスクの容量、空き容量を調べます。

1. ［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
2. ハードディスクドライブのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選びます。
3. ［全般］または［情報］シートで、ハードディスクの容量、空き容量を確認します。

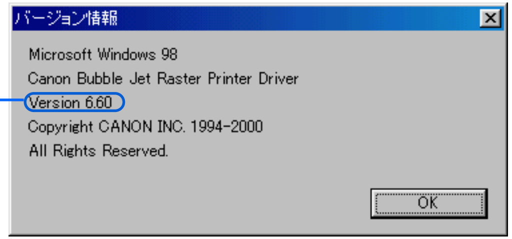


コンピュータの印刷環境を調べる　3/3

●プリンタドライバのバージョンを調べる

次の手順で、プリンタドライバのバージョンを調べます。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］、［プリンタ］の順にクリックします。
2. ご使用になっているプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選びます。
3. ［メイン］シートで、［バージョン情報］をクリックします。
4. プリンタドライバのバージョンを確認します。



修理を依頼するときは

修理を依頼するときは、次のことをお願いいたします。

●修理サービスご相談窓口まで製品をお持ち込みいただく場合

下記の事項をメモ書きでご用意いただくと貴重なお時間の節約になります。

・お客様のお名前、ご住所（修理後、製品を返送する場合はその住所）、電話番号
・製品名、機番（保証書／販売シートをご覧ください）
・お買い上げ日、故障した日、保証期間中の有無
・故障内容（どのように使用したときにどんな不具合があるか）
・お買い上げいただいた販売店の住所、電話番号

note

保証期間中の場合は、保証書をお持ちくださるようお願いいたします。

●宅配便で送付していただく場合

・商品が輸送中のショックで壊れないように、なるべくご購入いただいたときの梱包をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れ、製品がガタついたりインクが漏れたりしないようにしっかりと梱包してください

➡ プリンタの移送
➡ 『ご相談窓口のご案内』

BIOS

Basic Input/Output System の略。コンピュータの基本的な設定や、入出力機器の基本的な制御などを行うシステム。

BJ ステータスモニタ

プリンタドライバの機能の一部。プリンタの状態を監視して、表示する。エラーが起きたときの対処方法やインクの残量なども確認できる。

BJ バックグラウンダ

バックグラウンド印刷を行う場合に表示される。コンピュータからプリンタにデータを送っているときに、進行状況を知らせてくれるソフトウェア。

BJ バックグラウンドモニタ

バックグラウンド印刷を行う場合に表示される。印刷の進行状況や、印刷待ちの文書の状態を確認できるソフトウェア。

BJ プリンタモニタ

コンピュータに接続しているプリンタの状態(インクの状態やエラーの状況など)を一覧形式で確認できるソフトウェア。複数のプリンタを同時に接続している場合に便利。

ECP モード

プリンタケーブル(パラレルケーブル)でコンピュータと接続しているときに、より高速に印刷を行うためのモード。(ECP モードを使用するには、コンピュータ側の設定も必要)。

ICM

Image Color Matching の略で、Windows の色処理情報のこと。本機では ICM を使って色の補正を行える。ただし、ICM を使って印刷するためには、ICM に対応したアプリケーションを使うなど、いくつかの制限がある。

LPT ポート

プリンタケーブル(パラレルケーブル)でコンピュータと接続するときに使用するポート。別名パラレルポート。

OS

➡ 基本ソフト

USB ケーブル

USB(Universal Serial Bus) 規格に対応したケーブル。プリンタやキーボード、マウス、デジタルカメラなど、さまざまな入出力機器の接続に用いられる。プリンタケーブル(パラレルケーブル)で接続するよりも高速にデータの転送が行える。

WPS ドライバ
Windows Printing Systemに対応しているプリンタドライバのこと。

アイコン
文字の代わりに機能などを表すために使われている絵や記号のこと。ソフトウェアの画面上に置かれ、ここをクリックすると機能が実行される場合が多い。

アンインストール
一度ハードディスクにインストールしたソフトウェアを全て削除する作業のこと。

一般保護違反
アプリケーションソフトの不具合やメモリ不足、増設したメモリと既に装着されているメモリの相性などが原因で発生するシステム上のエラー。
「このプログラムは不正な処理を行なったので強制終了されます。問題が解決されない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。」とコンピュータ画面上に表示され、このメッセージ上にある［詳細］をクリックすると「一般保護違反です」と表示される。

色補正
プリンタで印刷した結果の色を調整するときに行うプリンタドライバの設定。

インクタンク
プリントヘッドに取り付けるインクが入っている部分。着脱が可能で、空になったインクタンクのみ取り外して交換することができる。

インストール
ソフトウェアをコンピュータのハードディスクに書き込んで、そのソフトウェアを使用できるようにする作業のこと。

オートパレット
プリンタドライバの設定を簡単に行うための機能。原稿の種類や印刷の目的に応じたアイコンを選ぶだけで、自動的に色の補正や印刷の品位を設定する。

オートフォトパーフェクト
色かぶりや露出アンダーなどが原因で色合いが悪くなってしまった画像を適正な色合いに補正する機能。コントラスト（ガンマ係数）の調整も行い、きれいな画像が得られるよう、適正な色合い、濃度に自動的に補正する。

ガンマ係数
完全な白と黒は変化させずに、その中間の色のコントラストを調整するための数値。数値を大きくするほど全体が暗くなり、明るい部分のコントラストは強くなり、暗い部分のコントラストは弱くなる。

基本ソフト

Windows 95 、Windows 98 、Windows Me 、Windows NT、Windows 2000 などコンピュータを使うための基本となるソフトウェアのこと。
OS(Operating System) ともいう。

クリーニング

プリントヘッドのノズルが目づまりした場合に行う、清掃のための操作。

グレースケール

カラー情報を取り除いて、白黒写真のように、白、黒、グレーのみで色を表現したもの。

冊子印刷

小冊子を作るときに便利な機能。印刷された用紙の中央を半分に折って綴じると、ページ順に並ぶように各ページを配置して用紙の両面に印刷する。

スプール

コンピュータからプリンタにデータを送るときにプリンタに直接データを送らず、ハードディスクなどの記憶装置にデータを一時的に蓄えながら、データをプリンタに送る印刷処理。

スライドバー

マウスでドラッグしてスライドさせて設定を変える調整レバーのようなもの。

ダウンロード

パソコン通信やインターネットを通して、ソフトウェアを入手すること。

ディザリング

印刷物の色と形状は、吹き付けたインクの点（ドット）の集まりで表現する。この点の配置方法のことをディザリングといい、一定の法則にしたがって配置する「パターン」と、ランダムに点を配置する「誤差拡散」から選択できる。写真などの微妙な中間色を表現するには、「誤差拡散」が適している。

テストプリント

プリンタが正常に印刷動作を行うことができる状態であるかを確認するためのテスト印刷のこと。

ノズルチェックパターン

プリントヘッドのインクが噴射する部分をノズルと呼び、そのノズルからインクが正しく噴射されているかを確かめるためのテストプリントのこと。

バックグラウンド印刷

印刷しているときでも、アプリケーションソフトの操作ができるような印刷処理方法。

バナー紙

横断幕や垂れ幕のような、横 (または縦) に長い用紙。

パラレルケーブル

おもにプリンタの接続に使われるケーブルのこと。本機では、プリンタ側がセントロニクス 36 ピンオスという規格のコネクタを持つパラレルケーブルを使用する。プリンタケーブルともいう。

プリンタドライバ

プリンタを OS で使用するためのソフトウェア。プリンタドライバは OS 別にプリンタに付属してくるので、それぞれのOSにインストールしてプリンタから印刷できるようにする。

ポート

プリンタなどをコンピュータに接続するときの接続する場所のこと。プリンタケーブル（パラレルケーブル）を接続する場所をプリンタポート（パラレルポート）、USB ケーブルを接続する場所を USB ポートという。

ホームポジション

プリンタ内部に取り付けられた プリントヘッドの印刷していないときの定位置。この位置にあるときは、プリントヘッドのヘッド面はプリンタ機構によって乾燥から保護される。

マッチング方法

色調整の方法のこと。データの種類に適した色調整の方法を選ぶとより良い印刷結果を得られる。
本機では、中間色を重視して色調整をする「写真」と、原色を鮮やかに表現する「グラフィックス」の2種類のマッチング方法がある。なお、自動的に調整方法を切り替えて印刷をする「自動」モードもある。

ユーティリティ

プリンタをメンテナンスするときに役立つ機能。プリントヘッドのメンテナンスや給紙ローラのクリーニングなどが行える。

リフレッシング

クリーニングより強力なプリントヘッドの清掃機能。

割り付け印刷

複数ページを縮小して 1 ページにまとめて印刷すること。

英数字

ア行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行